

能勢町公共施設マネジメントに関する 住民意識調査結果

平成 29 年 3 月

能 勢 町

目 次

I 調査の概要	1
II 調査の総括	3
III 調査の結果	4
1 回答者の属性	4
2 公共施設マネジメントについて	9
3 公共施設の利用状況について	10
4 本町の公共施設の現状と課題について	42
5 今後の方向性について	46
6 公共施設について（自由意見）	73
資料編	79
アンケート調査票	80

◆報告書の見方

- ・各集計の構成比は百分率で表し、四捨五入して小数点以下1位で表示しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・グラフ中のNは構成比を表示する際の母数を示しています。
- ・設問の終わりにある複数回答は「○はいくつでも」等、単一回答は「○は1つ」の質問形式であることを示しています。
- ・図表中及び文章中、選択肢などを一部省略して表記している場合があります。

I 調査の概要

1 調査目的

本町は、これまで多くの公共施設を整備し、適切な改修を行うなど、施設の維持管理に努めてきました。しかし、施設の老朽化や少子高齢化による人口構造の変化等、今後は財政環境の悪化が懸念されます。

本調査は、公共施設の効率的な維持管理・運営を行っていくための資料とするため、無作為に抽出した 18 歳以上の住民 1,000 人を対象にアンケート調査を行い、公共施設に対する意識やニーズを把握することを目的とします。

2 調査項目

- あなた御自身のことについて
- 公共施設マネジメントについて
- 公共施設の利用状況について
- 公共施設の現状と課題について
- 今後の方向性について

3 調査の方法

①調査対象地域

町全域

②調査対象

平成 28 年 10 月末日現在 能勢町内在住の 18 歳以上の住民 1,000 人

③抽出方法

住民基本台帳による無作為抽出

④調査方法

郵送配布、回収

⑤調査時期

平成 28 年 11 月 30 日（水）～12 月 14 日（水）までを基本とし、12 月 22 日（木）まで回収

4 回収結果

- ①配布数 1,000
- ②回収数 392
- ③回収率 39.2%

5 標本誤差

この調査は、95%の信頼度の下で、標本誤差が 5%以内に収まるよう、配布数を 1,000 件としました。
調査の結果、392 件を回収し、標本誤差は 4.95%となり、目標どおりの成果を得ました。

$$b = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差

N = 母集団数(平成 28 年 10 月末 18 歳以上の人口)、9,574 人

n = サンプル数(比率算出の基数)、392 件

P = 回答比率

回収数n	回答比率	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
900		±1.90%	±2.54%	±2.91%	±3.11%	±3.17%
500		±2.61%	±3.48%	±3.99%	±4.27%	±4.35%
392		±2.97%	±3.96%	±4.53%	±4.85%	±4.95%
200		±4.20%	±5.60%	±6.41%	±6.86%	±7.00%
100		±5.97%	±7.96%	±9.12%	±9.75%	±9.95%

Ⅱ 調査の総括

主な項目の傾向をまとめると以下のとおりです。

○回答者の属性

回答者の属性は、男女比は同等で、年齢層は 60 歳以上の年代が全体の 6 割を占めています。居住区は久佐々、岐尼が多く、家族構成は核家族世帯が約 7 割を占めています。職業は、無職に次いで家事専業、パート・アルバイト・契約社員・派遣社員が多くなっています。回答者の大半が持ち家の人であり、居住年数は昭和 40 年以前からが最も多いです。

○公共施設マネジメントについて

回答者の半数以上が、公共施設の現状や課題について知っています。

○公共施設の利用状況について

利用頻度が高いのは「観光物産センター」で、月に 1～2 回、週に 1～2 回という定期的な利用が他の施設より多くみられます。

利用しない理由は、全ての施設で「利用する機会がない」が最も多く、7 割以上を占めています。

なお、施設の利用状況については、行政系施設のほか文化系施設、保健福祉施設、子育て支援施設、スポーツ施設、医療施設より主なものをピックアップして住民ニーズを把握しました。

○公共施設の現状や課題について

公共施設の現状について「問題がある」ととらえている人が大半であり、施設保有量の削減について 8 割以上の人が容認しています。

○今後の方向性について

今後の方向性として、大半の人が「計画的な施設のメンテナンス」(87.5%)、「利用していない町の土地や施設を売却・賃貸」(87.5%)、「同じような施設の廃止・統合」(85.7%)、「複合化・多機能化による施設数・規模の縮小」(85.5%)、「民間のノウハウや資金の活用」(80.6%)を進めるべきと考えています。

一方、半数以上の人「施設の建設・建替えに対する特別な税金等の徴収」(66.8%)、「施設の利用料金の引き上げ」(62.2%)、「施設におけるサービス水準の引き下げ」(50.8%)を進めるべきではないと考えています。

Ⅲ 調査の結果

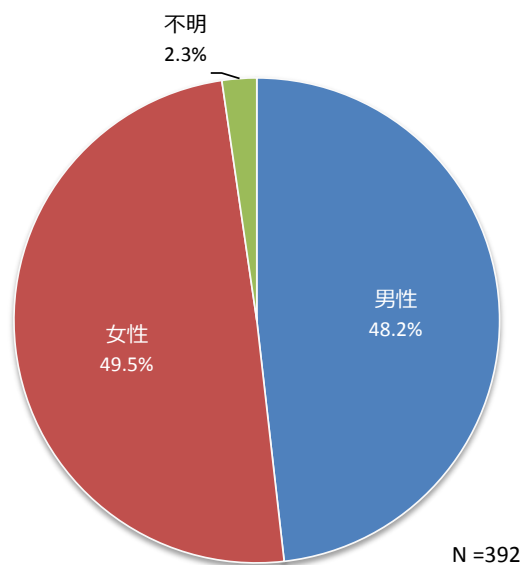
※各集計の構成比（％）は、四捨五入して小数点以下1位で表示しているため、合計が100%にならない場合があります。

1 回答者の属性

F 1 【性別】 あなたの性別は

性別による割合は、男性が48.2%、女性が49.5%でほぼ同数となっています。

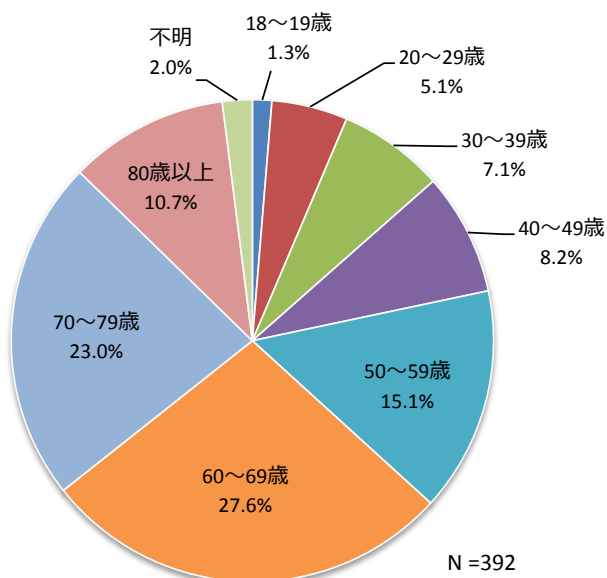
調査数	392	100.0%
男性	189	48.2%
女性	194	49.5%
不明	9	2.3%



F 2 【年齢】 あなたの年齢は

年齢による割合は、60歳代（27.6%）が最も多く、次いで70歳代（23.0%）、50歳代（15.1%）が続いています。60歳以上の年代が全体の6割以上を占めています。

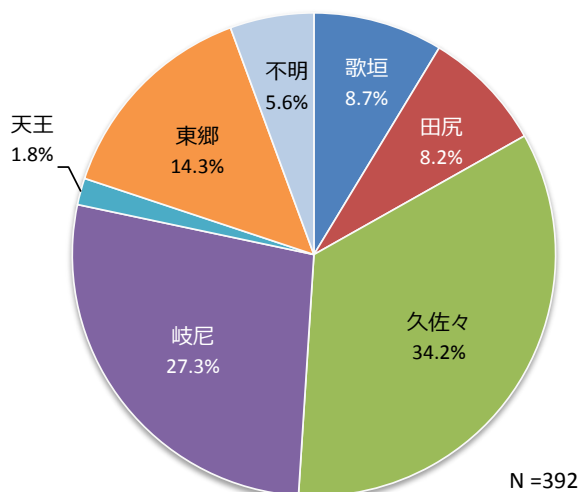
調査数	392	100.0%
18～19歳	5	1.3%
20～29歳	20	5.1%
30～39歳	28	7.1%
40～49歳	32	8.2%
50～59歳	59	15.1%
60～69歳	108	27.6%
70～79歳	90	23.0%
80歳以上	42	10.7%
不明	8	2.0%



F 3 【居住区】 あなたのお住まいの地区（旧小学校区）は

居住区による割合は、久佐々（34.2%）が最も多く、次いで岐尼（27.3%）、東郷（14.3%）が続いています。

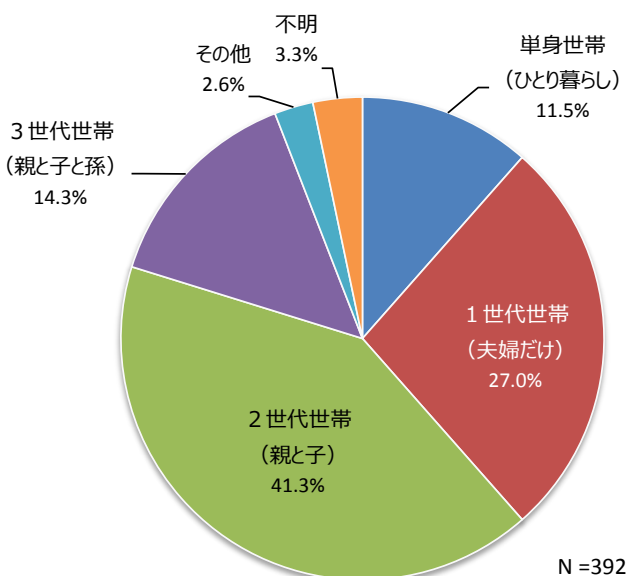
調査数	392	100.0%
歌垣	34	8.7%
田尻	32	8.2%
久佐々	134	34.2%
岐尼	107	27.3%
天王	7	1.8%
東郷	56	14.3%
不明	22	5.6%



F 4 【家族構成】 同居されている家族の構成は

家族構成による割合は、2世代世帯（41.3%）が最も多く、次いで1世代世帯（27.0%）が続いており、核家族世帯が約7割を占めています。

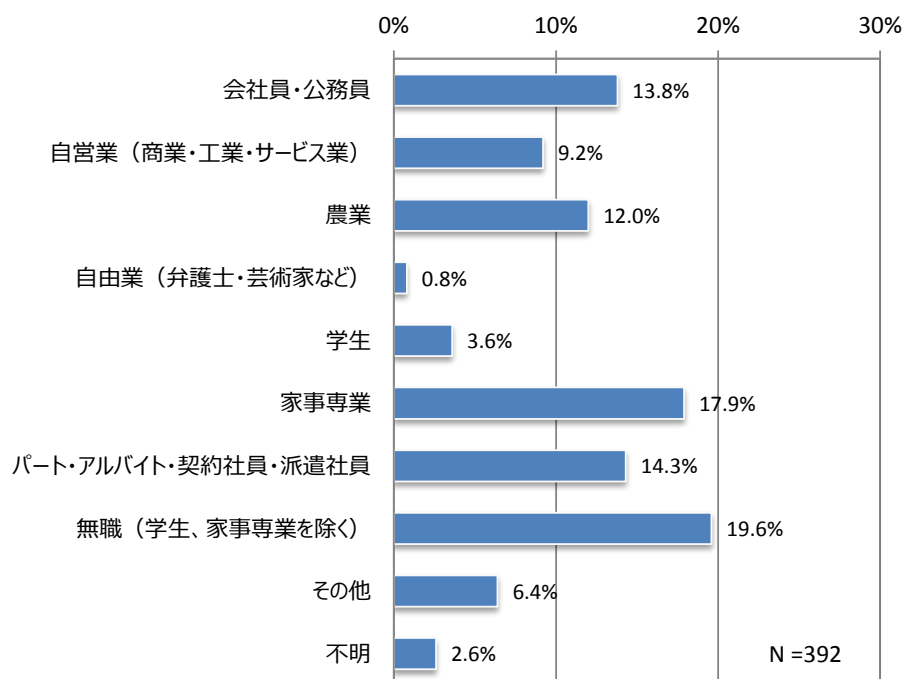
調査数	392	100.0%
単身世帯（ひとり暮らし）	45	11.5%
1世代世帯（夫婦だけ）	106	27.0%
2世代世帯（親と子）	162	41.3%
3世代世帯（親と子と孫）	56	14.3%
その他	10	2.6%
不明	13	3.3%



F 5 【職業】 あなたのお仕事は

職業による割合は、無職（19.6%）が最も多く、次いで家事専業（17.9%）、パート・アルバイト・契約社員・派遣社員（14.3%）が続いています。

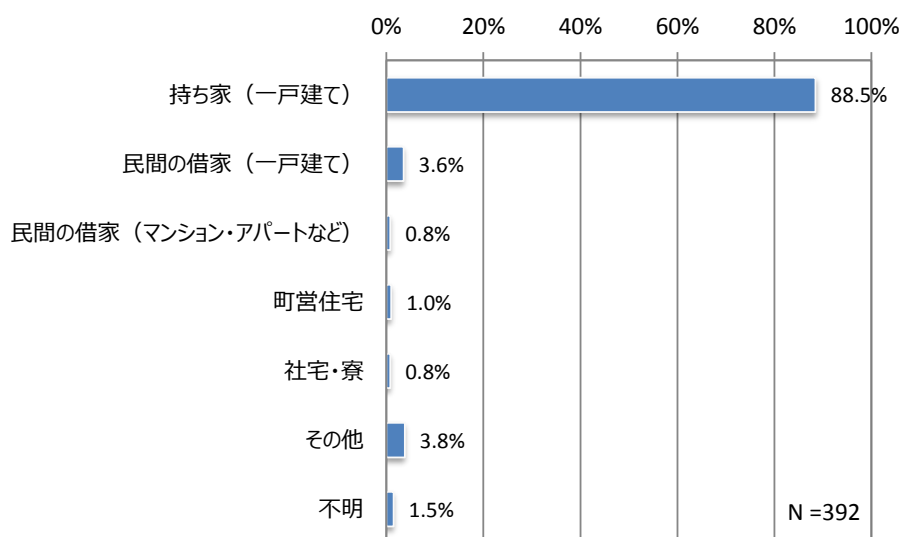
調査数	392	100.0%
会社員・公務員	54	13.8%
自営業（商業・工業・サービス業）	36	9.2%
農業	47	12.0%
自由業（弁護士・芸術家など）	3	0.8%
学生	14	3.6%
家事専業	70	17.9%
パート・アルバイト・契約社員・派遣社員	56	14.3%
無職（学生、家事専業を除く）	77	19.6%
その他	25	6.4%
不明	10	2.6%



F 6 【居住形態】 あなたがお住まいの住居は

居住形態による割合は、持ち家(88.5%)が最も多く 9 割近くになっています。次いでその他(3.8%)、民家の借家（一戸建て）(3.6%)が続いています。

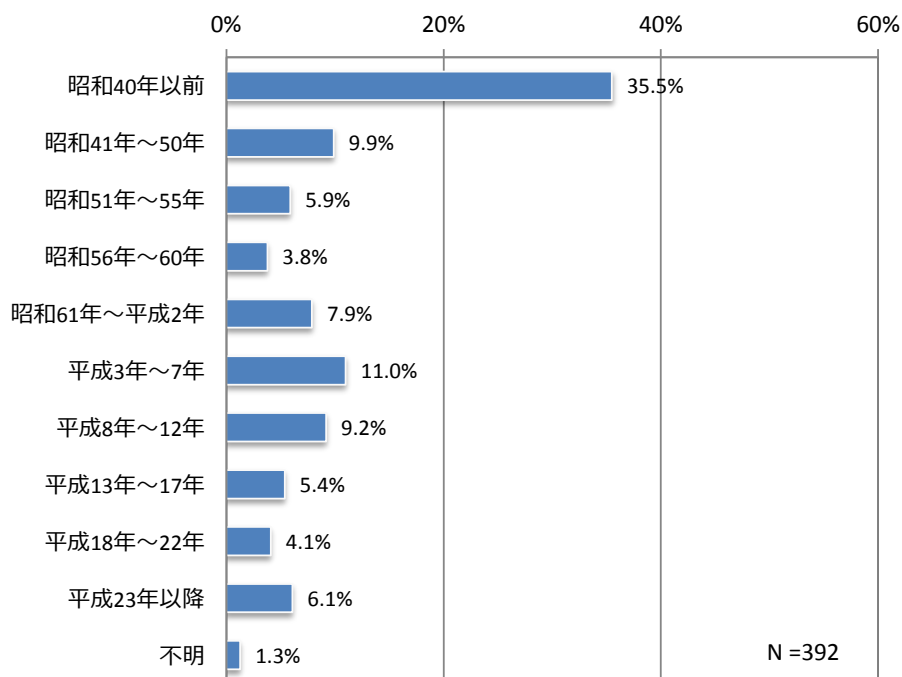
調査数	392	100.0%
持ち家（一戸建て）	347	88.5%
民家の借家（一戸建て）	14	3.6%
民家の借家（マンション・アパートなど）	3	0.8%
町営住宅	4	1.0%
社宅・寮	3	0.8%
その他	15	3.8%
不明	6	1.5%



F 7 【居住年数】 あなたはいつ頃から能勢町に住んでいますか

居住年数による割合は、昭和 40 年以前（35.5%）が最も多く、次いで平成 3 年～ 7 年（11.0%）、昭和 41 年～50 年（9.9%）が続いています。

調査数	392	100.0%
昭和40年以前	139	35.5%
昭和41年～50年	39	9.9%
昭和51年～55年	23	5.9%
昭和56年～60年	15	3.8%
昭和61年～平成2年	31	7.9%
平成3年～7年	43	11.0%
平成8年～12年	36	9.2%
平成13年～17年	21	5.4%
平成18年～22年	16	4.1%
平成23年以降	24	6.1%
不明	5	1.3%



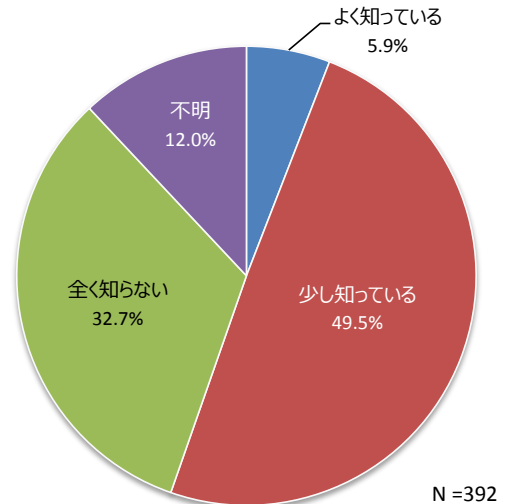
2 公共施設マネジメントについて

問 1-1 あなたは、能勢町の公共施設の現状や課題についてどのくらい知っていますか。(○は1つ)

<全体>

「少し知っている」(49.5%) が最も多く、「よく知っている」(5.9%) と合わせると半数を超えています。一方で、3 割以上が「全く知らない」(32.7%) と回答しています。

調査数	392	100.0%
よく知っている	23	5.9%
少し知っている	194	49.5%
全く知らない	128	32.7%
不明	47	12.0%



<年齢別>

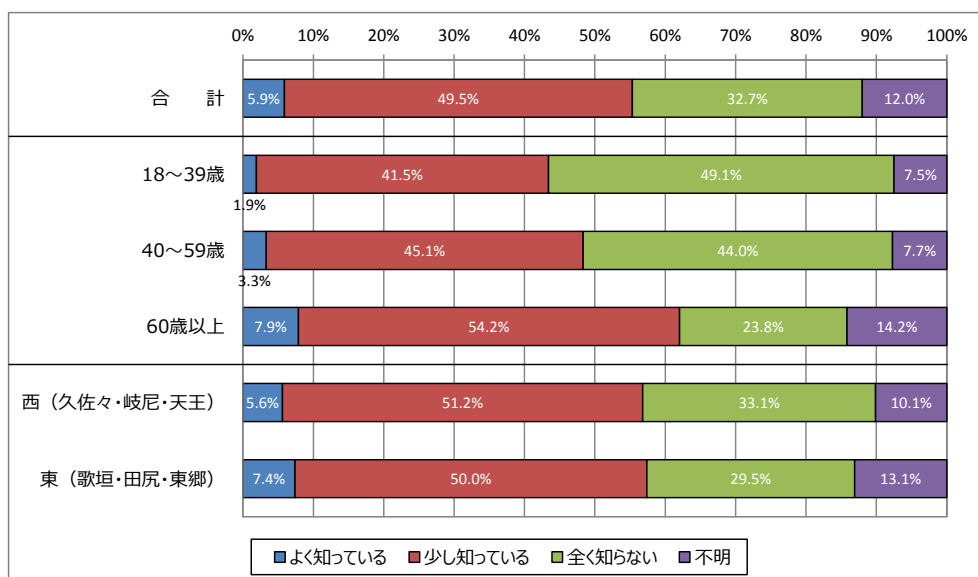
18～39 歳は、他の年齢層に比べ「全く知らない」(49.1%) が多くなっています。

60 歳以上は、他の年齢層に比べ「よく知っている」(7.9%)、「少し知っている」(54.2%) が多く、「全く知らない」(23.8%) が少なくなっています。

<地区別>

西は「少し知っている」(51.2%) が最も多く半数を占めていますが、一方で、3 割以上が「全く知らない」(33.1%) と回答しています。

東は「少し知っている」(50.0%) が最も多く半数を占めていますが、一方で、3 割近くが「全く知らない」(29.5%) と回答しています。



3 公共施設の利用状況について

問 2-1 次の各施設について、最近 1 年間における利用の回数についてお答え下さい。(○は 1 つずつ)
また、「利用していない」場合は、その理由をお答え下さい。(○はいくつでも)

◆全体

【利用回数】

ほとんどの施設において、「利用していない」、「年に数回」が 1 位と 2 位を占めています。

観光物産センターは、他の施設に比べ「週に 3 回以上」(3.3%)、「週に 1～2 回」(6.4%)、「月に 1～2 回」(17.6%) の比率が高くなっており、他の施設よりも利用者が多いといえます。

	週に 3 回 以上	週に 1 ～ 2 回	月に 1 ～ 2 回	年に 数 回	利用 して い ない	不 明
①本庁舎、支所庁舎	- -	3 0.8%	17 4.3%	228 58.2%	119 30.4%	25 6.4%
②住民サービスセンター	2 0.5%	- -	9 2.3%	117 29.8%	241 61.5%	23 5.9%
③浄るりシアター	- -	3 0.8%	17 4.3%	196 50.0%	157 40.1%	19 4.8%
④保健福祉センター	- -	10 2.6%	14 3.6%	200 51.0%	149 38.0%	19 4.8%
⑤放課後児童クラブ	- -	- -	1 0.3%	2 0.5%	356 90.8%	33 8.4%
⑥東部デイサービスセンター (高齢者デイサービスセンター)	2 0.5%	3 0.8%	2 0.5%	- -	356 90.8%	29 7.4%
⑦診療所	- -	2 0.5%	26 6.6%	68 17.3%	274 69.9%	22 5.6%
⑧観光物産センター	13 3.3%	25 6.4%	69 17.6%	150 38.3%	121 30.9%	14 3.6%
⑨交流促進施設	- -	1 0.3%	1 0.3%	6 1.5%	356 90.8%	28 7.1%
⑩生涯学習センター	- -	6 1.5%	14 3.6%	48 12.2%	296 75.5%	28 7.1%
⑪けやき資料館	3 0.8%	1 0.3%	1 0.3%	47 12.0%	315 80.4%	25 6.4%
⑫B&G海洋センター	3 0.8%	6 1.5%	8 2.0%	49 12.5%	302 77.0%	24 6.1%
⑬名月グラウンド	- -	- -	2 0.5%	31 7.9%	332 84.7%	27 6.9%
⑭国体記念スポーツセンター	- -	- -	1 0.3%	2 0.5%	362 92.3%	27 6.9%
⑮児童館	- -	- -	1 0.3%	4 1.0%	360 91.8%	27 6.9%

※1 位は白抜き、2 位は白抜き、3 位は黒文字（不明は除く）

【利用しない理由】

全ての施設で「利用する機会がない」が1位を占め、7割以上の高い比率となっています。

本庁舎、支所庁舎、浄るりシアター、観光物産センター、B&G 海洋センターでは「自宅や職場から遠い」が、診療所では「町外の施設を利用している」が、それ以外の施設では「場所や内容を知らない」が2位となっています。

	利用 する 機会 がない	い 場 所 や 内 容 を 知 ら な	自 宅 や 職 場 か ら 遠 い	い 設 備 や サ ー ビ ス が 悪	て 町 外 の 施 設 を 利 用 し	利 用 料 が 高 い	そ の 他	不 明
①本庁舎、支所庁舎	97 81.5%	3 2.5%	10 8.4%	1 0.8%	-	-	8 6.7%	4 3.4%
②住民サービスセンター	179 74.3%	43 17.8%	12 5.0%	2 0.8%	-	-	12 5.0%	12 5.0%
③浄るりシアター	134 85.4%	3 1.9%	10 6.4%	1 0.6%	2 1.3%	-	9 5.7%	6 3.8%
④保健福祉センター	120 80.5%	13 8.7%	7 4.7%	1 0.7%	2 1.3%	-	6 4.0%	7 4.7%
⑤放課後児童クラブ	268 75.3%	49 13.8%	9 2.5%	1 0.3%	1 0.3%	-	33 9.3%	18 5.1%
⑥東部デイサービスセンター (高齢者デイサービスセンター)	274 77.0%	54 15.2%	12 3.4%	3 0.8%	2 0.6%	-	22 6.2%	18 5.1%
⑦診療所	194 70.8%	14 5.1%	15 5.5%	3 1.1%	27 9.9%	-	34 12.4%	11 4.0%
⑧観光物産センター	93 76.9%	6 5.0%	8 6.6%	2 1.7%	2 1.7%	1 0.8%	6 5.0%	10 8.3%
⑨交流促進施設	251 70.5%	88 24.7%	12 3.4%	1 0.3%	-	1 0.3%	17 4.8%	17 4.8%
⑩生涯学習センター	225 76.0%	50 16.9%	11 3.7%	1 0.3%	1 0.3%	1 0.3%	17 5.7%	10 3.4%
⑪けやき資料館	254 80.6%	34 10.8%	13 4.1%	1 0.3%	1 0.3%	-	19 6.0%	12 3.8%
⑫B&G海洋センター	251 83.1%	12 4.0%	15 5.0%	5 1.7%	4 1.3%	3 1.0%	17 5.6%	14 4.6%
⑬名月グラウンド	286 86.1%	11 3.3%	8 2.4%	2 0.6%	2 0.6%	1 0.3%	17 5.1%	15 4.5%
⑭国体記念スポーツセンター	283 78.2%	65 18.0%	8 2.2%	2 0.6%	2 0.6%	-	18 5.0%	14 3.9%
⑮児童館	285 79.2%	49 13.6%	5 1.4%	2 0.6%	-	-	21 5.8%	18 5.0%

※1位は白抜き、2位は白抜き、3位は黒文字（その他、不明は除く）

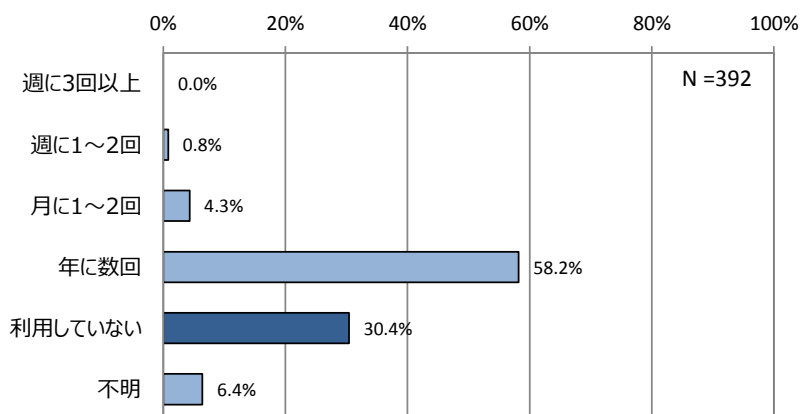
◆各施設別

① 本庁舎、支所庁舎

利用回数

<全体>

「年に数回」(58.2%) が最も多く半数以上を占めており、次いで「利用していない」(30.4%)が続いています。



<年齢別>

18~39 歳は、他の年齢層に比べ「利用していない」(47.2%)が多く、「年に数回」(41.5%)が少なくなっています。

40~59 歳は、他の年齢層に比べ「年に数回」(70.3%)が多くなっています。

<地区別>

西は、「年に数回」(63.3%) が最も多く半数以上を占めており、次いで「利用していない」(27.0%)が続いています。

東は、「年に数回」(54.1%) が最も多く半数以上を占めており、次いで「利用していない」(32.0%)が続いています。

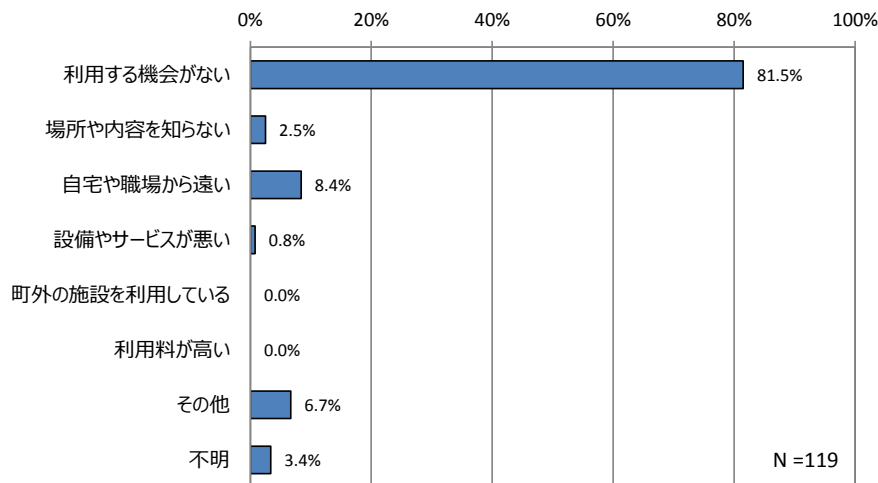
	調査数	週に3回以上	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	利用していない	不明
合計	392	3	17	228	119	25	
	100.0%	0.8%	4.3%	58.2%	30.4%	6.4%	
18~39歳	53	-	4	22	25	2	
	100.0%	-	7.5%	41.5%	47.2%	3.8%	
40~59歳	91	-	1	64	24	2	
	100.0%	-	1.1%	70.3%	26.4%	2.2%	
60歳以上	240	3	11	139	66	21	
	100.0%	1.3%	4.6%	57.9%	27.5%	8.8%	
西(久佐々・岐尼・天王)	248	1	7	157	67	16	
	100.0%	0.4%	2.8%	63.3%	27.0%	6.5%	
東(歌垣・田尻・東郷)	122	1	9	66	39	7	
	100.0%	0.8%	7.4%	54.1%	32.0%	5.7%	

※1 位は白抜き(不明は除く)

利用していない理由

<全体>

回答者の大半が「利用する機会がない」（81.5%）と回答しています。



<年齢別>

18～39 歳は、他の年齢層に比べ「利用する機会がない」（100.0%）が多くなっています。

60 歳以上は、他の年齢層に比べ「利用する機会がない」（75.8%）が少なくなっています。

<地区別>

西は、回答者の大半が「利用する機会がない」（85.1%）と回答しています。

東は、「利用する機会がない」（74.4%）が最も多く 7 割以上を占めており、次いで「自宅や職場から遠い」（20.5%）が続いています。

	調査数	利用する機会がない	場所や内容を知らない	自宅や職場から遠い	設備やサービスが悪い	町外の施設を利用している	利用料が高い	その他	不明
合計	119	97	3	10	1	-	-	8	4
	100.0%	81.5%	2.5%	8.4%	0.8%	-	-	6.7%	3.4%
18～39歳	25	25	1	1	-	-	-	-	-
	100.0%	100.0%	4.0%	4.0%	-	-	-	-	-
40～59歳	24	20	1	2	-	-	-	1	-
	100.0%	83.3%	4.2%	8.3%	-	-	-	4.2%	-
60歳以上	66	50	1	7	1	-	-	6	3
	100.0%	75.8%	1.5%	10.6%	1.5%	-	-	9.1%	4.5%
西（久佐々・岐尼・天王）	67	57	2	1	1	-	-	5	2
	100.0%	85.1%	3.0%	1.5%	1.5%	-	-	7.5%	3.0%
東（歌垣・田尻・東郷）	39	29	1	8	-	-	-	3	1
	100.0%	74.4%	2.6%	20.5%	-	-	-	7.7%	2.6%

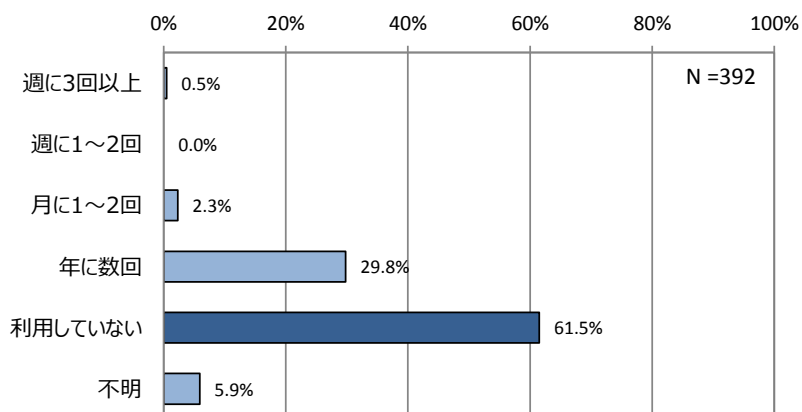
※1 位は白抜き、2 位は白抜き（その他、不明は除く）

② 住民サービスセンター

利用回数

<全体>

「利用していない」(61.5%) が最も多く 6 割以上を占め、次いで「年に数回」(29.8%) が続いています。



<年齢別>

18~39 歳は、他の年齢層に比べ「利用していない」(79.2%) が多く、「年に数回」(18.9%) が少なくなっています。

60 歳以上は、他の年齢層に比べ「利用していない」(55.8%) が少なくなっています。

<地区別>

西は、「利用していない」(72.2%) が最も多く 7 割以上を占めており、次いで「年に数回」(21.0%) が続いています。

東は、「年に数回」(51.6%) が最も多く半数以上を占めており、次いで「利用していない」(36.9%) が続いています。

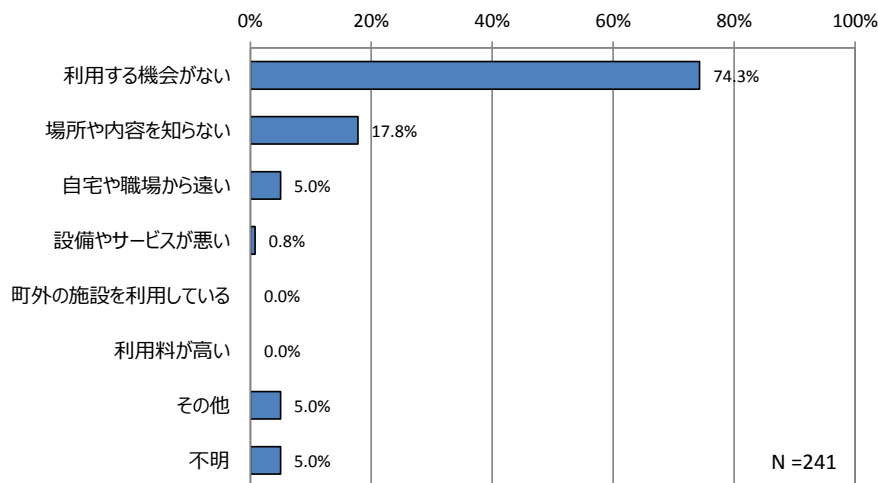
	調 査 数	週に 3 回 以上	週に 1 〜 2 回	月 に 1 〜 2 回	年 に 数 回	利 用 し て い ない	不 明
合計	392 100.0%	2 0.5%	-	9 2.3%	117 29.8%	241 61.5%	23 5.9%
18〜39歳	53 100.0%	-	-	1 1.9%	10 18.9%	42 79.2%	-
40〜59歳	91 100.0%	-	-	-	27 29.7%	61 67.0%	3 3.3%
60歳以上	240 100.0%	2 0.8%	-	8 3.3%	77 32.1%	134 55.8%	19 7.9%
西（久佐々・岐尼・天王）	248 100.0%	-	-	2 0.8%	52 21.0%	179 72.2%	15 6.0%
東（歌垣・田尻・東郷）	122 100.0%	2 1.6%	-	7 5.7%	63 51.6%	45 36.9%	5 4.1%

※1 位は白抜き(不明は除く)

利用していない理由

<全体>

「利用する機会がない」(74.3%) が最も多く 7 割以上を占め、次いで「場所や内容を知らない」(17.8%) が続いています。



<年齢別>

18～39 歳は、他の年齢層に比べ「利用する機会がない」(88.1%) が多くなっています。

40～59 歳は、他の年齢層に比べ「場所や内容を知らない」(24.6%) が多くなっています。

<地区別>

西は、「利用する機会がない」(76.0%) が最も多く 7 割以上を占めており、次いで「場所や内容を知らない」(20.1%) が続いています。

東は、「利用する機会がない」(66.7%) が最も多く 6 割以上を占めており、次いで「場所や内容を知らない」(11.1%) が続いています。

	調査数	利用する機会がない	場所や内容を知らない	自宅や職場から遠い	設備やサービスが悪い	町外の施設を利用している	利用料が高い	その他	不明
合計	241	179	43	12	2	-	-	12	12
	100.0%	74.3%	17.8%	5.0%	0.8%	-	-	5.0%	5.0%
18～39歳	42	37	5	1	-	-	-	1	1
	100.0%	88.1%	11.9%	2.4%	-	-	-	2.4%	2.4%
40～59歳	61	45	15	4	1	-	-	2	2
	100.0%	73.8%	24.6%	6.6%	1.6%	-	-	3.3%	3.3%
60歳以上	134	95	23	7	1	-	-	8	8
	100.0%	70.9%	17.2%	5.2%	0.7%	-	-	6.0%	6.0%
西（久佐々・岐尼・天王）	179	136	36	9	2	-	-	9	6
	100.0%	76.0%	20.1%	5.0%	1.1%	-	-	5.0%	3.4%
東（歌垣・田尻・東郷）	45	30	5	3	-	-	-	3	4
	100.0%	66.7%	11.1%	6.7%	-	-	-	6.7%	8.9%

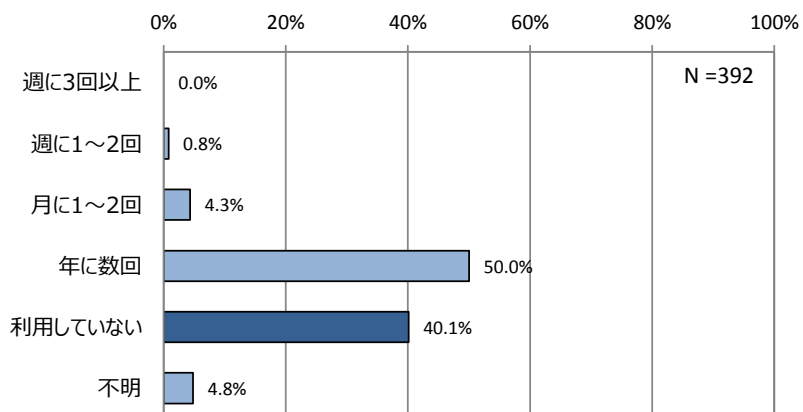
※1 位は白抜き、2 位は白抜き（その他、不明は除く）

③ 淨るりシアター

利用回数

<全体>

「年に数回」(50.0%) が最も多く半数を占め、次いで「利用していない」(40.1%) が続いています。



<年齢別>

60歳以上は、他の年齢層に比べ「利用していない」(36.3%) が少なくなっています。

<地区別>

西は、「年に数回」(53.2%) が最も多く半数以上を占め、次いで「利用していない」(39.5%) が続いています。

東は、「年に数回」(45.9%) と「利用していない」(44.3%) が同程度となっています。

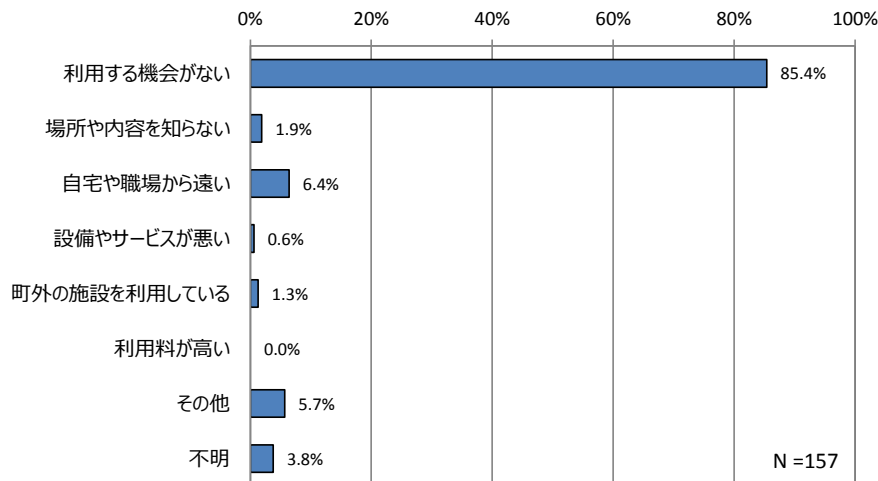
	調査数	週に3回以上	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	利用していない	不明
合計	392	-	3	17	196	157	19
	100.0%	-	0.8%	4.3%	50.0%	40.1%	4.8%
18~39歳	53	-	-	2	27	23	1
	100.0%	-	-	3.8%	50.9%	43.4%	1.9%
40~59歳	91	-	-	4	41	44	2
	100.0%	-	-	4.4%	45.1%	48.4%	2.2%
60歳以上	240	-	3	11	124	87	15
	100.0%	-	1.3%	4.6%	51.7%	36.3%	6.3%
西(久佐々・岐尼・天王)	248	-	2	8	132	98	8
	100.0%	-	0.8%	3.2%	53.2%	39.5%	3.2%
東(歌垣・田尻・東郷)	122	-	1	5	56	54	6
	100.0%	-	0.8%	4.1%	45.9%	44.3%	4.9%

※1 位は白抜き(不明は除く)

利用していない理由

<全体>

回答者の大半が「利用する機会がない」（85.4%）と回答しています。



<年齢別>

60歳以上は、他の年齢層に比べ「利用する機会が少ない」（80.5%）が少なくなっています。

<地区別>

西は、回答者の大半が「利用する機会がない」（87.8%）と回答しています。

東は、「利用する機会がない」（81.5%）が最も多く 8 割以上を占め、次いで「自宅や職場から遠い」（16.7%）が続いています。

	調査数	利用する機会がない	場所や内容を知らない	自宅や職場から遠い	設備やサービスが悪い	町外の施設を利用している	利用料が高い	その他	不明
合計	157	134	3	10	1	2	-	9	6
	100.0%	85.4%	1.9%	6.4%	0.6%	1.3%	-	5.7%	3.8%
18～39歳	23	22	1	1	-	-	-	-	1
	100.0%	95.7%	4.3%	4.3%	-	-	-	-	4.3%
40～59歳	44	41	1	2	-	1	-	-	1
	100.0%	93.2%	2.3%	4.5%	-	2.3%	-	-	2.3%
60歳以上	87	70	1	7	1	1	-	8	3
	100.0%	80.5%	1.1%	8.0%	1.1%	1.1%	-	9.2%	3.4%
西（久佐々・岐尼・天王）	98	86	2	1	1	1	-	7	3
	100.0%	87.8%	2.0%	1.0%	1.0%	1.0%	-	7.1%	3.1%
東（歌垣・田尻・東郷）	54	44	1	9	-	1	-	2	2
	100.0%	81.5%	1.9%	16.7%	-	1.9%	-	3.7%	3.7%

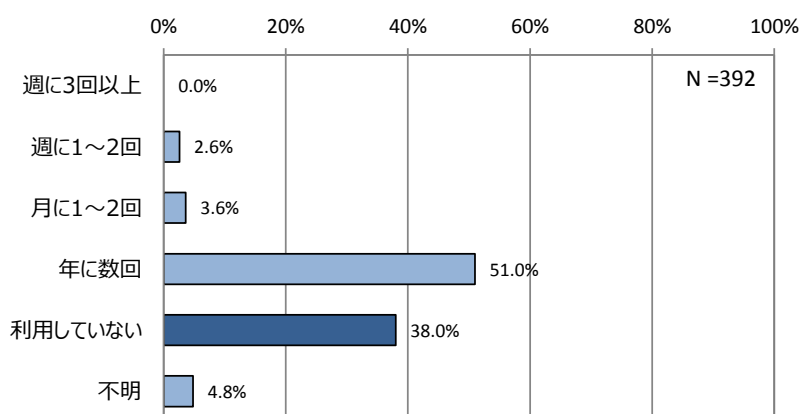
※1 位は白抜き、2 位は白抜き（その他、不明は除く）

④ 保健福祉センター

利用回数

<全体>

「年に数回」(51.0%) が最も多く半数を占め、次いで「利用していない」(38.0%) が続いています。



<年齢別>

18~39 歳は、他の年齢層に比べ「利用していない」(66.0%) が多く、「年に数回」(24.5%) が少なくなっています。

60 歳以上は、他の年齢層に比べ「利用していない」(28.8%) が少なくなっています。

<地区別>

西は、「年に数回」(56.5%) が最も多く半数以上を占め、次いで「利用していない」(34.7%) が続いています。

東は、「年に数回」(43.4%) と「利用していない」(43.4%) が同率となっています。

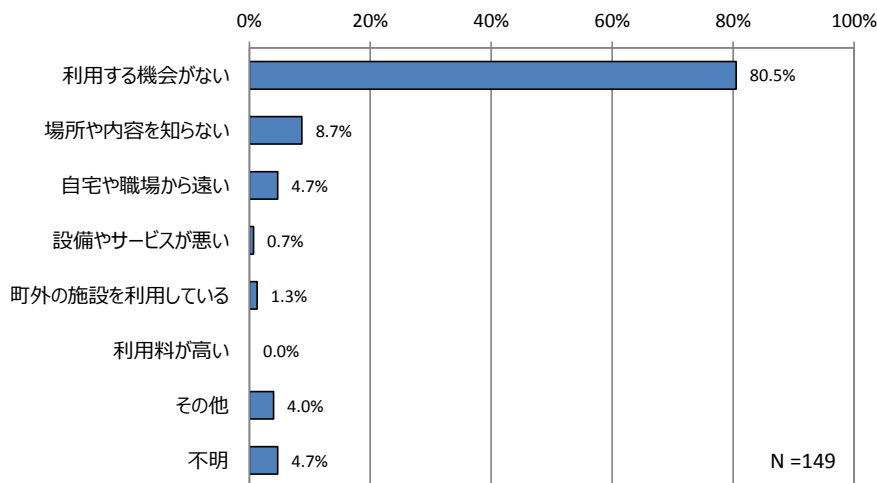
	調 査 数	週 に 3 回 以 上	週 に 1 〜 2 回	月 に 1 〜 2 回	年 に 数 回	利 用 し て い な い	不 明
合計	392 100.0%	- -	10 2.6%	14 3.6%	200 51.0%	149 38.0%	19 4.8%
18〜39歳	53 100.0%	- -	- -	4 7.5%	13 24.5%	35 66.0%	1 1.9%
40〜59歳	91 100.0%	- -	- -	1 1.1%	49 53.8%	39 42.9%	2 2.2%
60歳以上	240 100.0%	- -	10 4.2%	9 3.8%	137 57.1%	69 28.8%	15 6.3%
西（久佐々・岐尼・天王）	248 100.0%	- -	7 2.8%	6 2.4%	140 56.5%	86 34.7%	9 3.6%
東（歌垣・田尻・東郷）	122 100.0%	- -	3 2.5%	7 5.7%	53 43.4%	53 43.4%	6 4.9%

※1 位は白抜き (不明は除く)

利用していない理由

<全体>

回答者の大半が「利用する機会がない」（80.5%）と回答しています。



<年齢別>

18～39歳は、他の年齢層に比べ「場所や内容を知らない」（20.0%）が多くなっています。

60歳以上は、他の年齢層に比べ「自宅や職場から遠い」（8.7%）が多く、「場所や内容を知らない」（1.4%）が少なくなっています。

<地区別>

西は、回答者の大半が「利用する機会がない」（86.0%）と回答しています。

東は、「利用する機会がない」（71.7%）が最も多く 7 割以上を占め、次いで「自宅や職場から遠い」（11.3%）が続いています。

	調査数	利用する機会がない	場所や内容を知らない	自宅や職場から遠い	設備やサービスが悪い	町外の施設を利用している	利用料が高い	その他	不明
合計	149	120	13	7	1	2	-	6	7
	100.0%	80.5%	8.7%	4.7%	0.7%	1.3%	-	4.0%	4.7%
18～39歳	35	30	7	-	-	-	-	-	1
	100.0%	85.7%	20.0%	-	-	-	-	-	2.9%
40～59歳	39	34	5	1	-	-	-	1	1
	100.0%	87.2%	12.8%	2.6%	-	-	-	2.6%	2.6%
60歳以上	69	53	1	6	1	2	-	4	3
	100.0%	76.8%	1.4%	8.7%	1.4%	2.9%	-	5.8%	4.3%
西（久佐々・岐尼・天王）	86	74	8	1	1	1	-	4	2
	100.0%	86.0%	9.3%	1.2%	1.2%	1.2%	-	4.7%	2.3%
東（歌垣・田尻・東郷）	53	38	5	6	-	1	-	2	3
	100.0%	71.7%	9.4%	11.3%	-	1.9%	-	3.8%	5.7%

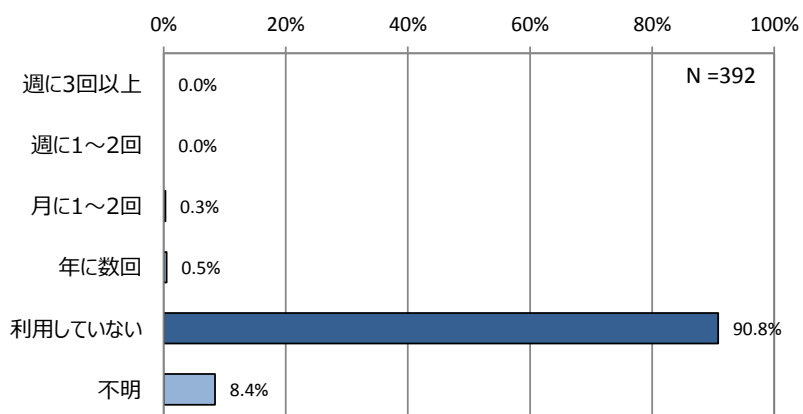
※1 位は白抜き、2 位は白抜き（その他、不明は除く）

⑤ 放課後児童クラブ

利用回数

<全体>

回答者の大半が「利用していない」（90.8%）と回答しています。



<年齢別>

60歳以上は、他の年齢層に比べ「利用していない」（87.9%）が少なくなっています。

<地区別>

西は、回答者の大半が「利用していない」（91.1%）と回答しています。

東は、回答者の大半が「利用していない」（91.8%）と回答しています。

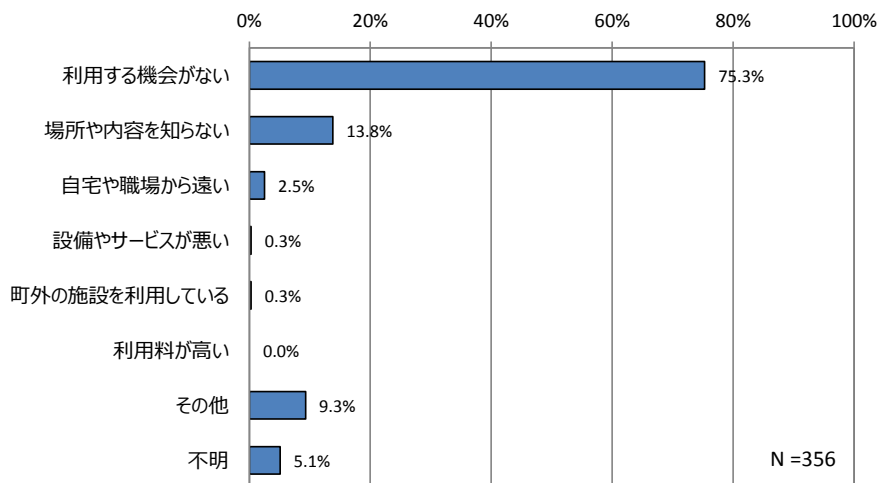
	調査数	週に3回以上	週に1～2回	月に1～2回	年に数回	利用していない	不明
合計	392	-	-	1	2	356	33
	100.0%	-	-	0.3%	0.5%	90.8%	8.4%
18～39歳	53	-	-	-	1	52	-
	100.0%	-	-	-	1.9%	98.1%	-
40～59歳	91	-	-	1	-	86	4
	100.0%	-	-	1.1%	-	94.5%	4.4%
60歳以上	240	-	-	-	1	211	28
	100.0%	-	-	-	0.4%	87.9%	11.7%
西（久佐々・岐尼・天王）	248	-	-	-	2	226	20
	100.0%	-	-	-	0.8%	91.1%	8.1%
東（歌垣・田尻・東郷）	122	-	-	1	-	112	9
	100.0%	-	-	0.8%	-	91.8%	7.4%

※1 位は白抜き（不明は除く）

利用していない理由

<全体>

「利用する機会がない」(75.3%)が最も多く7割以上を占め、次いで「場所や内容を知らない」(13.8%)が続いています。



<年齢別>

18～39歳は、他の年齢層に比べ「場所や内容を知らない」(28.8%)が多くなっています。

60歳以上は、他の年齢層に比べ「利用する機会がない」(71.6%)が少なくなっています。

<地区別>

西は、「利用する機会がない」(74.8%)が最も多く7割以上を占め、次いで「場所や内容を知らない」(14.2%)が続いています。

東は、「利用する機会がない」(75.0%)が最も多く7割以上を占め、次いで「場所や内容を知らない」(14.3%)が続いています。

	調査数	利用する機会がない	場所や内容を知らない	自宅や職場から遠い	設備やサービスが悪い	町外の施設を利用している	利用料が高い	その他	不明
合計	356	268	49	9	1	1	-	33	18
	100.0%	75.3%	13.8%	2.5%	0.3%	0.3%	-	9.3%	5.1%
18～39歳	52	41	15	-	-	-	-	1	1
	100.0%	78.8%	28.8%	-	-	-	-	1.9%	1.9%
40～59歳	86	72	11	2	-	-	-	6	2
	100.0%	83.7%	12.8%	2.3%	-	-	-	7.0%	2.3%
60歳以上	211	151	22	7	1	1	-	25	14
	100.0%	71.6%	10.4%	3.3%	0.5%	0.5%	-	11.8%	6.6%
西（久佐々・岐尼・天王）	226	169	32	1	1	-	-	25	12
	100.0%	74.8%	14.2%	0.4%	0.4%	-	-	11.1%	5.3%
東（歌垣・田尻・東郷）	112	84	16	8	-	-	-	8	5
	100.0%	75.0%	14.3%	7.1%	-	-	-	7.1%	4.5%

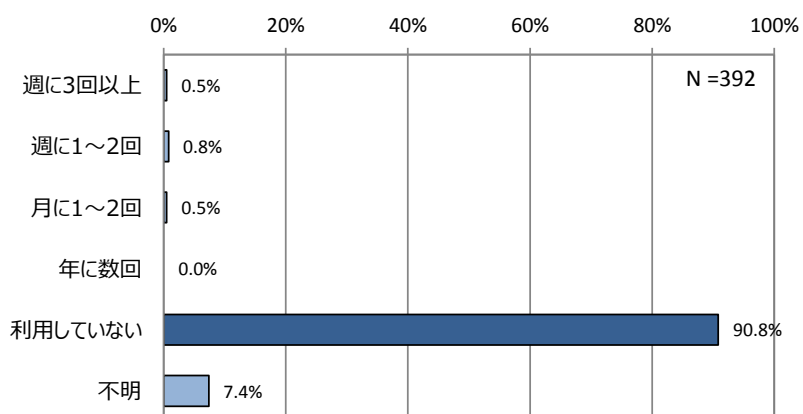
※1位は白抜き、2位は白抜き（その他、不明は除く）

⑥ 東部デイサービスセンター（高齢者デイサービスセンター）

利用回数

<全体>

回答者の大半が「利用していない」（90.8%）と回答しています。



<年齢別>

60歳以上は、他の年齢層に比べ「利用していない」（87.5%）が少なくなっています。

<地区別>

西は、回答者の大半が「利用していない」（92.7%）と回答しています。

東は、回答者の大半が「利用していない」（88.5%）と回答しています。

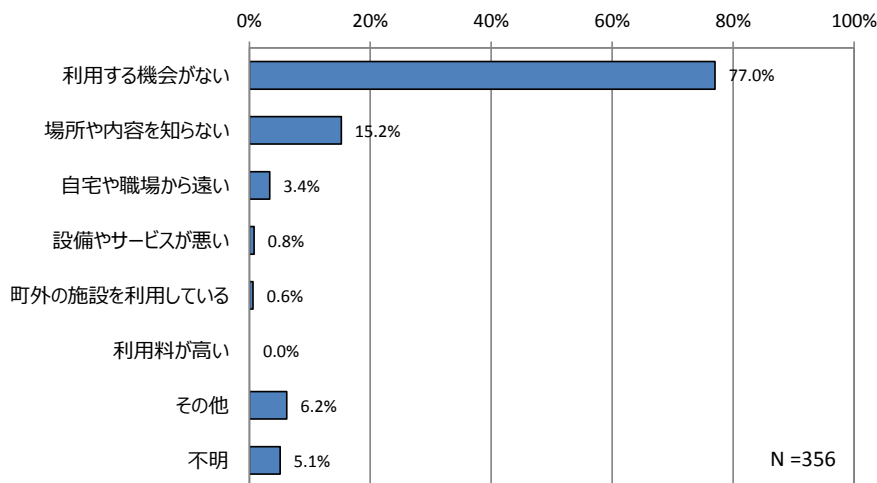
	調査数	週に3回以上	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	利用していない	不明
合計	392	2	3	2	-	356	29
	100.0%	0.5%	0.8%	0.5%	-	90.8%	7.4%
18~39歳	53	-	-	-	-	53	-
	100.0%	-	-	-	-	100.0%	-
40~59歳	91	-	-	-	-	87	4
	100.0%	-	-	-	-	95.6%	4.4%
60歳以上	240	1	3	2	-	210	24
	100.0%	0.4%	1.3%	0.8%	-	87.5%	10.0%
西（久佐々・岐尼・天王）	248	-	2	1	-	230	15
	100.0%	-	0.8%	0.4%	-	92.7%	6.0%
東（歌垣・田尻・東郷）	122	2	1	1	-	108	10
	100.0%	1.6%	0.8%	0.8%	-	88.5%	8.2%

※1 位は白抜き（不明は除く）

利用していない理由

<全体>

「利用する機会がない」(77.0%)が最も多く7割以上を占め、次いで「場所や内容を知らない」(15.2%)が続いています。



<年齢別>

18～39歳は、他の年齢層に比べ「場所や内容を知らない」(24.5%)が多くなっています。

60歳以上は、他の年齢層に比べ「利用する機会がない」(72.4%)が少なくなっています。

<地区別>

西は、「利用する機会がない」(75.2%)が最も多く7割以上を占め、次いで「場所や内容を知らない」(16.1%)が続いています。

東は、「利用する機会がない」(79.6%)が最も多く8割近くを占め、次いで「場所や内容を知らない」(14.8%)が続いています。

	調査数	利用する機会がない	場所や内容を知らない	自宅や職場から遠い	設備やサービスが悪い	町外の施設を利用している	利用料が高い	その他	不明
合計	356	274	54	12	3	2	-	22	18
	100.0%	77.0%	15.2%	3.4%	0.8%	0.6%	-	6.2%	5.1%
18～39歳	53	43	13	1	-	-	-	1	2
	100.0%	81.1%	24.5%	1.9%	-	-	-	1.9%	3.8%
40～59歳	87	75	12	2	-	-	-	3	3
	100.0%	86.2%	13.8%	2.3%	-	-	-	3.4%	3.4%
60歳以上	210	152	28	9	3	2	-	18	12
	100.0%	72.4%	13.3%	4.3%	1.4%	1.0%	-	8.6%	5.7%
西(久佐々・岐尼・天王)	230	173	37	7	1	-	-	19	12
	100.0%	75.2%	16.1%	3.0%	0.4%	-	-	8.3%	5.2%
東(歌垣・田尻・東郷)	108	86	16	5	2	1	-	3	5
	100.0%	79.6%	14.8%	4.6%	1.9%	0.9%	-	2.8%	4.6%

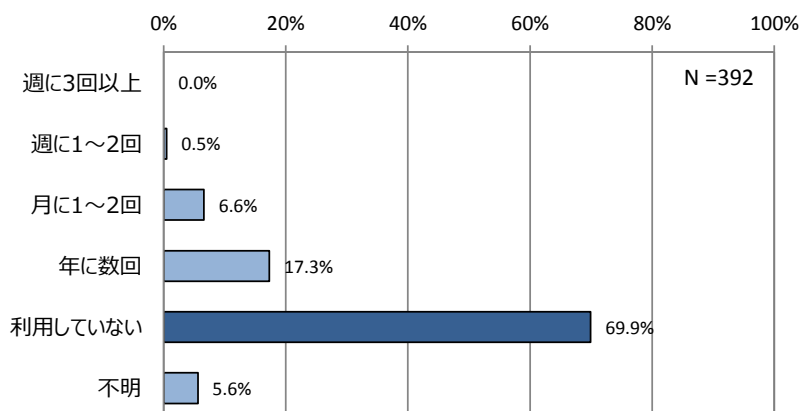
※1位は白抜き、2位は白抜き(その他、不明は除く)

⑦ 診療所

利用回数

<全体>

「利用していない」(69.9%) が最も多く 7 割近くを占め、次いで「年に数回」(17.3%) が続いています。



<年齢別>

18~39 歳は、他の年齢層に比べ「利用していない」(79.2%) が多くなっています。

60 歳以上は、他の年齢層に比べ「月に 1 ~ 2 回」(8.8%) が多くなっています。

<地区別>

西は、「利用していない」(79.0%) が最も多く 8 割近くを占め、次いで「年に数回」(13.3%) が続いています。

東は、「利用していない」(54.9%) が最も多く半数以上を占め、次いで「年に数回」(24.6%) が続いています。

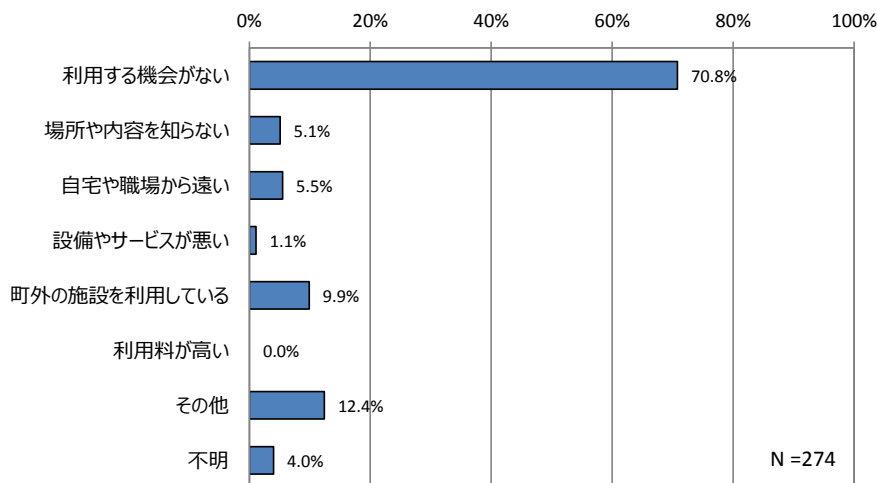
	調 査 数	週 に 3 回 以 上	週 に 1 〜 2 回	月 に 1 〜 2 回	年 に 数 回	利 用 し て い な い	不 明
合計	392 100.0%	- -	2 0.5%	26 6.6%	68 17.3%	274 69.9%	22 5.6%
18〜39歳	53 100.0%	- -	- -	1 1.9%	9 17.0%	42 79.2%	1 1.9%
40〜59歳	91 100.0%	- -	1 1.1%	3 3.3%	18 19.8%	66 72.5%	3 3.3%
60歳以上	240 100.0%	- -	1 0.4%	21 8.8%	40 16.7%	161 67.1%	17 7.1%
西（久佐々・岐尼・天王）	248 100.0%	- -	- -	5 2.0%	33 13.3%	196 79.0%	14 5.6%
東（歌垣・田尻・東郷）	122 100.0%	- -	2 1.6%	19 15.6%	30 24.6%	67 54.9%	4 3.3%

※1 位は白抜き(不明は除く)

利用していない理由

<全体>

回答者の大半が「利用する機会がない」（70.8%）と回答しています。



<年齢別>

18～39歳は、他の年齢層に比べ「場所や内容を知らない」（14.3%）が多くなっています。

60歳以上は、他の年齢層に比べ「利用する機会がない」（68.3%）が少なくなっています。

<地区別>

西は、回答者の大半が「利用する機会がない」（70.9%）と回答しています。

東は、回答者の大半が「利用する機会がない」（70.1%）と回答しています。

	調査数	利用する機会がない	場所や内容を知らない	自宅や職場から遠い	設備やサービスが悪い	町外の施設を利用している	利用料が高い	その他	不明
合計	274	194	14	15	3	27	-	34	11
	100.0%	70.8%	5.1%	5.5%	1.1%	9.9%	-	12.4%	4.0%
18～39歳	42	33	6	2	1	4	-	3	1
	100.0%	78.6%	14.3%	4.8%	2.4%	9.5%	-	7.1%	2.4%
40～59歳	66	49	3	2	1	7	-	8	2
	100.0%	74.2%	4.5%	3.0%	1.5%	10.6%	-	12.1%	3.0%
60歳以上	161	110	5	11	1	15	-	22	7
	100.0%	68.3%	3.1%	6.8%	0.6%	9.3%	-	13.7%	4.3%
西（久佐々・岐尼・天王）	196	139	11	11	2	17	-	27	8
	100.0%	70.9%	5.6%	5.6%	1.0%	8.7%	-	13.8%	4.1%
東（歌垣・田尻・東郷）	67	47	3	4	1	8	-	7	2
	100.0%	70.1%	4.5%	6.0%	1.5%	11.9%	-	10.4%	3.0%

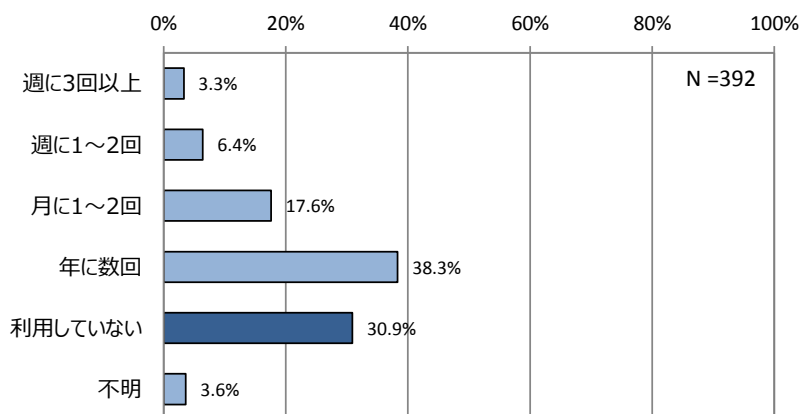
※1位は白抜き、2位は白抜き（その他、不明は除く）

⑧ 観光物産センター

利用回数

<全体>

「年に数回」(38.3%) が最も多く、次いで「利用していない」(30.9%)、「月に1～2回」(17.6%)が続いています。



<年齢別>

18～39歳は、他の年齢層に比べ「利用していない」(50.9%)が多く、「月に1～2回」(7.5%)が少なくなっています。

60歳以上は、他の年齢層に比べ「月に1～2回」(20.8%)が多く、「利用していない」(25.4%)が少なくなっています。

<地区別>

西は「年に数回」(39.9%)が最も多く、次いで「利用していない」(24.6%)、「月に1～2回」(21.8%)が続いています。

東は「利用していない」(44.3%)が最も多く、次いで「年に数回」(32.0%)、「月に1～2回」(11.5%)が続いています。

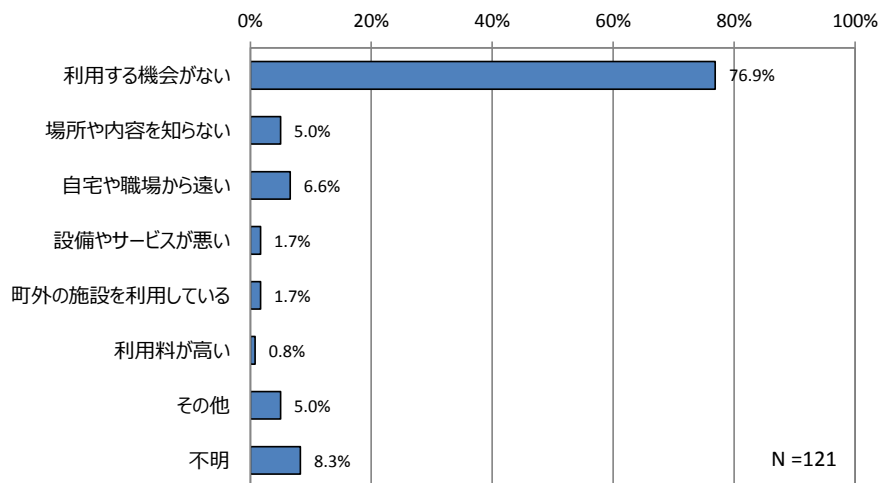
	調査数	週に3回以上	週に1～2回	月に1～2回	年に数回	利用していない	不明
合計	392	13	25	69	150	121	14
	100.0%	3.3%	6.4%	17.6%	38.3%	30.9%	3.6%
18～39歳	53	-	1	4	21	27	-
	100.0%	-	1.9%	7.5%	39.6%	50.9%	-
40～59歳	91	1	6	14	39	29	2
	100.0%	1.1%	6.6%	15.4%	42.9%	31.9%	2.2%
60歳以上	240	11	18	50	88	61	12
	100.0%	4.6%	7.5%	20.8%	36.7%	25.4%	5.0%
西（久佐々・岐尼・天王）	248	7	22	54	99	61	5
	100.0%	2.8%	8.9%	21.8%	39.9%	24.6%	2.0%
東（歌垣・田尻・東郷）	122	5	3	14	39	54	7
	100.0%	4.1%	2.5%	11.5%	32.0%	44.3%	5.7%

※1位は白抜き（不明は除く）

利用していない理由

<全体>

回答者の大半が「利用する機会がない」（76.9%）と回答しています。



<年齢別>

60歳以上は、他の年齢層に比べ「自宅や職場から遠い」(9.8%)が多く、「利用する機会がない」(65.6%)が少なくなっています。

<地区別>

西は、回答者の大半が「利用する機会がない」（75.4%）と回答しています。

東は、「利用する機会がない」（75.9%）が最も多く7割以上を占め、次いで「自宅や職場から遠い」（13.0%）が続いています。

	調査数	利用する機会がない	場所や内容を知らない	自宅や職場から遠い	設備やサービスが悪い	町外の施設を利用している	利用料が高い	その他	不明
合計	121	93	6	8	2	2	1	6	10
	100.0%	76.9%	5.0%	6.6%	1.7%	1.7%	0.8%	5.0%	8.3%
18～39歳	27	25	1	1	-	-	-	-	1
	100.0%	92.6%	3.7%	3.7%	-	-	-	-	3.7%
40～59歳	29	25	1	1	-	1	-	-	2
	100.0%	86.2%	3.4%	3.4%	-	3.4%	-	-	6.9%
60歳以上	61	40	4	6	2	1	1	5	7
	100.0%	65.6%	6.6%	9.8%	3.3%	1.6%	1.6%	8.2%	11.5%
西（久佐々・岐尼・天王）	61	46	3	1	1	-	1	4	6
	100.0%	75.4%	4.9%	1.6%	1.6%	-	1.6%	6.6%	9.8%
東（歌垣・田尻・東郷）	54	41	3	7	1	2	-	2	4
	100.0%	75.9%	5.6%	13.0%	1.9%	3.7%	-	3.7%	7.4%

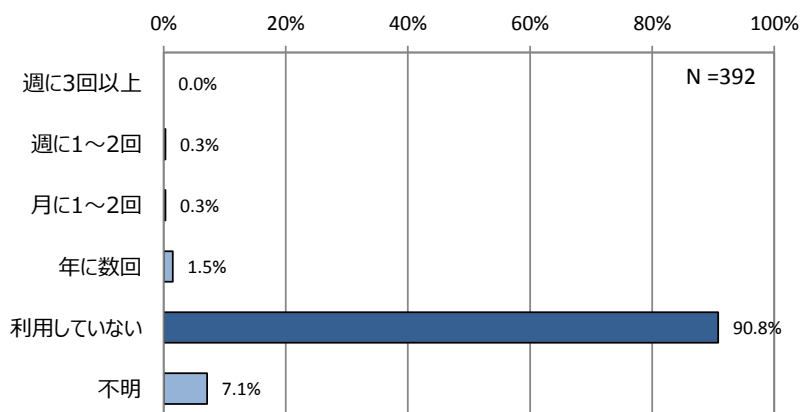
※1 位は白抜き、2 位は白抜き（その他、不明は除く）

⑨ 交流促進施設

利用回数

<全体>

回答者の大半が「利用していない」（90.8%）と回答しています。



<年齢別>

60歳以上は、他の年齢層に比べ「利用していない」（87.1%）が少なくなっています。

<地区別>

西は、回答者の大半が「利用していない」（92.7%）と回答しています。

東は、回答者の大半が「利用していない」（88.5%）と回答しています。

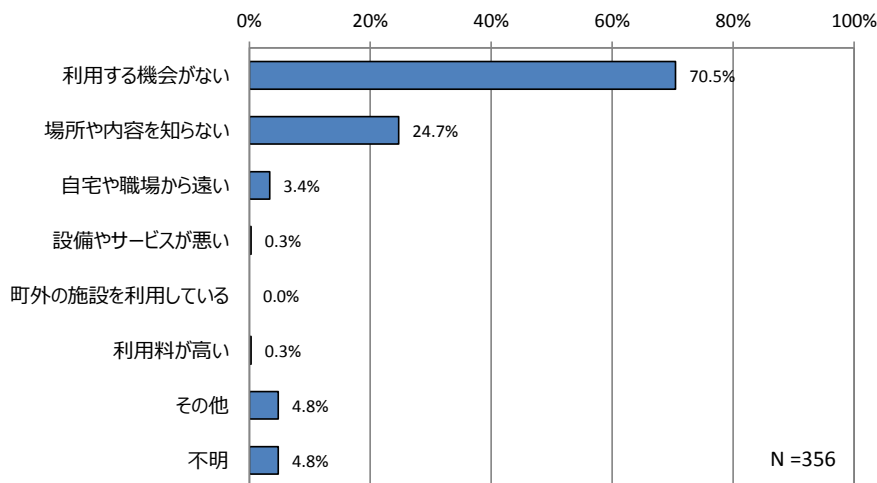
	調査数	週に3回以上	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	利用していない	不明
合計	392	1	1	6	356	28	
	100.0%	0.3%	0.3%	1.5%	90.8%	7.1%	
18~39歳	53	-	-	-	53	-	
	100.0%	-	-	-	100.0%	-	
40~59歳	91	-	-	1	86	4	
	100.0%	-	-	1.1%	94.5%	4.4%	
60歳以上	240	1	1	5	209	24	
	100.0%	0.4%	0.4%	2.1%	87.1%	10.0%	
西（久佐々・岐尼・天王）	248	-	-	2	230	16	
	100.0%	-	-	0.8%	92.7%	6.5%	
東（歌垣・田尻・東郷）	122	1	1	4	108	8	
	100.0%	0.8%	0.8%	3.3%	88.5%	6.6%	

※1位は白抜き（不明は除く）

利用していない理由

<全体>

「利用する機会がない」(70.5%)が最も多く7割以上を占め、次いで「場所や内容を知らない」(24.7%)が続いています。



<年齢別>

60歳以上は、他の年齢層に比べ「場所や内容を知らない」(21.1%)が少なくなっています。

<地区別>

西は、「利用する機会がない」(69.1%)が最も多く7割近くを占め、次いで「場所や内容を知らない」(27.0%)が続いています。

東は、「利用する機会がない」(71.3%)が最も多く7割以上を占め、次いで「場所や内容を知らない」(23.1%)が続いています。

	調査数	利用する機会がない	場所や内容を知らない	自宅や職場から遠い	設備やサービスが悪い	町外の施設を利用している	利用料が高い	その他	不明
合計	356	251	88	12	1	-	1	17	17
	100.0%	70.5%	24.7%	3.4%	0.3%	-	0.3%	4.8%	4.8%
18～39歳	53	38	17	-	-	-	-	1	1
	100.0%	71.7%	32.1%	-	-	-	-	1.9%	1.9%
40～59歳	86	62	26	2	-	-	-	2	3
	100.0%	72.1%	30.2%	2.3%	-	-	-	2.3%	3.5%
60歳以上	209	148	44	9	1	-	1	13	11
	100.0%	70.8%	21.1%	4.3%	0.5%	-	0.5%	6.2%	5.3%
西（久佐々・岐尼・天王）	230	159	62	2	1	-	-	14	11
	100.0%	69.1%	27.0%	0.9%	0.4%	-	-	6.1%	4.8%
東（歌垣・田尻・東郷）	108	77	25	10	-	-	-	3	5
	100.0%	71.3%	23.1%	9.3%	-	-	-	2.8%	4.6%

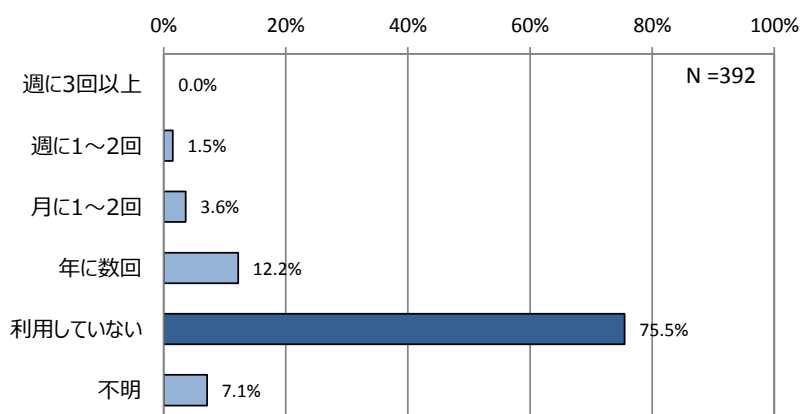
※1 位は白抜き、2 位は白抜き（その他、不明は除く）

⑩ 生涯学習センター

利用回数

<全体>

「利用していない」(75.5%) が最も多く 7 割以上を占め、次いで「年に数回」(12.2%) が続いています。



<年齢別>

60 歳以上は、他の年齢層に比べ「利用していない」(70.0%) が少なくなっています。

<地区別>

西は、「利用していない」(77.0%) が最も多く 8 割近くを占め、次いで「年に数回」(11.3%) が続いています。

東は、「利用していない」(71.3%) が最も多く 7 割以上を占め、次いで「年に数回」(16.4%) が続いています。

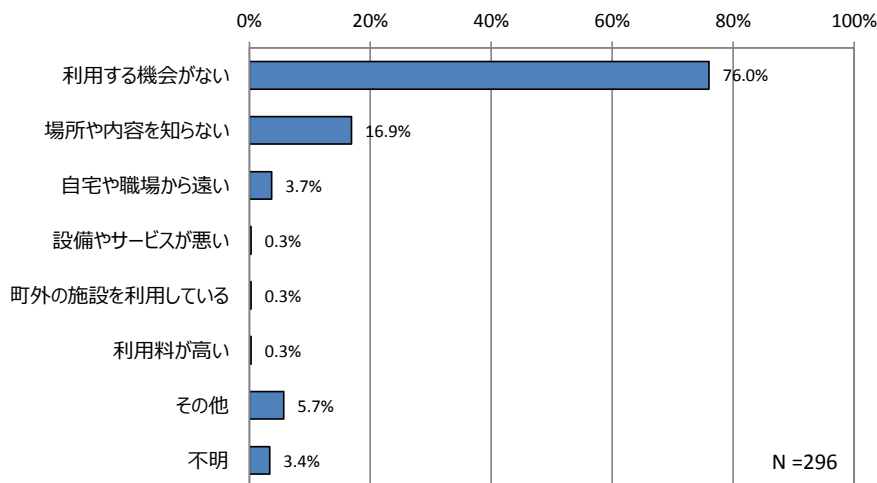
	調 査 数	週 に 3 回 以 上	週 に 1 〜 2 回	月 に 1 〜 2 回	年 に 数 回	利 用 し て い ない	不 明
合計	392 100.0%	6 1.5%	14 3.6%	48 12.2%	296 75.5%	28 7.1%	
18〜39歳	53 100.0%	1 1.9%	1 1.9%	6 11.3%	44 83.0%	1 1.9%	
40〜59歳	91 100.0%	1 1.1%	3 3.3%	8 8.8%	76 83.5%	3 3.3%	
60歳以上	240 100.0%	4 1.7%	10 4.2%	34 14.2%	168 70.0%	24 10.0%	
西（久佐々・岐尼・天王）	248 100.0%	4 1.6%	10 4.0%	28 11.3%	191 77.0%	15 6.0%	
東（歌垣・田尻・東郷）	122 100.0%	2 1.6%	4 3.3%	20 16.4%	87 71.3%	9 7.4%	

※1 位は白抜き(不明は除く)

利用していない理由

<全体>

「利用する機会がない」(76.0%)が最も多く7割以上を占め、次いで「場所や内容を知らない」(16.9%)が続いています。



<年齢別>

18～39歳は、他の年齢層に比べ「場所や内容を知らない」(25.0%)が多くなっています。

60歳以上は、他の年齢層に比べ「自宅や職場から遠い」(5.4%)が多く、「場所や内容を知らない」(13.7%)が少なくなっています。

<地区別>

西は、「利用する機会がない」(75.9%)が最も多く7割以上を占め、次いで「場所や内容を知らない」(18.8%)が続いています。

東は、「利用する機会がない」(74.7%)が最も多く7割以上を占め、次いで「場所や内容を知らない」(14.9%)が続いています。

	調査数	利用する機会がない	場所や内容を知らない	自宅や職場から遠い	設備やサービスが悪い	町外の施設を利用している	利用料が高い	その他	不明
合計	296	225	50	11	1	1	1	17	10
	100.0%	76.0%	16.9%	3.7%	0.3%	0.3%	0.3%	5.7%	3.4%
18～39歳	44	36	11	-	-	-	-	1	1
	100.0%	81.8%	25.0%	-	-	-	-	2.3%	2.3%
40～59歳	76	59	15	1	-	1	-	3	2
	100.0%	77.6%	19.7%	1.3%	-	1.3%	-	3.9%	2.6%
60歳以上	168	127	23	9	1	-	1	12	5
	100.0%	75.6%	13.7%	5.4%	0.6%	-	0.6%	7.1%	3.0%
西(久佐々・岐尼・天王)	191	145	36	2	1	1	-	13	6
	100.0%	75.9%	18.8%	1.0%	0.5%	0.5%	-	6.8%	3.1%
東(歌垣・田尻・東郷)	87	65	13	9	-	-	-	4	3
	100.0%	74.7%	14.9%	10.3%	-	-	-	4.6%	3.4%

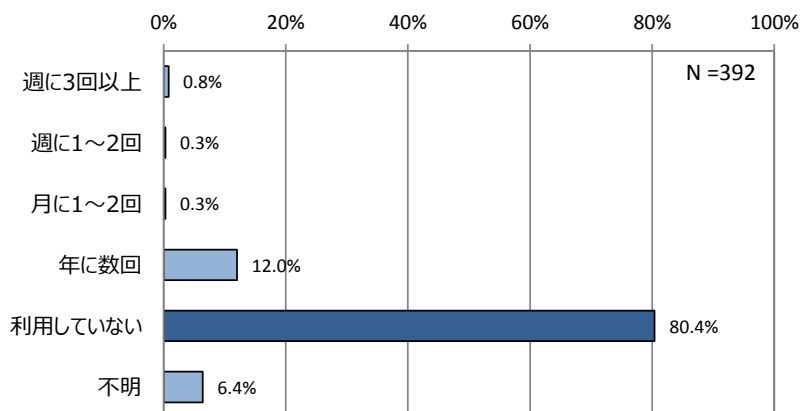
※1位は白抜き、2位は白抜き(その他、不明は除く)

⑪ けやき資料館

利用回数

<全体>

「利用していない」(80.4%) が最も多く 8 割以上を占め、次いで「年に数回」(12.0%) が続いています。



<年齢別>

18～39 歳は、他の年齢層に比べ「年に数回」(17.0%) が多くなっています。

<地区別>

西は、回答者の大半が「利用していない」(84.7%) と回答しています。

東は、「利用していない」(71.3%) が最も多く 7 割以上を占め、次いで「年に数回」(20.5%) が続いています。

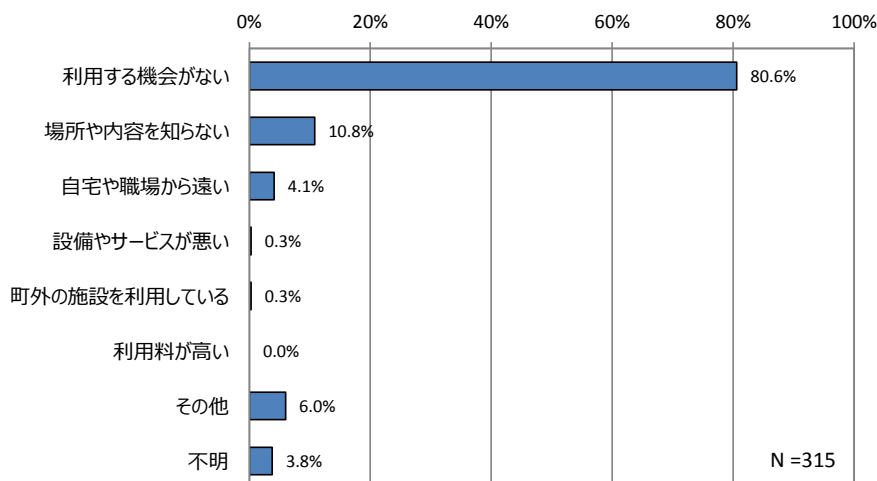
	調査数	週に3回以上	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	利用していない	不明
合計	392	3	1	1	47	315	25
	100.0%	0.8%	0.3%	0.3%	12.0%	80.4%	6.4%
18～39歳	53	-	-	-	9	44	-
	100.0%	-	-	-	17.0%	83.0%	-
40～59歳	91	-	1	-	10	77	3
	100.0%	-	1.1%	-	11.0%	84.6%	3.3%
60歳以上	240	3	-	1	28	186	22
	100.0%	1.3%	-	0.4%	11.7%	77.5%	9.2%
西（久佐々・岐尼・天王）	248	-	-	1	22	210	15
	100.0%	-	-	0.4%	8.9%	84.7%	6.0%
東（歌垣・田尻・東郷）	122	3	1	-	25	87	6
	100.0%	2.5%	0.8%	-	20.5%	71.3%	4.9%

※1 位は白抜き（不明は除く）

利用していない理由

<全体>

「利用する機会がない」(80.6%)が最も多く8割以上を占め、次いで「場所や内容を知らない」(10.8%)が続いています。



<年齢別>

18～39歳は、他の年齢層に比べ「場所や内容を知らない」(22.7%)が多くなっています。

<地区別>

西は、「利用する機会がない」(79.5%)が最も多く8割近くを占め、次いで「場所や内容を知らない」(13.3%)が続いています。

東は、回答者の大半が「利用する機会がない」(82.8%)と回答しています。

	調査数	利用する機会がない	場所や内容を知らない	自宅や職場から遠い	設備やサービスが悪い	町外の施設を利用している	利用料が高い	その他	不明
合計	315	254	34	13	1	1	-	19	12
	100.0%	80.6%	10.8%	4.1%	0.3%	0.3%	-	6.0%	3.8%
18～39歳	44	37	10	-	-	-	-	-	1
	100.0%	84.1%	22.7%	-	-	-	-	-	2.3%
40～59歳	77	66	8	4	-	-	-	2	2
	100.0%	85.7%	10.4%	5.2%	-	-	-	2.6%	2.6%
60歳以上	186	147	15	9	1	1	-	16	7
	100.0%	79.0%	8.1%	4.8%	0.5%	0.5%	-	8.6%	3.8%
西（久佐々・岐尼・天王）	210	167	28	8	1	-	-	12	8
	100.0%	79.5%	13.3%	3.8%	0.5%	-	-	5.7%	3.8%
東（歌垣・田尻・東郷）	87	72	5	5	-	-	-	7	3
	100.0%	82.8%	5.7%	5.7%	-	-	-	8.0%	3.4%

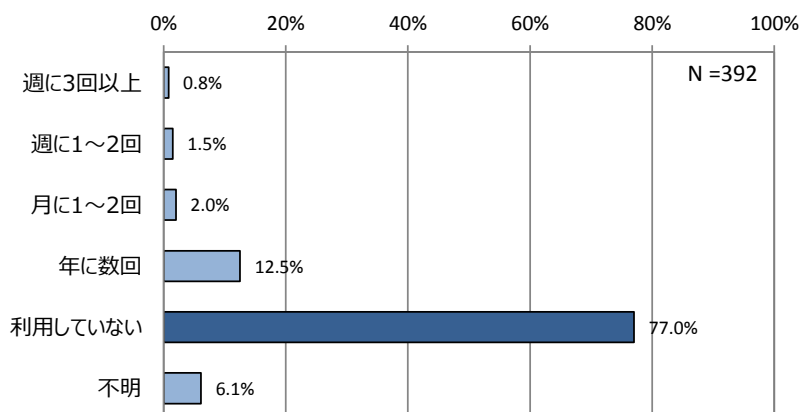
※1位は白抜き、2位は白抜き（その他、不明は除く）

⑫ B&G 海洋センター

利用回数

<全体>

「利用していない」(77.0%) が最も多く 8 割近くを占め、次いで「年に数回」(12.5%) が続いています。



<年齢別>

18～39 歳は、他の年齢層に比べ「年に数回」(26.4%) が多く、「利用していない」(69.8%) が少なくなっています。

60 歳以上は、他の年齢層に比べ「年に数回」(7.9%) が少なくなっています。

<地区別>

西は、「利用していない」(77.4%) が最も多く 8 割近くを占め、次いで「年に数回」(13.7%) が続いています。

東は、「利用していない」(77.0%) が最も多く 8 割近くを占め、次いで「年に数回」(11.5%) が続いています。

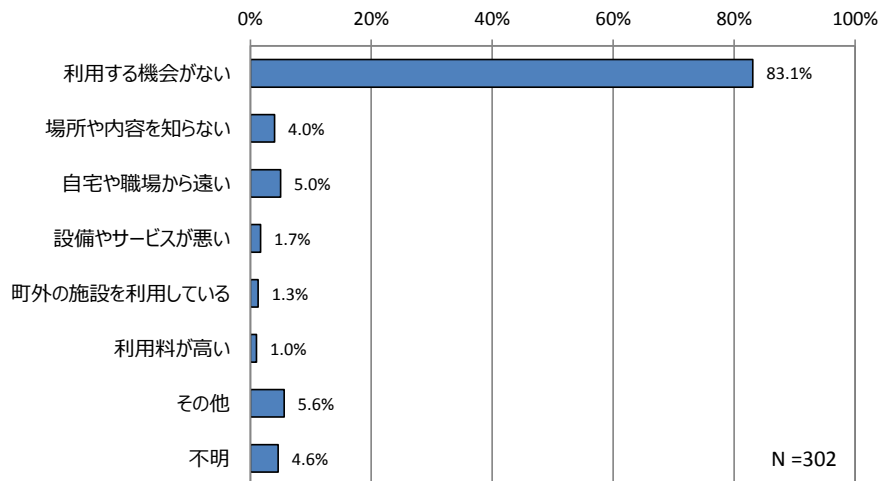
	調査数	週に3回以上	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	利用していない	不明
合計	392	3	6	8	49	302	24
	100.0%	0.8%	1.5%	2.0%	12.5%	77.0%	6.1%
18～39歳	53	1	-	1	14	37	-
	100.0%	1.9%	-	1.9%	26.4%	69.8%	-
40～59歳	91	-	1	3	15	69	3
	100.0%	-	1.1%	3.3%	16.5%	75.8%	3.3%
60歳以上	240	2	5	4	19	189	21
	100.0%	0.8%	2.1%	1.7%	7.9%	78.8%	8.8%
西（久佐々・岐尼・天王）	248	1	3	5	34	192	13
	100.0%	0.4%	1.2%	2.0%	13.7%	77.4%	5.2%
東（歌垣・田尻・東郷）	122	2	2	3	14	94	7
	100.0%	1.6%	1.6%	2.5%	11.5%	77.0%	5.7%

※1 位は白抜き（不明は除く）

利用していない理由

<全体>

回答者の大半が「利用する機会がない」（83.1%）と回答しています。



<年齢別>

18～39歳は、他の年齢層に比べ「場所や内容を知らない」（10.8%）が多くなっています。

<地区別>

西は、回答者の大半が「利用する機会がない」（82.8%）と回答しています。

東は、回答者の大半が「利用する機会がない」（83.0%）と回答しています。

	調査数	利用する機会がない	場所や内容を知らない	自宅や職場から遠い	設備やサービスが悪い	町外の施設を利用している	利用料が高い	その他	不明
合計	302	251	12	15	5	4	3	17	14
	100.0%	83.1%	4.0%	5.0%	1.7%	1.3%	1.0%	5.6%	4.6%
18～39歳	37	33	4	-	1	1	-	1	1
	100.0%	89.2%	10.8%	-	2.7%	2.7%	-	2.7%	2.7%
40～59歳	69	59	1	2	3	3	-	2	2
	100.0%	85.5%	1.4%	2.9%	4.3%	4.3%	-	2.9%	2.9%
60歳以上	189	155	7	13	1	-	3	13	9
	100.0%	82.0%	3.7%	6.9%	0.5%	-	1.6%	6.9%	4.8%
西（久佐々・岐尼・天王）	192	159	8	7	4	4	1	12	9
	100.0%	82.8%	4.2%	3.6%	2.1%	2.1%	0.5%	6.3%	4.7%
東（歌垣・田尻・東郷）	94	78	4	8	1	-	1	5	4
	100.0%	83.0%	4.3%	8.5%	1.1%	-	1.1%	5.3%	4.3%

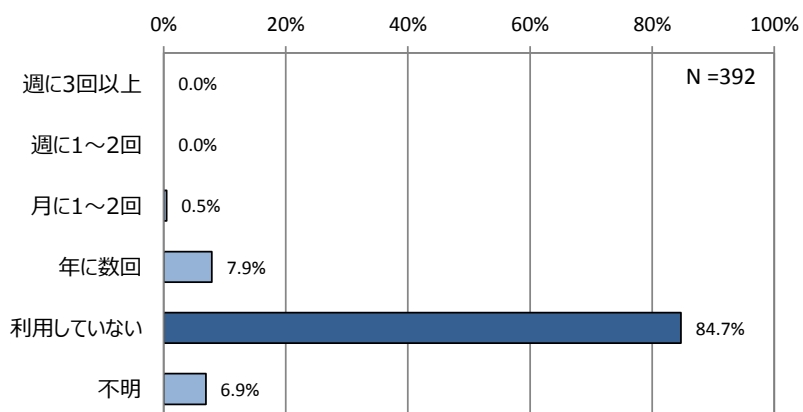
※1 位は白抜き、2 位は白抜き（その他、不明は除く）

⑬ 名月グラウンド

利用回数

<全体>

回答者の大半が「利用していない」（84.7%）と回答しています。



<年齢別>

60歳以上は、他の年齢層に比べ「年に数回」（5.4%）が少なくなっています。

<地区別>

西は、回答者の大半が「利用していない」（87.1%）と回答しています。

東は、「利用していない」（80.3%）が最も多く8割以上を占め、次いで「年に数回」（12.3%）が続いています。

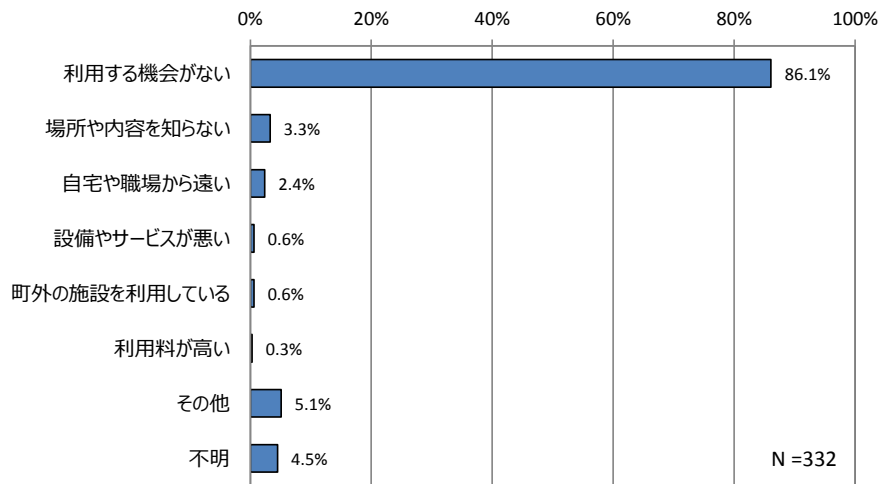
	調査数	週に3回以上	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	利用していない	不明
合計	392	-	-	2	31	332	27
	100.0%	-	-	0.5%	7.9%	84.7%	6.9%
18~39歳	53	-	-	-	7	46	-
	100.0%	-	-	-	13.2%	86.8%	-
40~59歳	91	-	-	1	10	77	3
	100.0%	-	-	1.1%	11.0%	84.6%	3.3%
60歳以上	240	-	-	1	13	202	24
	100.0%	-	-	0.4%	5.4%	84.2%	10.0%
西（久佐々・岐尼・天王）	248	-	-	1	16	216	15
	100.0%	-	-	0.4%	6.5%	87.1%	6.0%
東（歌垣・田尻・東郷）	122	-	-	1	15	98	8
	100.0%	-	-	0.8%	12.3%	80.3%	6.6%

※1位は白抜き（不明は除く）

利用していない理由

<全体>

回答者の大半が「利用する機会がない」（86.1%）と回答しています。



<年齢別>

18～39歳は、他の年齢層に比べ「場所や内容を知らない」（8.7%）が多くなっています。

60歳以上は、他の年齢層に比べ「利用する機会がない」（82.2%）が少なくなっています。

<地区別>

西は、回答者の大半が「利用する機会がない」（87.0%）と回答しています。

東は、回答者の大半が「利用する機会がない」（83.7%）と回答しています。

	調査数	利用する機会がない	場所や内容を知らない	自宅や職場から遠い	設備やサービスが悪い	町外の施設を利用している	利用料が高い	その他	不明
合計	332	286	11	8	2	2	1	17	15
	100.0%	86.1%	3.3%	2.4%	0.6%	0.6%	0.3%	5.1%	4.5%
18～39歳	46	42	4	-	1	1	-	-	1
	100.0%	91.3%	8.7%	-	2.2%	2.2%	-	-	2.2%
40～59歳	77	73	1	1	-	-	1	-	2
	100.0%	94.8%	1.3%	1.3%	-	-	1.3%	-	2.6%
60歳以上	202	166	6	7	1	1	-	16	11
	100.0%	82.2%	3.0%	3.5%	0.5%	0.5%	-	7.9%	5.4%
西（久佐々・岐尼・天王）	216	188	7	3	2	1	1	12	10
	100.0%	87.0%	3.2%	1.4%	0.9%	0.5%	0.5%	5.6%	4.6%
東（歌垣・田尻・東郷）	98	82	4	5	-	-	-	5	4
	100.0%	83.7%	4.1%	5.1%	-	-	-	5.1%	4.1%

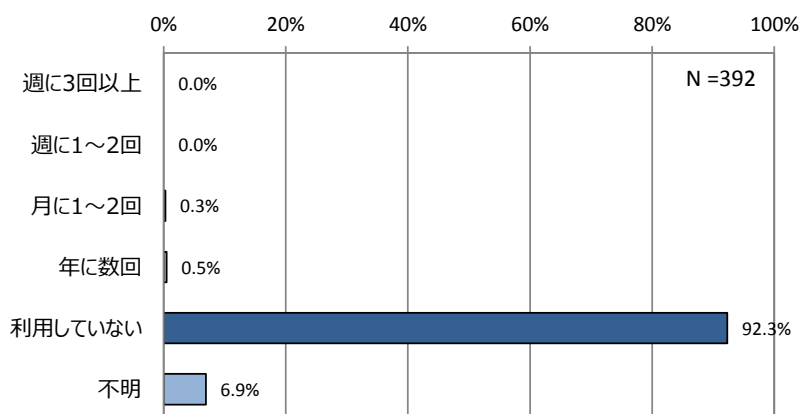
※1位は白抜き、2位は白抜き（その他、不明は除く）

⑭ 国体記念スポーツセンター

利用回数

<全体>

回答者の大半が「利用していない」（92.3%）と回答しています。



<年齢別>

60歳以上は、他の年齢層に比べ「利用していない」（89.6%）が少なくなっています。

<地区別>

西は、回答者の大半が「利用していない」（94.0%）と回答しています。

東は、回答者の大半が「利用していない」（91.0%）と回答しています。

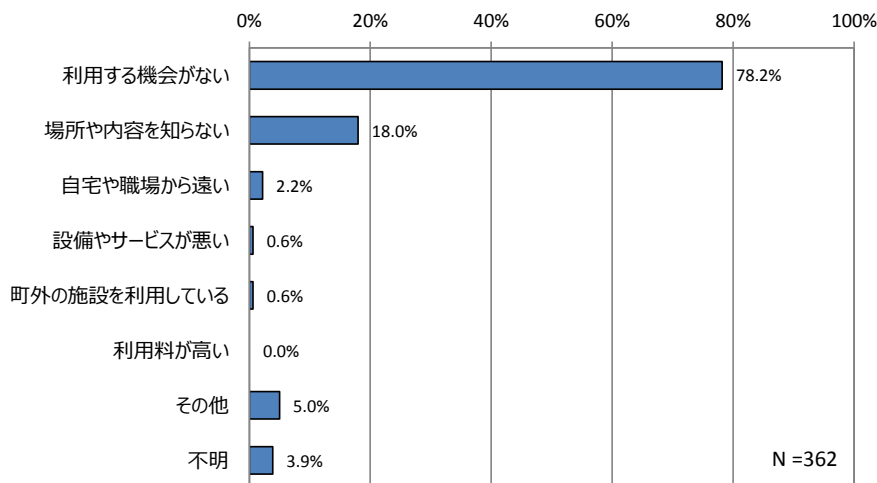
	調査数	週に3回以上	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	利用していない	不明
合計	392	-	-	1	2	362	27
	100.0%	-	-	0.3%	0.5%	92.3%	6.9%
18~39歳	53	-	-	-	1	52	-
	100.0%	-	-	-	1.9%	98.1%	-
40~59歳	91	-	-	-	1	87	3
	100.0%	-	-	-	1.1%	95.6%	3.3%
60歳以上	240	-	-	1	-	215	24
	100.0%	-	-	0.4%	-	89.6%	10.0%
西（久佐々・岐尼・天王）	248	-	-	-	1	233	14
	100.0%	-	-	-	0.4%	94.0%	5.6%
東（歌垣・田尻・東郷）	122	-	-	1	1	111	9
	100.0%	-	-	0.8%	0.8%	91.0%	7.4%

※1 位は白抜き（不明は除く）

利用していない理由

<全体>

「利用する機会がない」(78.2%)が最も多く 8 割近くを占め、次いで「場所や内容を知らない」(18.0%)が続いています。



<年齢別>

18～39 歳は、他の年齢層に比べ「場所や内容を知らない」(30.8%)が多くなっています。

60 歳以上は、他の年齢層に比べ「場所や内容を知らない」(14.4%)が少なくなっています。

<地区別>

西は、「利用する機会がない」(76.4%)が最も多く 7 割以上を占め、次いで「場所や内容を知らない」(20.2%)が続いています。

東は、「利用する機会がない」(80.2%)が最も多く 8 割以上を占め、次いで「場所や内容を知らない」(16.2%)が続いています。

	調査数	利用する機会がない	場所や内容を知らない	自宅や職場から遠い	設備やサービスが悪い	町外の施設を利用している	利用料が高い	その他	不明
合計	362	283	65	8	2	2	-	18	14
	100.0%	78.2%	18.0%	2.2%	0.6%	0.6%	-	5.0%	3.9%
18～39歳	52	41	16	-	-	-	-	1	1
	100.0%	78.8%	30.8%	-	-	-	-	1.9%	1.9%
40～59歳	87	71	18	1	-	-	-	-	3
	100.0%	81.6%	20.7%	1.1%	-	-	-	-	3.4%
60歳以上	215	166	31	7	1	1	-	16	9
	100.0%	77.2%	14.4%	3.3%	0.5%	0.5%	-	7.4%	4.2%
西（久佐々・岐尼・天王）	233	178	47	4	1	-	-	14	9
	100.0%	76.4%	20.2%	1.7%	0.4%	-	-	6.0%	3.9%
東（歌垣・田尻・東郷）	111	89	18	4	-	-	-	4	5
	100.0%	80.2%	16.2%	3.6%	-	-	-	3.6%	4.5%

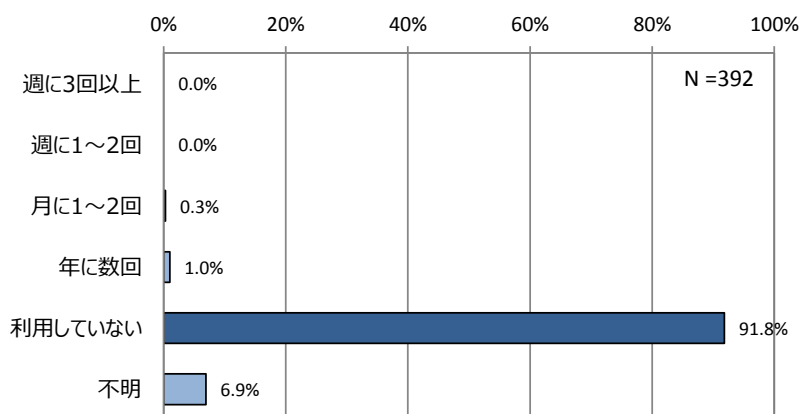
※1 位は白抜き、2 位は白抜き（その他、不明は除く）

⑮ 児童館

利用回数

<全体>

回答者の大半が「利用していない」（91.8%）と回答しています。



<年齢別>

年齢による差はみられません。（「不明」は除外。）

<地区別>

西は、回答者の大半が「利用していない」（92.7%）と回答しています。

東は、回答者の大半が「利用していない」（91.8%）と回答しています。

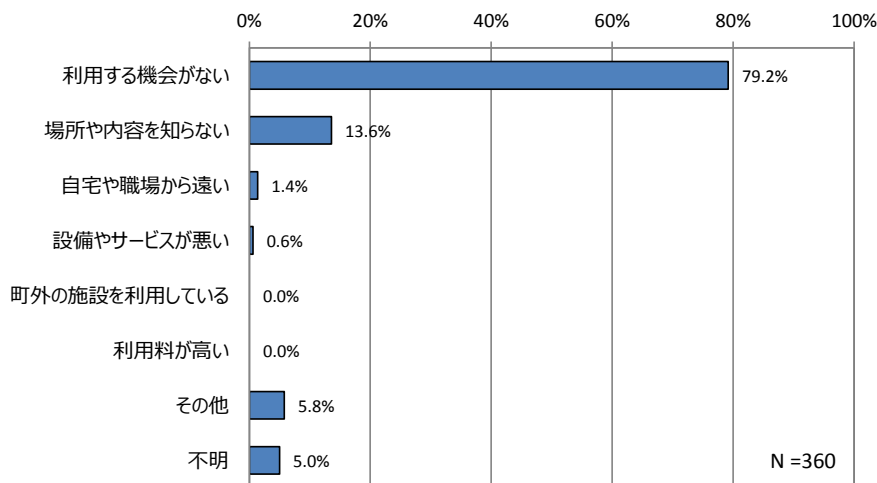
	調査数	週に3回以上	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	利用していない	不明
合計	392	-	-	1	4	360	27
	100.0%	-	-	0.3%	1.0%	91.8%	6.9%
18~39歳	53	-	-	-	1	52	-
	100.0%	-	-	-	1.9%	98.1%	-
40~59歳	91	-	-	1	2	85	3
	100.0%	-	-	1.1%	2.2%	93.4%	3.3%
60歳以上	240	-	-	-	1	215	24
	100.0%	-	-	-	0.4%	89.6%	10.0%
西（久佐々・岐尼・天王）	248	-	-	1	3	230	14
	100.0%	-	-	0.4%	1.2%	92.7%	5.6%
東（歌垣・田尻・東郷）	122	-	-	-	1	112	9
	100.0%	-	-	-	0.8%	91.8%	7.4%

※1 位は白抜き（不明は除く）

利用していない理由

<全体>

「利用する機会がない」(79.2%)が最も多く 8 割近くを占め、次いで「場所や内容を知らない」(13.6%)が続いています。



<年齢別>

18～39 歳は、他の年齢層に比べ「場所や内容を知らない」(25.0%)が多くなっています。

40～59 歳は、他の年齢層に比べ「利用する機会がない」(87.1%)が多くなっています。

<地区別>

西は、「利用する機会がない」(77.0%)が最も多く 8 割近くを占め、次いで「場所や内容を知らない」(15.7%)が続いています。

東は、「利用する機会がない」(81.3%)が最も多く 8 割以上を占め、次いで「場所や内容を知らない」(11.6%)が続いています。

	調査数	利用する機会がない	場所や内容を知らない	自宅や職場から遠い	設備やサービスが悪い	町外の施設を利用している	利用料が高い	その他	不明
合計	360	285	49	5	2	-	-	21	18
	100.0%	79.2%	13.6%	1.4%	0.6%	-	-	5.8%	5.0%
18～39歳	52	40	13	-	1	-	-	2	1
	100.0%	76.9%	25.0%	-	1.9%	-	-	3.8%	1.9%
40～59歳	85	74	11	1	-	-	-	-	4
	100.0%	87.1%	12.9%	1.2%	-	-	-	-	4.7%
60歳以上	215	166	25	4	1	-	-	18	11
	100.0%	77.2%	11.6%	1.9%	0.5%	-	-	8.4%	5.1%
西 (久佐々・岐尼・天王)	230	177	36	1	2	-	-	16	11
	100.0%	77.0%	15.7%	0.4%	0.9%	-	-	7.0%	4.8%
東 (歌垣・田尻・東郷)	112	91	13	4	-	-	-	5	6
	100.0%	81.3%	11.6%	3.6%	-	-	-	4.5%	5.4%

※1 位は白抜き、2 位は白抜き (その他、不明は除く)

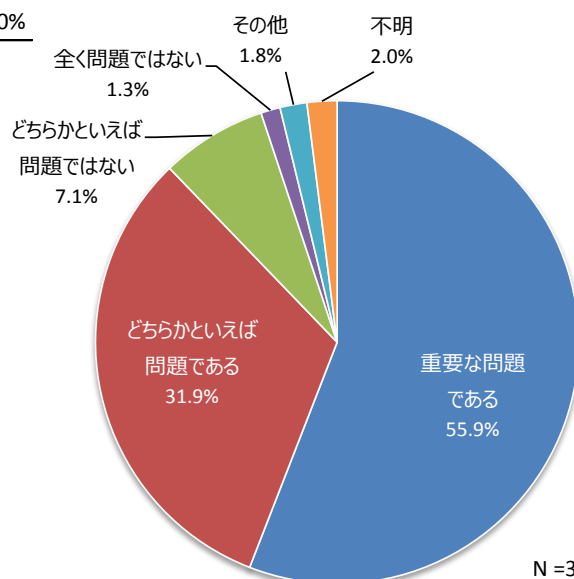
4 本町の公共施設の現状と課題について

問 3-1 本町の公共施設は、老朽化が進んでおり、将来に大規模改修、建て替え時期を迎えることが予想されます。一方で、少子高齢化の進行などにより、自治体の財政状況がますます厳しくなることが予想される中、公共施設の老朽化対策が全国の自治体共通の課題となっています。このような公共施設を取り巻く現状と課題について、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）

<全体>

「重要な問題である」(55.9%) が半数以上、「どちらかといえば問題である」(31.9%) が3割以上となっており、大半の人が問題意識を感じているといえます。

調査数	392	100.0%
重要な問題である	219	55.9%
どちらかといえば問題である	125	31.9%
どちらかといえば問題ではない	28	7.1%
全く問題ではない	5	1.3%
その他	7	1.8%
不明	8	2.0%



<年齢別>

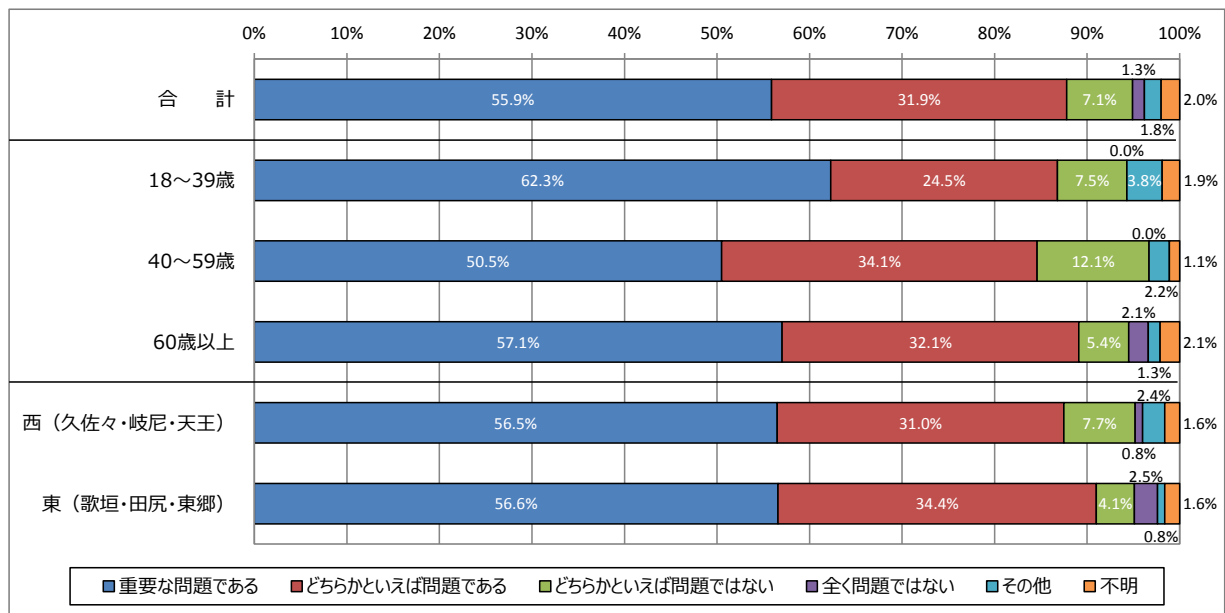
18～39 歳は、他の年齢層に比べ「重要な問題である」(62.3%) が多く 6 割以上を占めています。

40～59 歳は、他の年齢層に比べ「どちらかといえば問題ではない」(12.1%) が多く、「重要な問題である」(50.5%) が少なくなっています。

<地区別>

西は「重要な問題である」(56.5%) が最も多く、「どちらかといえば問題である」(31.0%) と合わせると 9 割近くになります。

東は「重要な問題である」(56.6%) が最も多く、「どちらかといえば問題である」(34.4%) と合わせると 9 割を超えます。



<その他>

「その他」の記述欄では 10 人分の意見が得られました。主な記述内容は以下のとおりです。

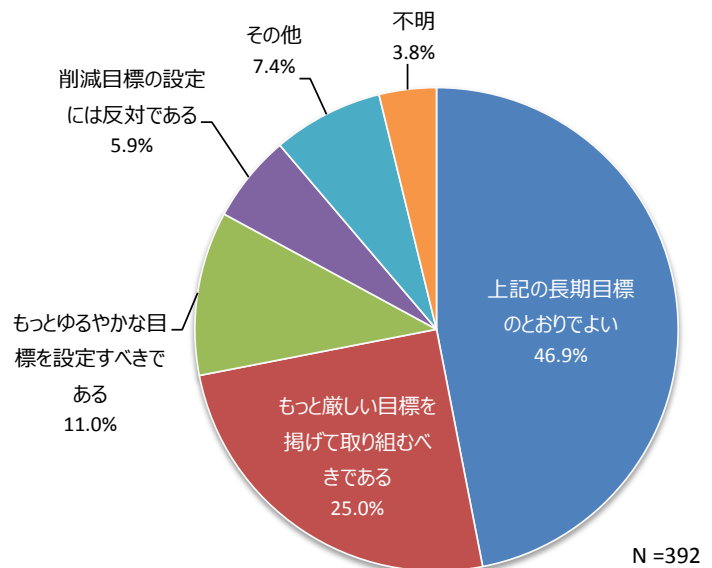
記述内容
公共施設以前に若者の他県への流入を考えるべき。
人が年寄りばかりになっている。
民間の様に、建物や設備の長期修繕計画や取り壊しの資金積み立て計画というものを予め考えておくべき。問題化してから予算付けはいきあたりばったりでは。
個々に判断すべきで府内町村がまったく同じ条件かつ平均的な町村が財政改善しているのでしょうか。
質問の意図がわかりません。

問 3-2 公共施設の住民一人当たり保有量を「大阪府内の町村平均と同等まで削減」するという長期目標（30 年程度）を定め、住民の皆さんのご理解をいただきながら、取り組みを進めていくことについて、あなたはごどう思いますか。（○は 1 つ）

<全体>

「上記の長期目標のとおりでよい」（46.9%）と「もっと厳しい目標を掲げて取り組むべきである」（25.0%）を合わせると 7 割を超え、公共施設の削減に対して多くの人が理解を示しているといえます。

調査数	392	100.0%
上記の長期目標のとおりでよい	184	46.9%
もっと厳しい目標を掲げて取り組むべきである	98	25.0%
もっとゆるやかな目標を設定すべきである	43	11.0%
削減目標の設定には反対である	23	5.9%
その他	29	7.4%
不明	15	3.8%



<年齢別>

18～39 歳は、他の年齢層に比べ「もっと厳しい目標を掲げて取り組むべきである」（17.0%）が少なくなっています。

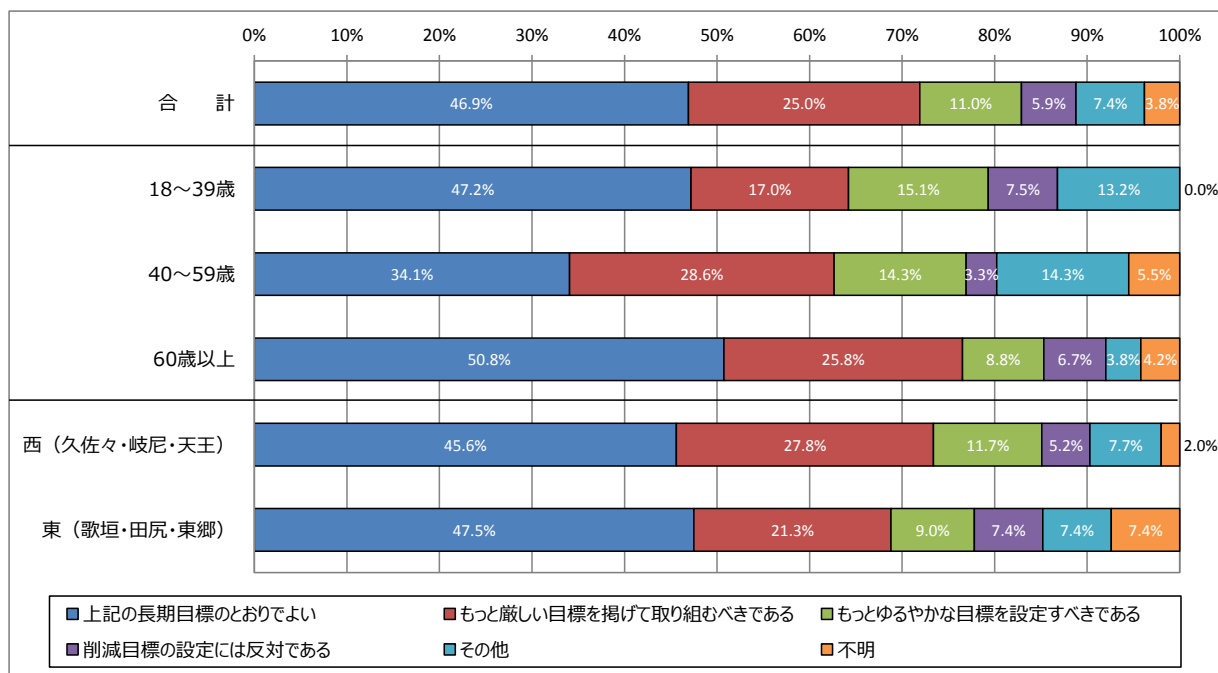
40～59 歳は、他の年齢層に比べ「上記の長期目標のとおりでよい」（34.1%）が少なくなっています。

60 歳以上は、他の年齢層に比べ「上記の長期目標のとおりでよい」（50.8%）が多くなっています。

<地区別>

西は「上記の長期目標のとおりでよい」（45.6%）が最も多く、「もっと厳しい目標を掲げて取り組むべきである」（27.8%）と合わせると 7 割を超えます。

東は「上記の長期目標のとおりでよい」（47.5%）が最も多く、「もっと厳しい目標を掲げて取り組むべきである」（21.3%）と合わせると 7 割近くになります。



<その他>

「その他」の記述欄では 26 人分の意見が得られました。主な記述内容は以下のとおりです。

主な記述内容
「住民一人当たりの保有量」で設定するとなれば、人口の少ない能勢に必要な施設までもがなくなってしまうのではないかな。
地域にあった目標にするべき。
能勢町はお年寄りの方が多く、遠いと不便なのではないかな。
平均までの削減で過疎又は限界集落が進むのではないかな。
他の市町村の数字に拘らず、町民の為の取捨選択を進めた方が良い。
施設にもよるが削減には反対。
無くすことばかり考えず、民間の力を借りたりして、有効活用する方法も考えるべき。
進めるものと進めないものがある。
災害時等避難施設等の確保が出来るのであれば削減すべき。
削減ばかりすると人口が減るのではないかな。新学校の設備に金を掛けすぎではないかな。
当然必要性の少ない施設は見直すべきだが、数値がどうこうではない。税収を確保できるよう、人口の増加策、年齢構成の適正化策をとる事の方が急務では。一人当たりの保有量の分子を減らす事も分からないではないが、分母を増やす策を取る事の方が、他の効果も期待できる。
人口を増やす目標を持つ方が健全。企業誘致を。市街化を。
仕方がないと思う。
具体的に説明してもらわないとわからない。答えようがない。
わかりにくくて反対も賛成も出来ない。

5 今後の方向性について

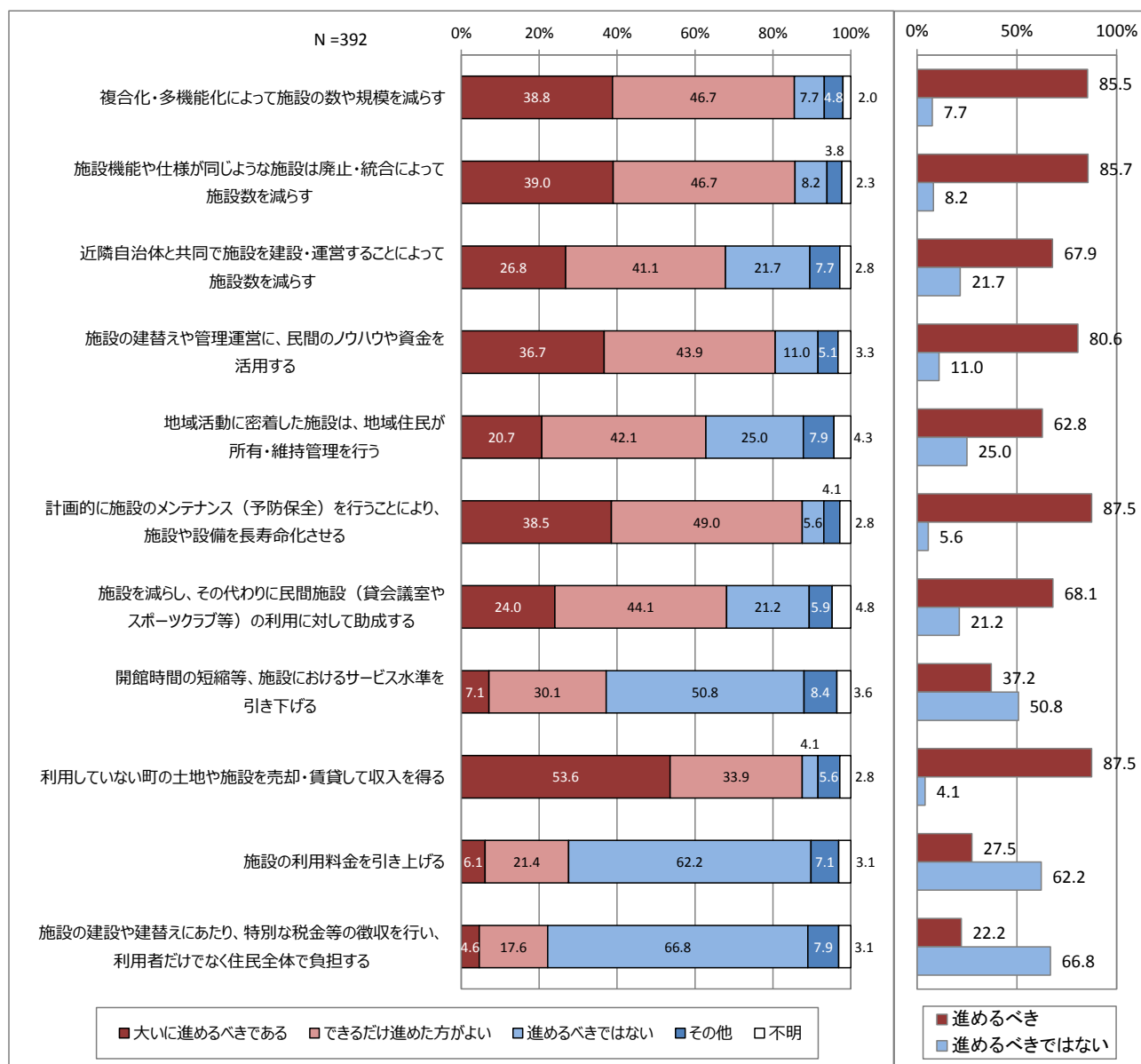
問 4-1～問 4-11 各設問まとめ

「進めるべき」（「大いに進めるべきである」と「できるだけ進めた方がよい」の合計値）では、「複合化・多機能化によって施設の数や規模を減らす」（85.5%）、「施設機能や仕様が同じような施設は廃止・統合によって施設数を減らす」（85.7%）、「施設の建替えや管理運営に、民間のノウハウや資金を活用する」（80.6%）、「計画的に施設のメンテナンス（予防保全）を行うことにより、施設や設備を長寿命化させる」（87.5%）、「利用していない町の土地や施設を売却・賃貸して収入を得る」（87.5%）が8割を超え、「近隣自治体と共同で施設を建設・運営することによって施設数を減らす」（67.9%）、「地域活動に密着した施設は、地域住民が所有・維持管理を行う」（62.8%）、「施設を減らし、その代わりに民間施設（貸会議室やスポーツクラブ等）の利用に対して助成する」（68.1%）が6割を超えており、取組みに対して住民の理解が概ね得られているといえます。

一方で、「進めるべきではない」では、「開館時間の短縮等、施設におけるサービス水準を引き下げる」（50.8%）、「施設の利用料金を引き上げる」（62.2%）、「施設の建設や建替えにあたり、特別な税金等の徴収を行い、利用者だけでなく住民全体で負担する」（66.8%）が半数を超えており、結果として住民の負担が増加する取組みについては、賛同を得るための活動が必要であるといえます。

	調査数	大いに進めるべきである	できるだけ進めた方がよい	進めるべきではない	その他	不明
複合化・多機能化によって施設の数や規模を減らす	392 100.0%	152 38.8%	183 46.7%	30 7.7%	19 4.8%	8 2.0%
施設機能や仕様が同じような施設は廃止・統合によって施設数を減らす	392 100.0%	153 39.0%	183 46.7%	32 8.2%	15 3.8%	9 2.3%
近隣自治体と共同で施設を建設・運営することによって施設数を減らす	392 100.0%	105 26.8%	161 41.1%	85 21.7%	30 7.7%	11 2.8%
施設の建替えや管理運営に、民間のノウハウや資金を活用する	392 100.0%	144 36.7%	172 43.9%	43 11.0%	20 5.1%	13 3.3%
地域活動に密着した施設は、地域住民が所有・維持管理を行う	392 100.0%	81 20.7%	165 42.1%	98 25.0%	31 7.9%	17 4.3%
計画的に施設のメンテナンス（予防保全）を行うことにより、施設や設備を長寿命化させる	392 100.0%	151 38.5%	192 49.0%	22 5.6%	16 4.1%	11 2.8%
施設を減らし、その代わりに民間施設（貸会議室やスポーツクラブ等）の利用に対して助成する	392 100.0%	94 24.0%	173 44.1%	83 21.2%	23 5.9%	19 4.8%
開館時間の短縮等、施設におけるサービス水準を引き下げる	392 100.0%	28 7.1%	118 30.1%	199 50.8%	33 8.4%	14 3.6%
利用していない町の土地や施設を売却・賃貸して収入を得る	392 100.0%	210 53.6%	133 33.9%	16 4.1%	22 5.6%	11 2.8%
施設の利用料金を引き上げる	392 100.0%	24 6.1%	84 21.4%	244 62.2%	28 7.1%	12 3.1%
施設の建設や建替えにあたり、特別な税金等の徴収を行い、利用者だけでなく住民全体で負担する	392 100.0%	18 4.6%	69 17.6%	262 66.8%	31 7.9%	12 3.1%

※1 位は白抜き（その他、不明は除く）

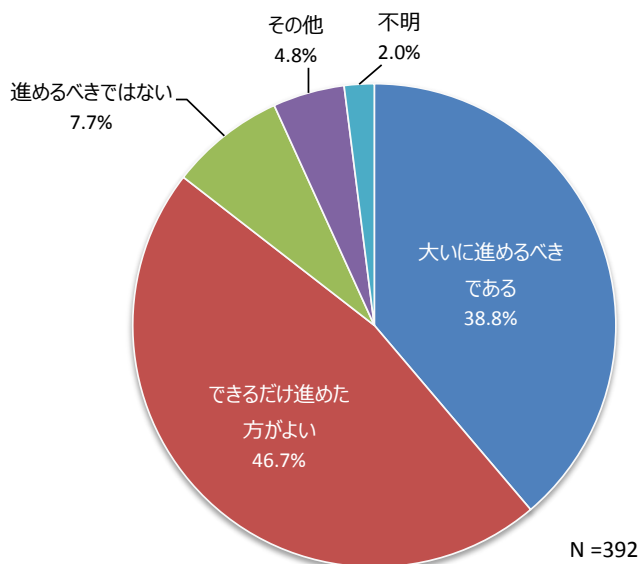


問 4-1 複合化・多機能化によって施設の数や規模を減らす。(○は1つ)

<全体>

「できるだけ進めた方がよい」(46.7%) が最も多く、「大いに進めるべきである」(38.8%) と合わせると 8 割を超えています。

調査数	392	100.0%
大いに進めるべきである	152	38.8%
できるだけ進めた方がよい	183	46.7%
進めるべきではない	30	7.7%
その他	19	4.8%
不明	8	2.0%



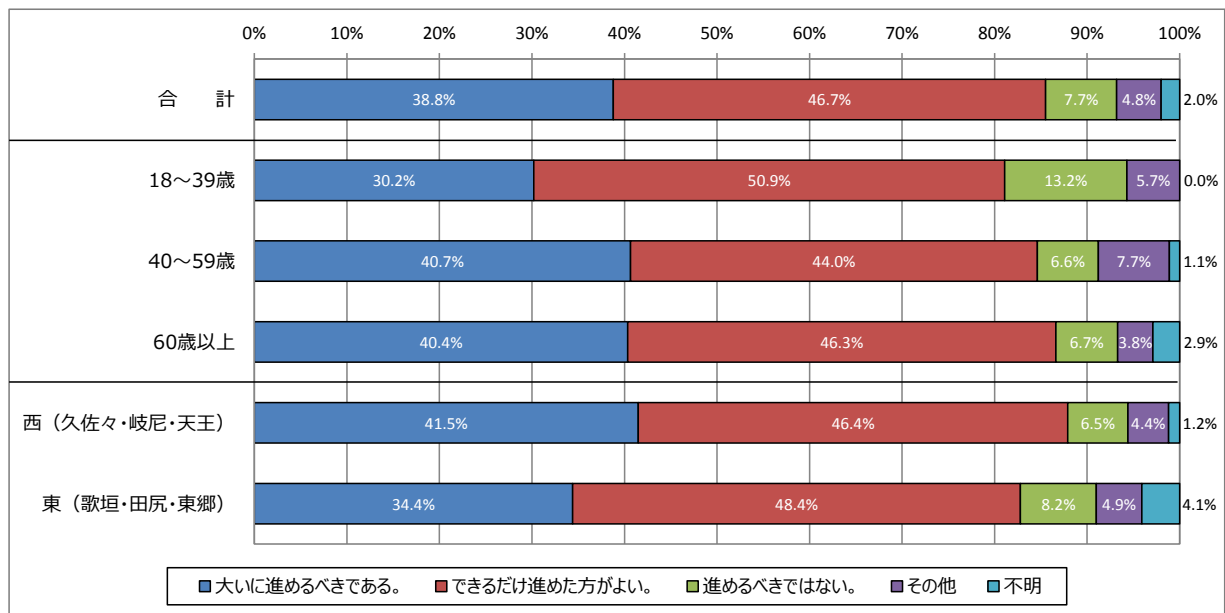
<年齢別>

18～39 歳は、他の年齢層に比べ「大いに進めるべきである」(30.2%) が少なく、「進めるべきではない」(13.2%) が多くなっています。

<地区別>

西は「できるだけ進めた方がよい」(46.4%) が最も多く、「大いに進めるべきである」(41.5%) と合わせると 9 割近くになります。

東は「できるだけ進めた方がよい」(48.4%) が最も多く、「大いに進めるべきである」(34.4%) と合わせると 8 割を超えています。



＜その他＞

「その他」の記述欄では 16 人分の意見が得られました。主な記述内容は以下のとおりです。

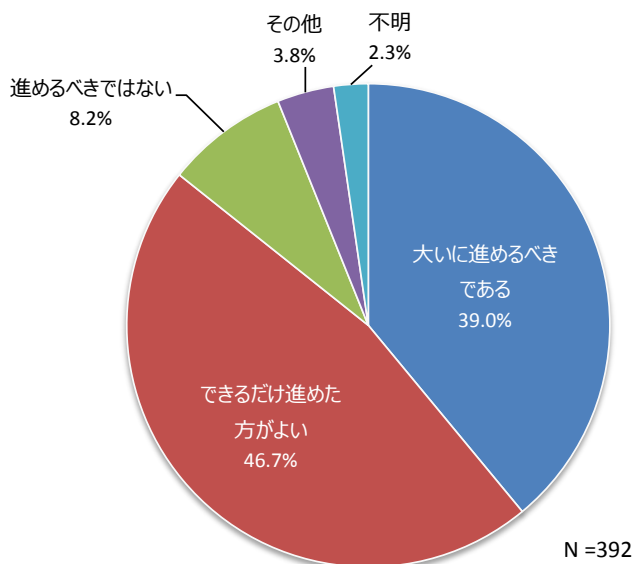
主な記述内容
今ある施設をうまく利用するべきである
負担になることは理解するが・・・。
用途を考えて。
合理的、機能的であれば OK。
「複合化」や「多機能化」を進めるにあたり、ハード面（建物そのもの）を改めるのに資金が必要となる。今ある施設を使って多機能に使える方法と合わせて、どちらが効率良くかつ、住民にとって便利になるかを考えて欲しい。
必要あれば進めるべき。
そもそもいらない機能は、廃止で良いと思う。集約化もいらない。
仕方がないと思う。
大・中規模の施設を新たに造る事は反対。厳しい状況の能勢だからこそ、ハコモノに拘らず、各区の集会所を活用したり各区役員さんに調整役を頼んだり、人の意識を高め、住民もまとまれば、町の施設だから集約とか高機能に拘る必要はないと思いたい。
複合化を出来る所と、利用が多いところは残すべき。
ゆるやかに進める方向でよい。
人口減を止めること。金の掛からない方法で実行。住民の移動手段と高齢化を注視。高額納税者を呼び込むべき。都計法の見直しが必要。無指定に戻す。
どちらでもいい。
具体的に説明してもらわないとわからない。答えようがない。

問 4-2 施設機能や仕様が同じような施設は廃止・統合によって施設数を減らす。(○は1つ)

＜全体＞

「できるだけ進めた方がよい」(46.7%) が最も多く、「大いに進めるべきである」(39.0%) と合わせると 8 割を超えています。

調査数	392	100.0%
大いに進めるべきである	153	39.0%
できるだけ進めた方がよい	183	46.7%
進めるべきではない	32	8.2%
その他	15	3.8%
不明	9	2.3%



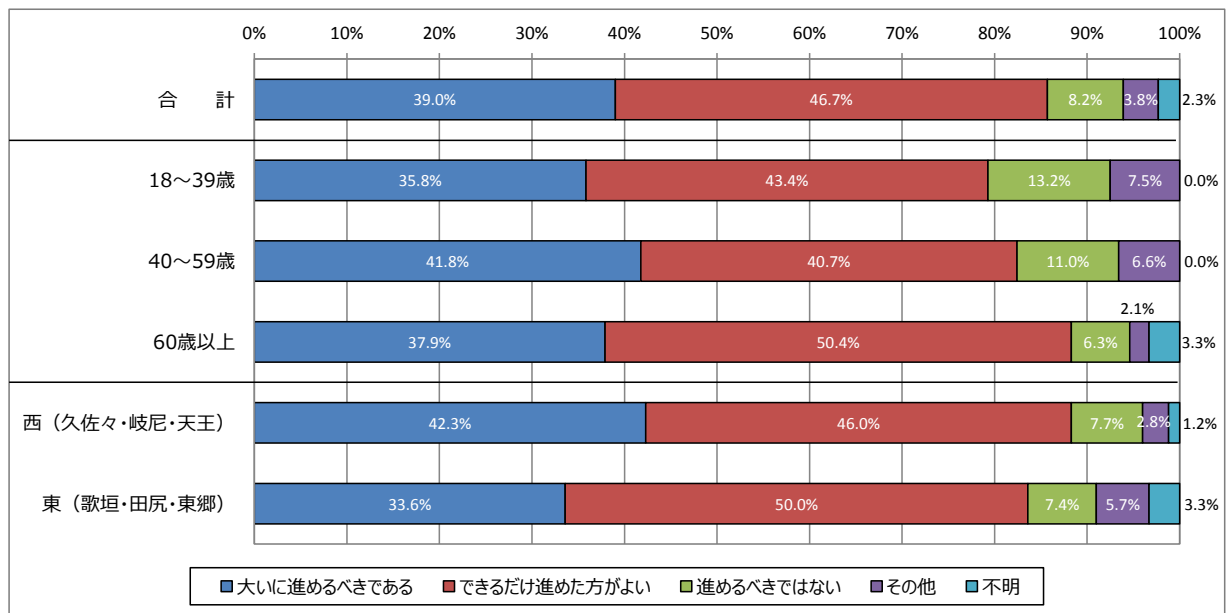
＜年齢別＞

60 歳以上は、他の年齢層に比べ「できるだけ進めた方がよい」(50.4%) が多くなっています。

＜地区別＞

西は「できるだけ進めた方がよい」(46.0%) が最も多く、「大いに進めるべきである」(42.3%) と合わせると 9 割近くになります。

東は「できるだけ進めた方がよい」(50.0%) が最も多く、「大いに進めるべきである」(33.6%) と合わせると 8 割を超えています。



＜その他＞

「その他」の記述欄では 14 人分の意見が得られました。主な記述内容は以下のとおりです。

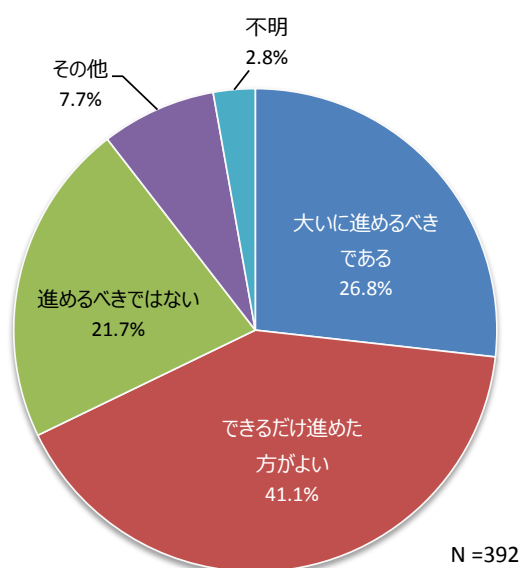
主な記述内容
きちんと議論をした上で。
具体的に説明してほしい。
交通弱者への対策を考えた上で進めるべきだと思う。
地域間バランスを考えながら適正に削減して欲しい。
能勢西・東の間で利便性に格差が出ないように進めて欲しい。
減らすことが目的ではなく、経費を減らす事が目的。集約化よりも、むしろ超小規模各区分散で出来る事もあるのでは。
様々な施設があって一概に継続か廃止・統合といった二者択一は出来ない。
仕方がないと思う。
どちらでもいい。

問 4-3 近隣自治体と共同で施設を建設・運営することによって施設数を減らす。(○は1つ)

＜全体＞

「できるだけ進めた方がよい」(41.1%) が最も多く、「大いに進めるべきである」(26.8%) と合わせると 7 割近くになります。一方で、2 割の人が「進めるべきではない」(21.7%) と回答しています。

調査数	392	100.0%
大いに進めるべきである	105	26.8%
できるだけ進めた方がよい	161	41.1%
進めるべきではない	85	21.7%
その他	30	7.7%
不明	11	2.8%



＜年齢別＞

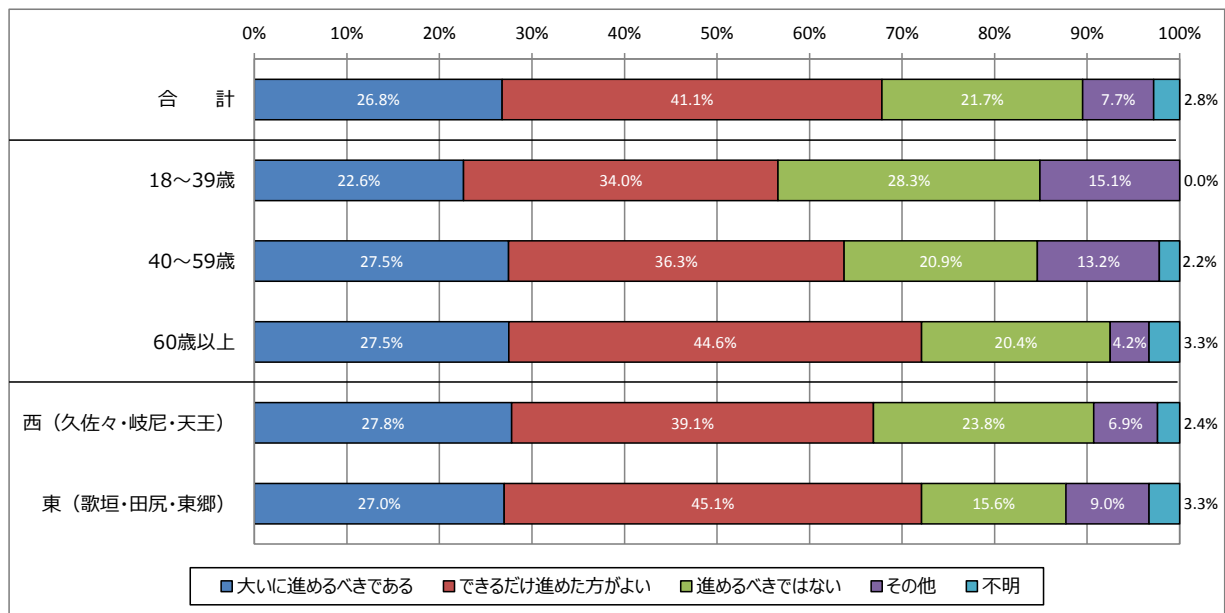
18～39 歳は、他の年齢層に比べ「進めるべきでない」(28.3%) が多くなっています。

60 歳以上は、他の年齢層に比べ「できるだけ進めた方がよい」(44.6%) が多くなっています。

＜地区別＞

西は「できるだけ進めた方がよい」(39.1%) が最も多く、「大いに進めるべきである」(27.8%) と合わせると 7 割近くになります。

東は「できるだけ進めた方がよい」(45.1%) が最も多く、「大いに進めるべきである」(27.0%) と合わせると 7 割を超えています。



<その他>

「その他」の記述欄では 27 人分の意見が得られました。主な記述内容は以下のとおりです。

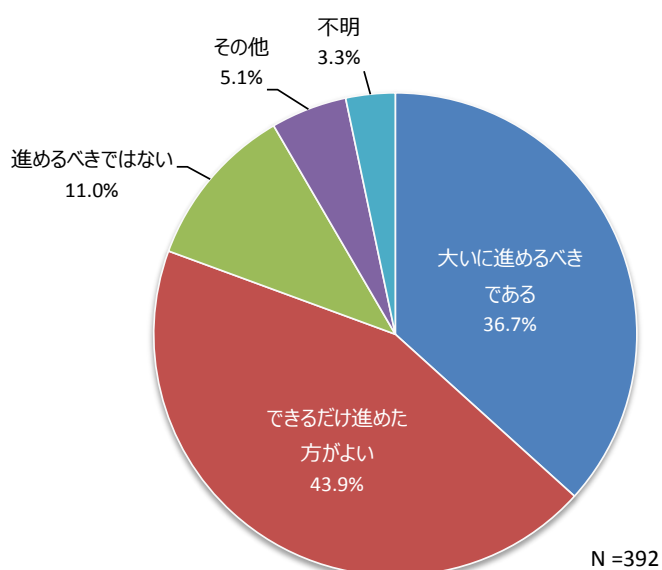
主な記述内容
2～3 年様子を見る。
具体的に説明して欲しい。
住民の意見をよく聞いてから減らすかどうか決める。
無理があるように思う。
進めるべきだが、能勢町では難しい。
ごまかしはダメ。町村合併等基礎から考える事。
様々な施設があって一概に継続か廃止・統合といった二者択一は出来ない。
今のゴミ処理場などは、好事例だろうが、建てる事を優先する余り必要のない共同化はどうか。
やめたい時にやめれるのか。重複したり廃止できなくなったりしないか。
遠くなれば誰も使わなくなる。
他の自治体に施設がある場合は使いづらいと思う。
高齢者にとって必要な施設は近場に置いておくべきである。
仕方がないと思う。
必要あれば進めるべき。
著しいサービスの低下を招かない程度で進めるべき。
能勢町の考え方を柱にする。
施設数を減らすことは理解できるが、他市町の場合交通手段をどうするか。
利用できる交通手段の検討が必要。
交通の足を確保出来るなら、進めてもいいと思う。
新たに建設する費用やその維持費、他自治体と費用の負担割合等、どの施設を共同運営するかもわからないので、何とも言えない。現時点ではわからない。
どちらでもいい。

問 4-4 施設の建替えや管理運営に、民間のノウハウや資金を活用する。(○は1つ)

<全体>

「できるだけ進めた方がよい」(43.9%) が最も多く、「大いに進めるべきである」(36.7%) と合わせると 8 割を超えています。

調査数	392	100.0%
大いに進めるべきである	144	36.7%
できるだけ進めた方がよい	172	43.9%
進めるべきではない	43	11.0%
その他	20	5.1%
不明	13	3.3%



<年齢別>

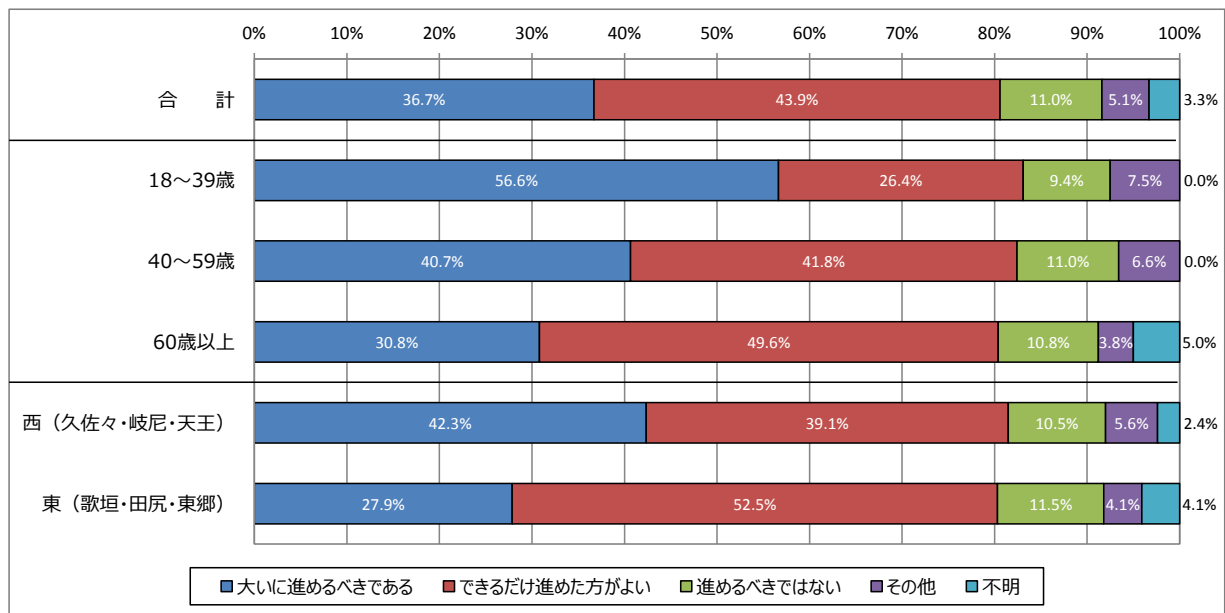
18～39 歳は、他の年齢層に比べ「大いに進めるべきである」(56.6%) が多く、「できるだけ進めた方がよい」(26.4%) が少なくなっています。

60 歳以上は、他の年齢層に比べ「できるだけ進めた方がよい」(49.6%) が多く、「大いに進めるべきである」(30.8%) が少なくなっています。

<地区別>

西は「大いに進めるべきである」(42.3%) と「できるだけ進めた方がよい」(39.1%) が同程度で、合わせると 8 割を超えています。

東は「できるだけ進めた方がよい」(52.5%) が最も多く、「大いに進めるべきである」(27.9%) と合わせると 8 割を超えています。



＜その他＞

「その他」の記述欄では 17 人分の意見が得られました。主な記述内容は以下のとおりです。

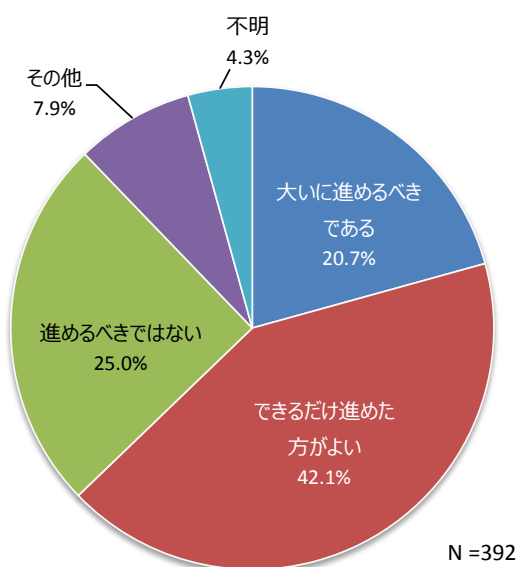
主な記述内容
廃止。
国の交付金以外。誰も助けてくれない。
公共の役割・良さはお金では買えない。全てではない。
様々な施設があって一概に継続か廃止・統合といった二者択一は出来ない。
資金の活用はしないでほしい。
すぐに民間のノウハウというが、コンサル等も必ず最善策があるわけではない。新たなハコモノ建設に囚われ過ぎた設問と思う。民間もそんなに特別な事をしている訳ではない。ノウハウというよりは心構えというべきでは。
行政サービスとしての質は確保すること（一定水準で）を求めたい。
「民間のノウハウや資金」が具体的に分からない。
能勢の自然や環境をよく理解している相手かどうかによる。
民間団体がどのような意図、目的を持って参入してくるのか疑問である。
どちらでもいい。
どちらでもない。

問 4-5 地域活動に密着した施設は、地域住民が所有・維持管理を行う。(○は1つ)

＜全体＞

「できるだけ進めた方がよい」(42.1%) が最も多く、「大いに進めるべきである」(20.7%) と合わせると 6 割を超えています。一方で、2 割以上の人々が「進めるべきではない」(25.0%) と回答しています。

調査数	392	100.0%
大いに進めるべきである	81	20.7%
できるだけ進めた方がよい	165	42.1%
進めるべきではない	98	25.0%
その他	31	7.9%
不明	17	4.3%



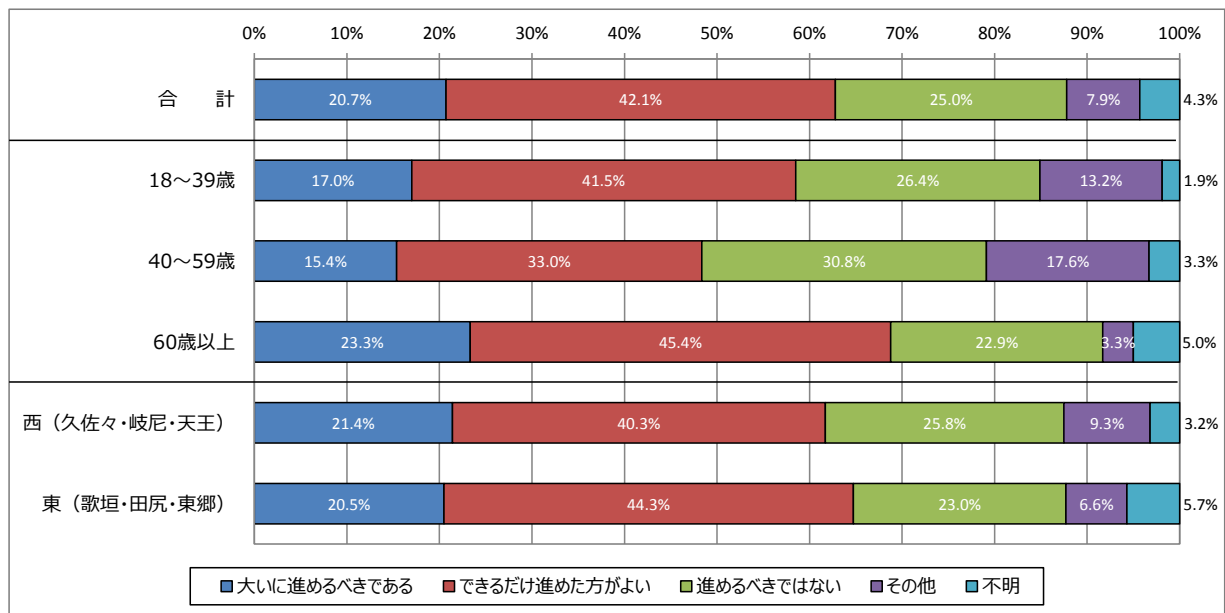
＜年齢別＞

40～59 歳は、他の年齢層に比べ「できるだけ進めた方がよい」(33.0%) が少なくなっています。
60 歳以上は、他の年齢層に比べ「大いに進めるべきである」(23.3%) が多くなっています。

＜地区別＞

西は「できるだけ進めた方がよい」(40.3%) が最も多く、次いで「進めるべきではない」(25.8%) が続いています。

東は「できるだけ進めた方がよい」(44.3%) が最も多く、次いで「進めるべきではない」(23.0%) が続いています。



<その他>

「その他」の記述欄では 27 人分の意見が得られました。主な記述内容は以下のとおりです。

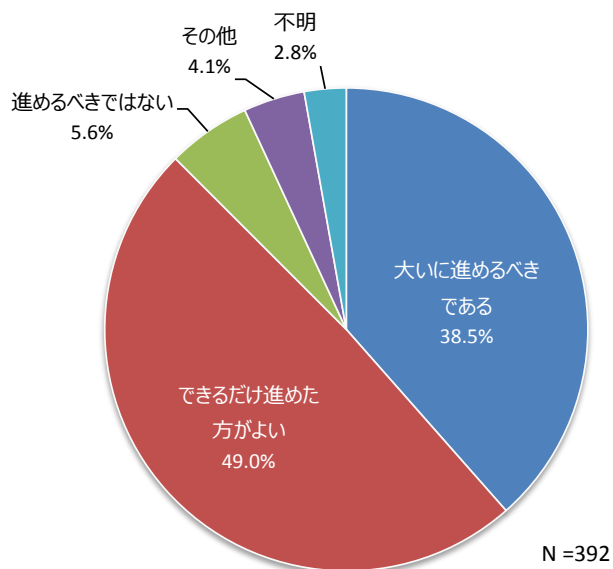
主な記述内容
高齢化により担い手が不足しているので地域で維持管理をするのは無理。
コストの負担が地域住民に可能かどうか疑問である。
できることではない。逃げと丸投げはダメ。
住民が維持管理を行うのは難しいのではないかな。
地域住民の負担増となる。
地域住民の意向は。負担が町民に行く前に町行政としてやるのが前提。
全部を所有・維持管理をするのはやめた方がよいのでは。
地域の資金があるのか。ボランティアばかりになると人口が減る。
町と「半々」で。
大層な建物は不要と思うが、所有は行政、管理は地域で良いのでは。
進めてもいいが補助金は出してほしい。
地域住民の理解を得る事が出来るなら進めてもいいと思う。
ケースバイケース。
既得権につながらない様なスキームなら良いと思う。
町からの資金補助が不可欠。
大阪府が補助して。
廃止。地域に密着したものは行政が維持管理。
どの施設のことか分かりにくい。廃校となった小学校か。
具体的に説明して欲しい。
何について言っているのかよくわからないため、答えられない。今現在、町が所有・維持管理しているのか現状を知らない。
何とも言えない。
どちらでもない。

問 4-6 計画的に施設のメンテナンス（予防保全）を行うことにより、施設や設備を長寿命化させる。
（○は1つ）

<全体>

「できるだけ進めた方がよい」（49.0%）が最も多く、「大いに進めるべきである」（38.5%）と合わせると9割近くになります。

調査数	392	100.0%
大いに進めるべきである	151	38.5%
できるだけ進めた方がよい	192	49.0%
進めるべきではない	22	5.6%
その他	16	4.1%
不明	11	2.8%



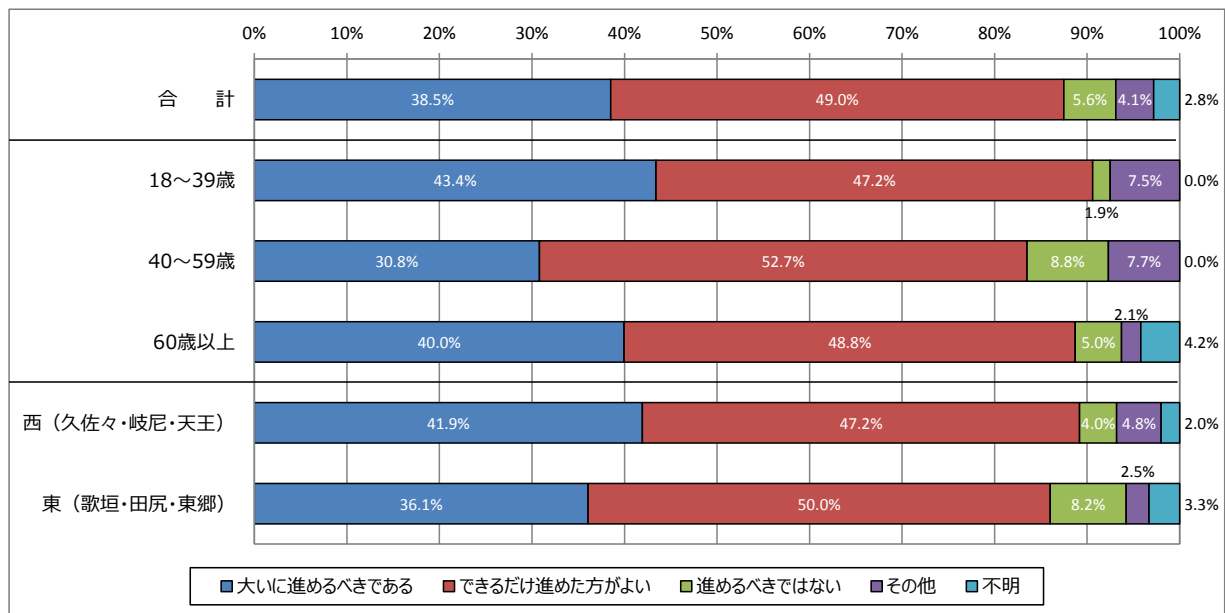
<年齢別>

40～59 歳は、他の年齢層に比べ「大いに進めるべきである」（30.8%）が少なくなっています。

<地区別>

西は「できるだけ進めた方がよい」（47.2%）が最も多く、「大いに進めるべきである」（41.9%）と合わせると9割近くになります。

東は「できるだけ進めた方がよい」（50.0%）が最も多く、「大いに進めるべきである」（36.1%）と合わせると8割を超えています。



<その他>

「その他」の記述欄では 20 人分の意見が得られました。主な記述内容は以下のとおりです。

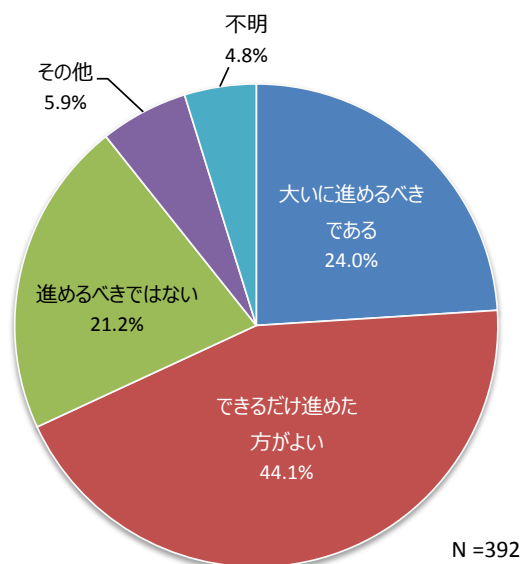
主な記述内容
利用頻度が極端に少ない施設は延命も無駄になる可能性がある。
理解を求めて廃止。
施設統合に決めた所はメンテナンスを行う。
縮小の方向で。
当然である。
計画的にしていなかったということか。
必要な施設についてのみ可。
予防保全に限界がある。物件毎に違う。解体と売却もあり。戦後の復興と同じ道と思うこと。
RC 造や S 造などは導入するもしくは導入の意識を持つべき。人口増が期待できる能勢の看板的施設も美観の意識は必要（淨るリシアター、けやき資料館）。
金をかけていいのか。
具体的に説明してほしい。
どちらとも言えない。
どちらでもいい。
よくわからない。長寿命化の意味が分からない。

問 4-7 施設を減らし、その代わりに民間施設（貸会議室やスポーツクラブ等）の利用に対して助成する。
（○は1つ）

<全体>

「できるだけ進めた方がよい」（44.1%）が最も多く、「大いに進めるべきである」（24.0%）と合わせると7割近くになります。一方で、2割の人が「進めるべきではない」（21.2%）と回答しています。

調査数	392	100.0%
大いに進めるべきである	94	24.0%
できるだけ進めた方がよい	173	44.1%
進めるべきではない	83	21.2%
その他	23	5.9%
不明	19	4.8%



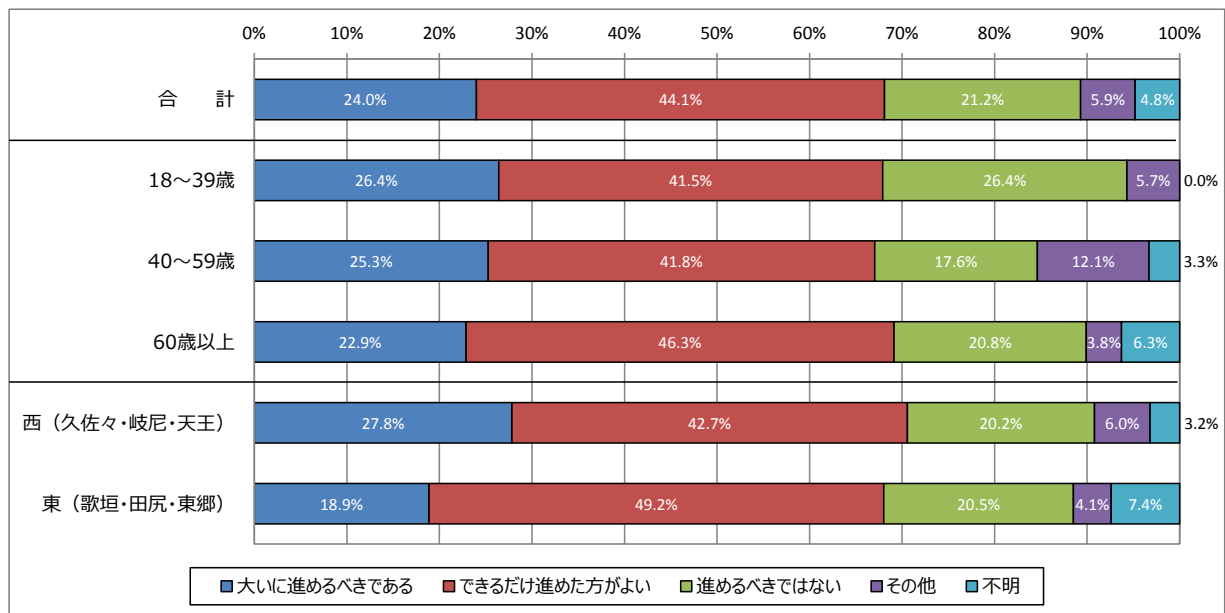
<年齢別>

18～39 歳は、他の年齢層に比べ「進めるべきではない」（26.4%）が多くなっています。

<地区別>

西は「できるだけ進めた方がよい」（42.7%）が最も多く、「大いに進めるべきである」（27.8%）と合わせると7割を超えています。

東は「できるだけ進めた方がよい」（49.2%）が最も多く半数を占めています。次いで「進めるべきではない」（20.5%）が続いています。



＜その他＞

「その他」の記述欄では 25 人分の意見が得られました。主な記述内容は以下のとおりです。

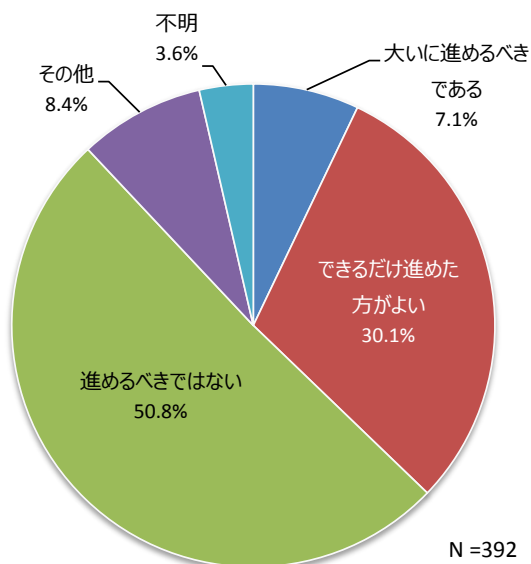
主な記述内容
公共の役割・良さはお金では買えない。全てではない。
実現性がない。
町の予算がないのに助成は無理だろう。
そのような施設が適度にあるとは思えない。
代替施設が、民間施設として町民の身近にあるのか。
民間施設が町内では思いつかない。
利用できる民間施設が充分あると思っておらず答えられない。
具体案があるからの設問なのか。各区公民館の機能を見直し、公民館や児童公園、高齢者コミュニティ等の方が、住民がまんべんなく関われるのでは。
人口減少と地域性を知るべき。民間は利益の出ない事には飛びつかない。
そもそも民間施設にして利用者が少なければ成り立たないのでは（人口が少ない）。
民間への啓蒙活動を出来るのか。
民間は不正が多いと思う。
施設を減らす。利用者が負担すべき。
使用しない人もいると思うので助成には反対。
スポーツクラブ等ある程度個人負担は必要である（受益者負担はやむを得ない）。
必要あれば進めるべき。
能勢町に来てくれる民間施設があれば。
民間施設を能勢町内に作ってほしい。
もっと告知・アピール活動をして宣伝も必要かと思う。
具体的に説明してほしい。
どちらでもいい。

問 4-8 開館時間の短縮等、施設におけるサービス水準を引き下げる。(○は1つ)

<全体>

「進めるべきではない」(50.8%)が最も多く、半数を超えています。次いで「できるだけ進めた方がよい」(30.1%)が続いています。

調査数	392	100.0%
大いに進めるべきである	28	7.1%
できるだけ進めた方がよい	118	30.1%
進めるべきではない	199	50.8%
その他	33	8.4%
不明	14	3.6%



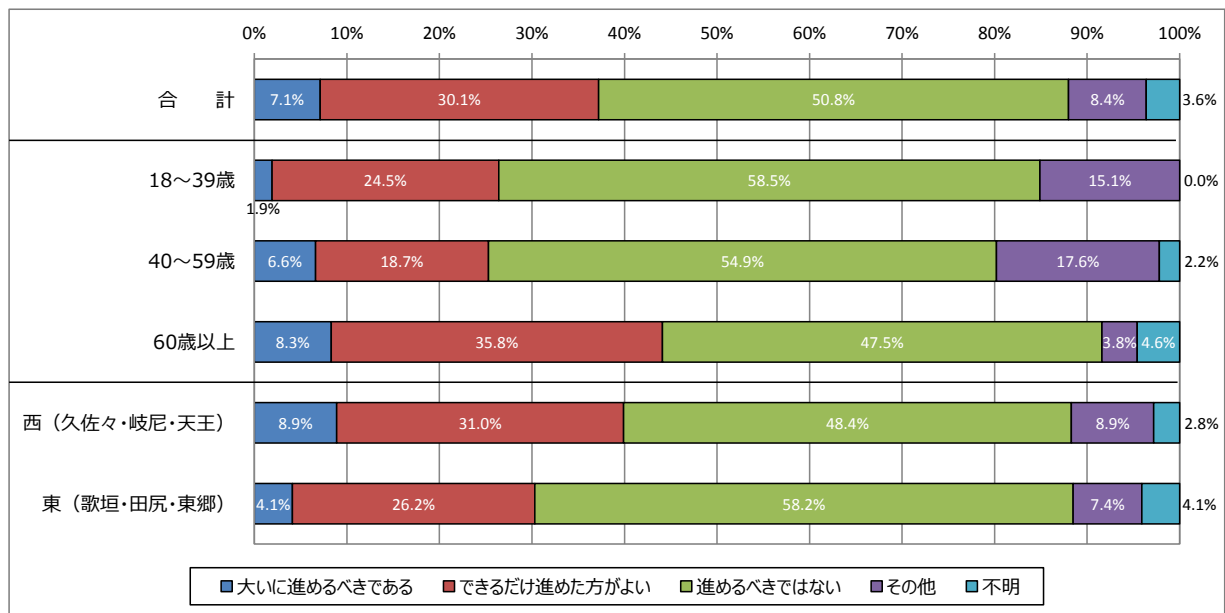
<年齢別>

60 歳以上は、他の年齢層に比べ「できるだけ進めた方がよい」(35.8%)が多く、「進めるべきではない」(47.5%)が少なくなっています。

<地区別>

西は、「進めるべきではない」(48.4%)が最も多く半数近くを占めています。次いで「できるだけ進めた方がよい」(31.0%)が続いています。

東は、「進めるべきではない」(58.2%)が最も多く半数以上を占めています。次いで「できるだけ進めた方がよい」(26.2%)が続いています。



＜その他＞

「その他」の記述欄では 31 人分の意見が得られました。主な記述内容は以下のとおりです。

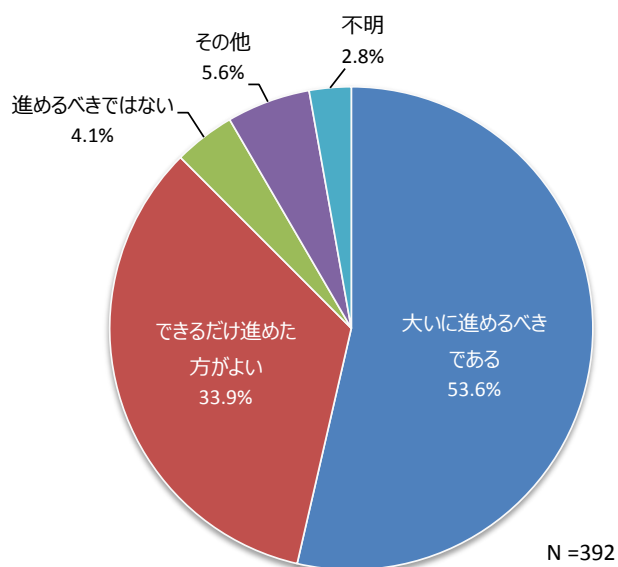
主な記述内容
各施設における問題を洗い出し、具体的に住民に知らせるべき。全ては財政難（税収減）からの問題だと思われる。そこで住民との妥協案を練るべし。
サービス水準は引き下げるべきではない。
サービスの内容によって状況は異なるのではないかな。
サービスや時間短縮を下げるくらいなら施設はいらない。
そもそも短縮が必要な程、長時間開いている施設がないのでは（B&G 除く）。
利用する時間のみあけることを考えてほしい。短縮だけなら廃止でいい。
どの施設についてのことが不明だが、公共サービスが減ると若い人口は更に減ると考えられ、1 とも 3 とも一概に言えない。
引き下げた結果浮く予算が、人口増など将来的に必要な策に廻るなら、ビジョンを明確にした上で、取り組んでほしい。
人口流出が止まらなくなるのでは。
利用者は更に減少すると思う。
生かす、つぶすの話。
旧小学、中学も使わせてほしい。
必要あれば進めるべき。
水準を引き下げるのではなく、時間は短縮できるところはすべき。
「短縮」は致し方ない。「サービス水準」は具体的に分からない。
施設によってはやむを得ない。
施設によるかと思う。
内容による。
利用者が管理し、行政は安全面を行う。
具体的に説明して欲しい。
サービス内容がよくわからず答えられない。
どちらでもいい。
どちらでもない。

問 4-9 利用していない町の土地や施設を売却・賃貸して収入を得る。(○は1つ)

＜全体＞

「大いに進めるべきである」(53.6%) が最も多く、「できるだけ進めた方がよい」(33.9%) と合わせると 9 割近くになります。

調査数	392	100.0%
大いに進めるべきである	210	53.6%
できるだけ進めた方がよい	133	33.9%
進めるべきではない	16	4.1%
その他	22	5.6%
不明	11	2.8%



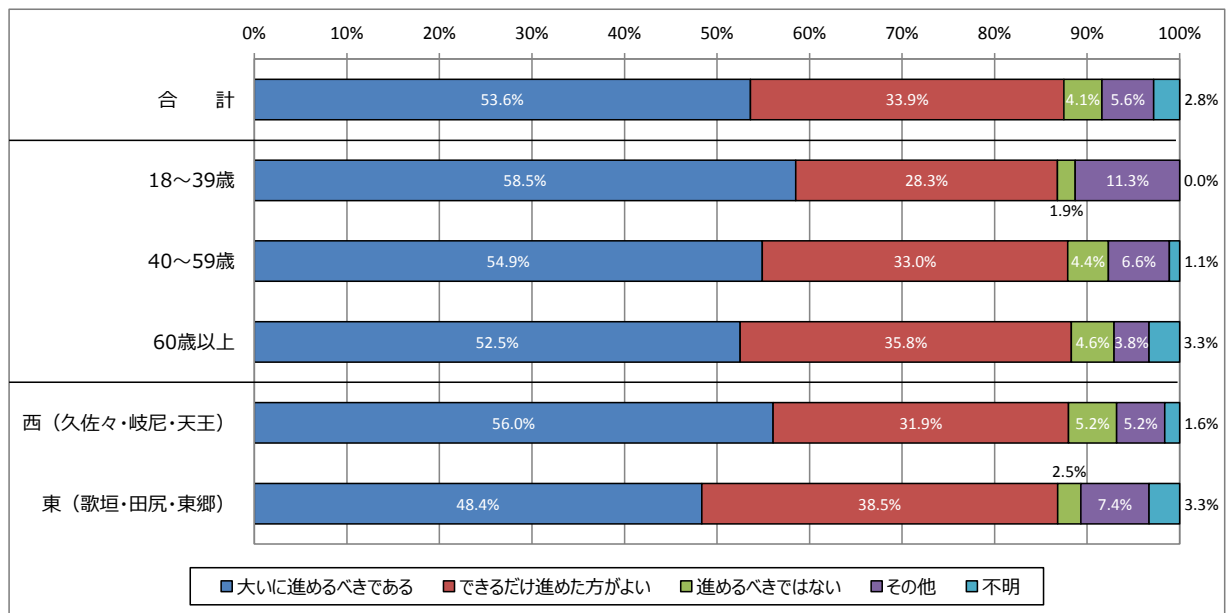
＜年齢別＞

年齢による差はみられません。(「その他」、「不明」は除外。)

＜地区別＞

西は「大いに進めるべきである」(56.0%) が最も多く、「できるだけ進めた方がよい」(31.9%) と合わせると 9 割近くになります。

東は「大いに進めるべきである」(48.4%) が最も多く、「できるだけ進めた方がよい」(38.5%) と合わせると 9 割近くになります。



<その他>

「その他」の記述欄では 19 人分の意見が得られました。主な記述内容は以下のとおりです。

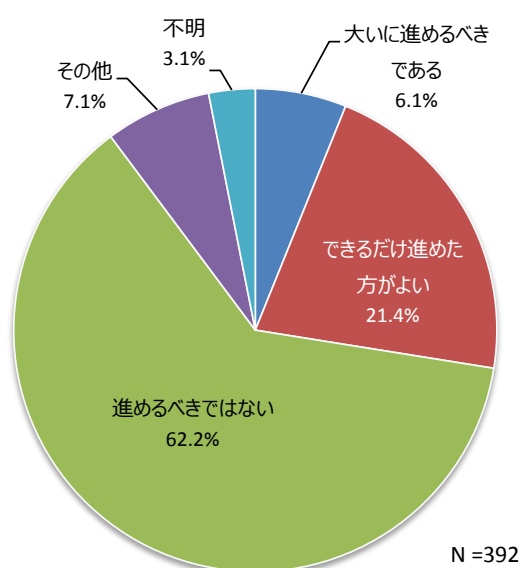
主な記述内容
売却すべきではない。
各土地、各施設によって違う。
都会に近い自然に恵まれた土地がセールスポイントなので程々にする。
収入の見込額による。
場合による。
この方法も一つである。
大いに進めるべきだが、ある程度の町の規制は入れるべき。
買い手がどこで、その後何に利用するのかわからない場合は不可にする。
買い手をよく調べた上で進める事。
売るにしても貸すにしても、後々町の発展に繋がる方向性があれば良い。
どちらでもない。
どのくらいの土地や施設があるのかわからないので一概には言えない。

問 4-10 施設の利用料金を引き上げる。(○は1つ)

<全体>

「進めるべきではない」(62.2%) が最も多く、6割を超えています。次いで「できるだけ進めた方がよい」(21.4%) が続いています。

調査数	392	100.0%
大いに進めるべきである	24	6.1%
できるだけ進めた方がよい	84	21.4%
進めるべきではない	244	62.2%
その他	28	7.1%
不明	12	3.1%



<年齢別>

18～39 歳は、他の年齢層に比べ「進めるべきではない」(71.7%) が多くなっています。

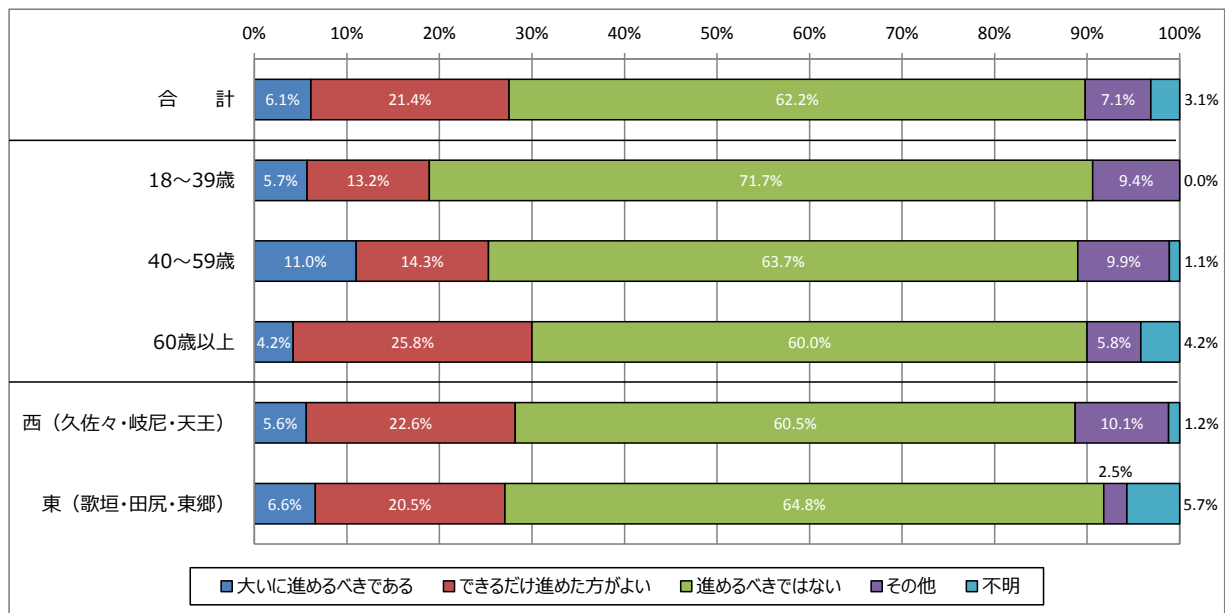
40～59 歳は、他の年齢層に比べ「大いに進めるべきである」(11.0%) が多くなっています。

60 歳以上は、他の年齢層に比べ「できるだけ進めた方がよい」(25.8%) が多くなっています。

<地区別>

西は、「進めるべきではない」(60.5%) が最も多く 6 割以上を占めています。次いで「できるだけ進めた方がよい」(22.6%) が続いています。

東は、「進めるべきではない」(64.8%) が最も多く 6 割以上を占めています。次いで「できるだけ進めた方がよい」(20.5%) が続いています。



＜その他＞

「その他」の記述欄では 26 人分の意見が得られました。主な記述内容は以下のとおりです。

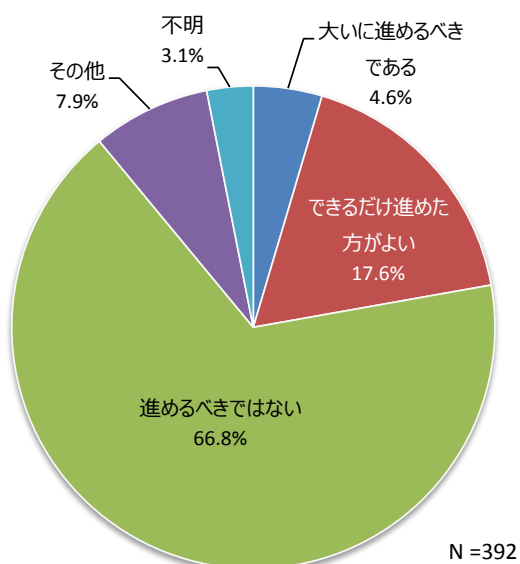
主な記述内容
最終手段だと思う。
現存の施設そのまま料金上げるだけなら、利用者離れを促すのみ。
人口流出が止まらなくなるのではないかな。
誰も利用しなくなる。生かす、つぶすの話。
できるだけ（できれば）進めるべきではない。
引き上げると人が減る。
施設によるかと思う。
施設による。利用料金の詳細が不明。
近隣、民間と同様施設との比較必要。
他市町村と比較検討調整が必要。
内容による。町民サービスとしての負担は引き上げるとユーザーが減り、更なる収入減が予測される。
町役場の経営を考えて、グッズ販売・名産品・弁当等で利益を上げる。
利益を得る必要はないが、収支が丁度くらいにはするべき。
利用者（人口）が少ない。料金の引き上げだけでは焼け石に水。
時代に対応すべし、ケースバイケース。
増収、利用の増加見込めるのであれば。
受益者負担が原則。
料金が適正かどうかわからないので答えられない。
具体的に説明してほしい。
どちらでもよい。

問 4-11 施設の建設や建替えにあたり、特別な税金等の徴収を行い、利用者だけでなく住民全体で負担する。(○は1つ)

＜全体＞

「進めるべきではない」(66.8%)が最も多く、6割を超えています。次いで「できるだけ進めた方がよい」(17.6%)が続いています。

調査数	392	100.0%
大いに進めるべきである	18	4.6%
できるだけ進めた方がよい	69	17.6%
進めるべきではない	262	66.8%
その他	31	7.9%
不明	12	3.1%



＜年齢別＞

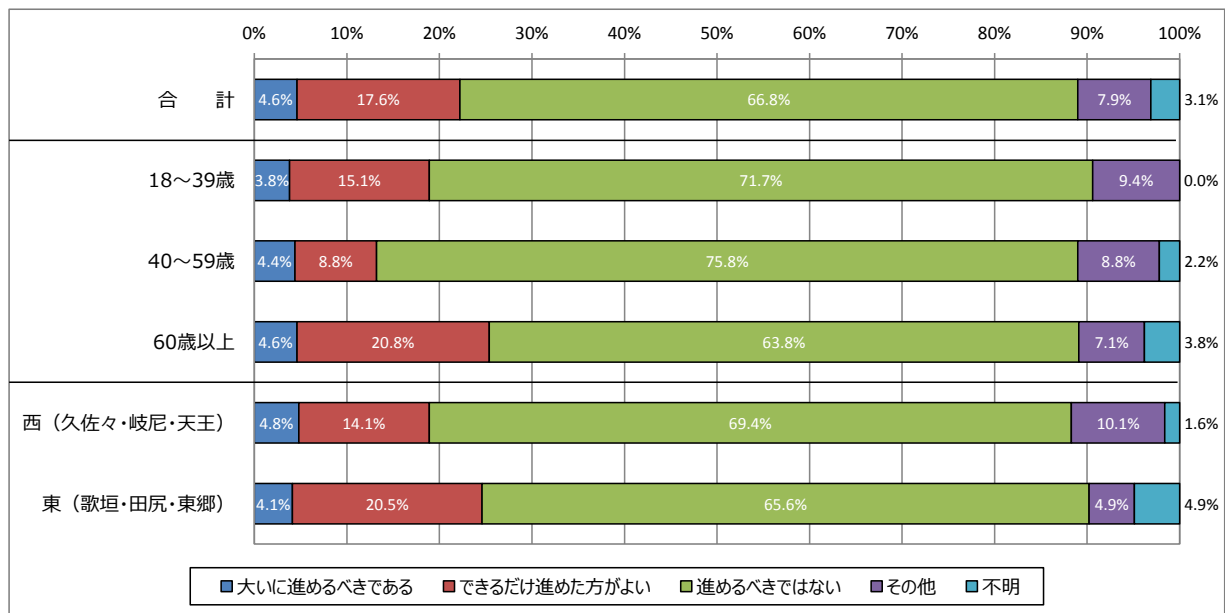
40～59 歳は、他の年齢層に比べ「できるだけ進めた方がよい」(8.8%)が少なくなっています。

60 歳以上は、他の年齢層に比べ「進めるべきではない」(63.8%)が少なくなっています。

＜地区別＞

西は、「進めるべきではない」(69.4%)が最も多く7割近くを占めています。次いで「できるだけ進めた方がよい」(14.1%)が続いています。

東は、「進めるべきではない」(65.6%)が最も多く6割以上を占めています。次いで「できるだけ進めた方がよい」(20.5%)が続いています。



＜その他＞

「その他」の記述欄では 33 人分の意見が得られました。主な記述内容は以下のとおりです。

主な記述内容
基本的に財政がもっと健全になるまでは、新たなハコモノは余程の理由がない限り反対。
行政の無駄を徹底して見直してからの事。
建設や建て替えは止める。
高齢者（年金生活者）が多いため負担するのがしんどい。
これ以上税金を上げると人口流出が止まらない。住民税も高すぎる。西宮と比べるとすごい差。
住民負担が増えることには反対。
上下水道を通すときに 1 軒 1 軒の負担額が（120 万円）かかった。ありえないと思った。もう嫌。
全ては受け入れられない。現状、使う事がない施設でも将来的に使用する事や町民の利用者が多い施設には賛成である。その為、利用の統計データを開示し、意見を問うてほしい。
税金が他地域より高いのに、これ以上上げると人が減る。
税金を徴収されるのは困る。若い住民は町から逃げ出す。国家予算の導入以外なし。農家は逃げ出せない。
反発がすごいからやめた方がいい。
月に 1 回徴収している地方税でまかなってほしい。ダイオキシンで国から 1 億の税金で出来ると思う。
能勢町の税金は他の市町村より高いので、これ以上の負担は大変困る。
反対者の意見も尊重して、慎重に進めるべきかと思う。
全く利用していない人に負担させるのはどうか。税金だけにしてほしい。
人が居ない。
住民税は現在でも十分高額なのでは。
「特別な税金」というものがイメージ出来ない。
施設によっては検討の要あり。
時代に対応すべし、ケースバイケース。
住民負担額がどのくらいになるのかによる。
所得・収入に応じて負担する。
私の今の経済状況でそれが出来るか不安。具体的な金額による。
どちらでもよい。

問 4-12 その他、公共施設の費用削減に効果的と思われる取組みがあれば、下の空欄にご記入下さい。(記入回答)

84 人分 128 件の意見が得られました。主な意見をカテゴリーにまとめると、「廃止・統合について」(13 件)、「町の政策について」(13 件)、「人員の整理について」(12 件)、「複合化・多機能化について」(9 件)、「民間のノウハウや資金の活用について」(9 件)、「費用削減について」(8 件)、「収入増について」(8 件)、「交通機関の整備について」(6 件)、「観光振興について」(6 件)、「跡地利用について」(5 件)、「施設の利用促進について」(5 件)、「移住促進について」(5 件)、「施設の設備整備・メンテナンスについて」(4 件)、「売却・賃貸について」(4 件)、「設置・充実を希望する施設について」(3 件)、「民間施設の利活用について」(2 件)、「地域住民による維持・管理について」(2 件)、「庁舎移転について」(2 件)、「近隣自治体との共同運営について」(1 件)、「その他」(11 件) となりました。

カテゴリー	件数	主な意見
廃止・統合について	13	利用者が少ない施設はなくす方が良い
		交流促進施設は廃止すべきである。
		国体会場のため、施設を充実してきた経緯はあるが、国体記念スポーツセンターの稼働率など考慮し閉鎖を検討すべきではないか。
		廃止・統合の住民の理解を得るために(すでに行っているかもしれないが)町報等で現在の公共施設とその運営費、使用人数等の実際の数字やその費用対効果を明らかにして情報を発信して欲しい。
		児童館等付随建物の撤去、整備。利用展望のない建物(利用者)のなくなりつつある現状では財政的にも整理することが先決である。
		他の市町村と比較するのではなく、能勢町に真に必要な施設は何か、利用度の低い施設は統合又は廃止もやむを得ない
町の政策について	13	官が関わらず、お金だけ出すようにする。
		国・府の下請けの仕事を拒否。
		公共施設等の設計、建設、改修、更新や維持管理・運営を行うには、PFI 事業で行うことにより財政を安定化することができる。
		公共施設の前に、民間企業の誘致や町民からの税収のみではないお金の収入源を確立させることが重要だと思う。その上で、公共施設の必要性の有無がアンケートとして出るべきであり、今更のことを聞かれても、町民への負担を増やそうとしているようにしか思わない。
		これ以上税金を増やすと人口ゼロになる。
		施設は長期展望の上にたって考えるべき。
		中途半端な施設は造らないこと。
		淨りシアターはもっと活用出来るのではないか。
		建て替えたばかりの西中の体育館も B&G プールも、お金をかけるだけですぐに使わなくなるのはどうかと思う。もっと考えてお金を使わないと財政が苦しくて当然。
		何の為に建てたのか疑問に思う施設や、存在さえ知られていない施設があるのが問題であると思います。
人員の整理について	12	コンピューター化による人件費の削減。
		車が運転できない人の為の出張手続き(削減した人を使う)。
		町会議員の定員制(14 名も必要なし)5 名定数で十分。給料を減らすとか。とにかく町会議員の定数が多すぎる。
		施設の削減より、まず役場職員の給料カット、人員削減が優先だと思う。
複合化・多機能化について	9	すぐに料金や運営費の議論をしている。まずは人を集める施設をつくらなければならない。1ヶ所に集中した総合施設や地区を。道の駅に隣接か。
		利便性の高い場所に集約してもらえたらいいと思う。高齢化が進む中、交通便のことも大変だと思う場所も多々あり、高齢者ドライバーのことも気になる。

カテゴリー	件数	主な意見
民間のノウハウや資金の活用について	9	公共施設の運営に民間企業のノウハウを生かし、無駄をはぶく。
		法律や条例を緩和して、一般が参入できるようにすれば税収も増え、人口も流入して、町の活性化にも繋がると予想する。
		観光物産センター、けやき資料館、交流促進施設など民間に委託を検討する。
		民間への貸し出し、活用によって雇用を生み出すことを考えるべきである。
費用削減について	8	時間短縮ぐらいしか今は思いつかない
		老朽化した施設については、今後の利用価値・住民ニーズでよく精査して決めてほしい。
		削減だけしか考えないのであれば、住民の期待を得られない。費用が掛かっても更新し、利用する事でお金を得ることを考えてほしい。利用するのに制限が多すぎる今では利用しにくい。削減する事ばかり考えると、学校を統合した時と同じ、寂しい地区、活気のない地区になってしまう。
		単に見かけのコストだけを考えるのは方向を誤る。「淨るリシアターをなくす」などは、間違い。費用削減と並行して、効果増大を図ることも検討すべきだ。縮小均衡は滅亡への第一歩だ。
		費用削減は機能削減である。税を増やせば人は逃げ出す。
収入増について	8	太陽光発電など町も収入を得る努力をする。
		工業団地をつくって企業を誘致してはどうか。
		費用を削減するのは当然で、利益を生み出すような仕掛けを行っていくべき。そういう検討はしているのか。
		ふるさと納税の制度の活用。
		町の税収を増やすように努力する。
交通機関の整備について	6	送り迎えがないと1つも使えない。
		コミュニティバスがあれば解決できる。高齢者の足の確保を至急考えよう。
観光振興について	6	都会の人が能勢町で田舎を味わいたくても、どこに車を駐車してよいのかわからない。現在の公共施設に駐車場をつくり、「おさんぽ能勢」として宣伝すれば良いのでは。車イスでもおさんぽできる、赤ちゃんとおさんぽコース（ベビーカー）、車イスでおさんぽコース、小学生自転車いろんなコース
		173号線を通る観光バス等の休暇場所を提供して、ボタン鍋とか焼き肉とか昼食等。五月の山々が美しいシーズンにはドライバーの駐車場として広場を提供。ウォーキングコース等利用できるように。他の地域ではテレビによると、かなり人気がある取組みと思う。
		他県（市）が、夜空がきれい（観光）、高校生食堂などで地域を活性化している。民泊で農作業体験もある。どんな能勢にしたいのかを考え、進める事も一方で必要なことではないか。
		能勢町内で廻るお金には人口の頭打ちがある以上限界がある。町外からのお金（外貨ともいうべきもの）を稼ぐためには、観光が企業誘致を絡めた内容を目指して頂きたい。野間の大けやきのここ最近の賑わいは目を見張るものがあり、大ケヤキだけではなく、冒険の森や温泉、サイクリング、ハイキング等、他のスポットも絡めて、点ではなく面でこの地域に來られるようだ。魅力がある場所には勝手に民間業者も出て来る。人口増大や外貨獲得の為の積極策をバランス良くとらなければ、ますます人口減に拍車がかかると強く懸念している。
		住民サービスセンターの立地を活かし物販センターか道の駅のような機能を持たせるべき。秋鹿酒造も近いので協力するとか。能勢のポテンシャルは高い。今は活かされていない。
跡地利用について	5	豊中野外活動センターの跡地にしても遊び場になり、高額な利用料を取っているが、一般利用、町民の利用者は高すぎて1回の利用で終わってしまうようで、長続きしない気がする。
		学校跡地の利用や老朽化の進んだ類似の公共施設等は民間の知恵も借りつつ整備して、住民の使いやすい、また町の収入に繋がるような施策を考えてほしい。
		統廃合された旧学校の跡地の利用を考えるべきである。能勢町は文化と芸術と歴史を謳い文句にしているのだから、その点を踏まえ、企画立案すればいいのではないかと。費用削減ではなく、利益を得る方法を考えてよう。
施設の利用促進について	5	町はもっと安い金額（利用料金）で貸すべき（町民と他の業者と分けるとか）。
		使える施設にするなら良いが今のままだと無駄な箱。住民が使えるものに。
		能勢の公共施設は全体的に暗いイメージがある。もっと明るい雰囲気になれば良いと思う。
移住促進について	5	能勢町の魅力を発信し、移住者を増やす。
		駐車料金や移住者による税収の増加を住み良い街づくりの為に使う。
		人口が減らない、減らさない政策はないか。大阪市内までは1時間（車）という良立地であるにもかかわらず能勢に留まる考えに至らないのは何故か。「住民サービスの削減や税（利用料）増」の考え方だけでは、能勢で暮らしていても苦しいばかりだ。
施設の設備整備・メンテナンスについて	4	地震火災時に避難できるようにスロープは必要。新学校では、エレベーターは使えないのにスロープもないと聞いている。
		人口減少や老朽化しているなら、施設を取り壊して観光産業に力を入れてはどうか。
		新耐震基準の建物以外は壊していく。

カテゴリー	件数	主な意見
売却・賃貸について	4	能勢町にある公共施設は老朽化も進み維持費がすごく高く付く。利用者の少ない公共施設は即廃止をして売却する。 国体記念スポーツ施設は民間に譲渡してもよいのではないかな。
設置・充実に希望する施設について	3	「あんな学校に行かせたい！」と誰もが思うような、全国的に有名な小学校にする。高校も「〇〇の高校！」明らかなものであれば「行かせたい高校」になる。学力・スポーツ（クラブ）・支援学校が足りない。 常々困っているのは眼科医院が無いことだ。スポーツ等の施設も大切だが、今後、年を重ねると共に、車の運転は勿論のこと、バスで山下まで行く事が経済的にもとても苦しくなる。 急増する高齢者福祉等手厚くしていけばと思う。
民間施設の利活用について	2	民営で出来る事は民営にする。 能勢の施設の場所だと、そもそも民間は来ない。
地域住民による維持・管理について	2	維持管理についてはボランティア（無料）の心ある人々のマンパワーにお願いしても良いのではないかな。
庁舎移転について	2	本庁舎の老朽化が激しい。思い切って旧久々小学校へ移転すべきである。
近隣自治体との共同運営について	1	能勢の場合、町だけではだめなので近隣の市町村と併せて（ゴミ焼却センター等）対策を考えては。
その他	11	全ての公共施設がどこにどうした状態であるのかわからないから、公共施設の図を見たい。 町職員の意識改革。有能な人材を増やす。 町職員が管理運営面における課題をどの程度把握しているのか。施設の量、管理運営経費、利用状況等からの視点で調査・分析結果や評価とともに、課題を町職員自らで行う必要がある。 思いつかない。

6 公共施設について（自由意見）

109 人分 181 件の意見が得られました。主な意見をカテゴリーにまとめると、「公共交通について」（16 件）、「施設の統合・廃止について」（15 件）、「施設の設置・維持について」（13 件）、「施設の施設・充実にについて」（12 件）、「施設の利用促進について」（12 件）、「施設の跡地利用について」（11 件）、「町の収入増について」（9 件）、「施設の売却・賃貸について」（8 件）、「施設の配置について」（8 件）、「施設の利用料金について」（6 件）、「移住促進について」（6 件）、「施設の設備整備・メンテナンスについて」（6 件）、「施設の複合化・多機能化について」（6 件）、「まちの魅力増進について」（6 件）、「産業振興について」（5 件）、「施設におけるサービスの充実にについて」（5 件）、「公共料金・税等の負担について」（4 件）、「施設の情報発信について」（4 件）、「町政への意見」（4 件）、「インフラ整備について」（3 件）、「財政について」（3 件）、「施設管理における民間のノウハウや資金の活用について」（2 件）、「施設の災害対策について」（2 件）、「人員整理について」（2 件）、「その他」（13 件）となりました。

カテゴリー	件数	主な意見
公共交通について	16	学校の統一も、大変な距離を子ども達は一生懸命通学し、保護者も車でしか行くことができない。車を使えない人はどうしたらいいのか。何でも一つにまとめるのが良いことだとは思にくい。それよりも、利用しやすい「行きたい」と思う工夫を考えに入れて頂きたい。
		公共施設に行けるよう、専用の乗り物を運行してほしい。高齢化の住民のニーズに応えてほしい。
		高齢者の多い能勢町の場合、交通インフラを考えて行わなければ、結局、施設に行く事が出来なくなり、生活に支障をきたす事になる。それが原因で人口流出が続き、税収も減り、住民サービスの低下という負のスパイラルに陥るのではないかな。
		病院に行きたくてもコミュニティバスのないところでは人が住みたいと思うだろうか。高齢者の自動車事故がメディアでとりあげられるが、返納を考える余裕がない。地域住民の生活を考える行政を行ってほしい。
		有償でいいので、移動手段を確保することが、町の活性化につながる。
施設の統合・廃止について	15	使用頻度が低い物に対しては廃止・統合していく方向で進めてほしい。
		公共施設を統廃合する場合は、東部地域と西部地域の2ヶ所とすべきと思う。
		利用率を公開し、現状を住民に認識して頂く必要有り。低い物については、期限を切って〇〇年までに利用率が〇%以下のままであれば閉鎖しますというような告知を行うと理解が得られやすいと考える。
		施設を減らすだけでは解決にならないのでは。財源が無くて、何もかも無くなっていくのは悲しい。
施設の設置・維持について	13	能勢町の目玉であった、能勢府民牧場も廃園する様な町。他の公共施設の存続など考えていない。
		今回の設問で、新たな建築の事を匂わせる様な内容が目立ち、危機感を覚える。小学校の時もそうだったが、統合する事、新しく建てる事のみ、行政の意識が向き、結論ありきの主導ではなかったか。結果、廃校跡は耐震の問題で使う事も貸す事も出来ない、町と地域の負の財産となってしまった。少ない町民で負担する事は、かなりの無理がある。時機を見て、国の政策などの動向も探って頂きたい。
		特定の人しか使わないような施設より、スーパー銭湯や公園をつくるべきだ。
		施設はよく考えてつくり、整備してほしい。今ある施設を出来るだけ利用することも考えて頂きたい。
		町の現在の人口構成とあわせて、これからの町政が目指していく町の姿にあった公共施設の構成にしてほしい。
		公共施設は必要。費用の問題に関しては、住民が町の施策、考え方に納得する必要がある。住民の意見を理解して頂きたい。

カテゴリー	件数	主な意見
施設の新設・充実について	12	海外の留学生が滞在できる施設をつくってもいいかも。能勢高の農場が使用出来る様な活性化にも繋がる。町内外からも来てもらえる研修施設にする。
		町内に公衆便所必要。ハイキングに来られた方が公園にトイレがないことにびっくりされていた。
		公共施設の新学校にあれだけ税金を費やしていることに疑問を感じる。設備にあれだけお金を掛けるならば、中身を（先生など）もっと良くして頂きたかった（十分な人数の確保）
		診療所はレントゲンや内視鏡といった設備を強化するなど、町民の健康維持のため投資して頂ければ嬉しい。
		眼科の設立を希望する。
		東郷地区にも救急施設（救急車）がほしい。
		久佐々小学校跡にもう一ヶ所農産物の販売所を作ると良いと思う。校庭が広く、駐車場として使用できる。物産センターは秋の栗が採れる頃には、駐車場待ちの車が、国道の通行車両に非常に迷惑を掛けている。
		結構な能勢町の住民が、近隣市町の図書館やスポーツ施設を利用したり、催し物や趣味の活動に参加しているのではないだろうか。地元で様々な活動が定着し、子どもから高齢者まで集える場所をつくるのが、町の活性化につながると思う。
		図書館にカフェをもうける。
		図書館で借りれる本を多くしてほしい。
施設の利用促進について	12	B&Gの利用を促進しては。スポーツは大切。
		診療所や住民健診が日曜日や祝日にも対応すれば利用する人も増えると思う。
		無名の歌手のコンサートを安い料金で見れるようにする。道の駅とかのお金を使ってもらえる所で。
		有名企業等を招いてイベントをする（化粧品、スポーツ用品等）。
		公共施設がとても少なく古いので、利用したいと思わない。
		利用する機会が少ない施設が多い。
施設の跡地利用について	11	何よりも学校跡地の再利用を早急に考えないといけないと思う。民間に委託するとか、町が管理運営するとか、何らかの手立てを講じる必要があると痛感している。広く住民に意見を聞けばよい。
		学校跡は、民間施設はだめ。町営が良いと思う。
		小学校跡地を利用したい人はたくさんいるのに利用できない。
		学校の施設の有効活用を町が中心になって、地域に呼びかけ、推進して欲しい。「まちづくり活性課」の人達に是非頑張ってもらいたい。役場にいるだけでなく、どんどん地域に足を運んで、その地域の実情を知って欲しい。
		小学校跡地について、耐震化し、3階を2階に減らす。教室は避難場所には最適で調理室で食事もある。体育館だけでは役に立たない。
		旧歌垣小学校はまだ利用可能な建物だと思う。何かセミナー等、イベントで夢あふれることができれば素敵だなと思う。
		町運営のデイサービスセンターに改築し、町民が活用する。利用資格のない住民も（介護にかかわらず、年齢にかかわらず）相応の料金で利用できるようにする。
		能勢町で駅伝やライフル全国大会があっても宿泊する所がないので、教室を利用して、食事も作ってあげる（近くの人や近くの団体に依頼）
町の収入増について	9	能勢町民以外でも利用できる公共施設は、サービスを向上して積極的に他の市町村の住民の使用を進めたいと思う（使用料を徴収して）
		通信販売を物産センターで出来るように是非すべき。収入が増えるように関係者は考えるべき。
		物産センターで能勢町で収穫した物ばかりに拘って売るのは時代遅れ。土産物類は他から仕入れて販売。世間は絶えず進歩している。物産センターの様に人が集まって来る場所では、牛肉、豚肉、鹿肉、カシワ、その他小物の農機具等販売すると良い。会議を開いて町の職員の意見を聞いてほしい。
		能勢町には特産物がたくさんあるのだから、ふるさと納税の返礼品にもっと力を入れてもらえる様、工夫が必要だと思う。
		縮小・削減だけでなく、独自産業を盛んにするなど、税収を増やす施策も大事。行政も民間も壁を作らず知恵を出し合うべき。
		色々な企業を誘致して税収を増やせば良い。
		もっと町に住民が増える事とか空いている土地を利用して、もっと町にお金が入るように考えてほしい。

カテゴリー	件数	主な意見
施設の売却・賃貸について	8	企業（空気がよい、山がきれい）に使ってもらえば、若者の働くところができ、結果人口が増える。
		空いている家とか、使われなくなった学校などを若い芸術家の人々に使ってもらったら能勢に人が来るようになるのではないかな。安い家賃で借りてもらって、売上げからいくらか支払いしてもらおうとか。
		古民家や畑を探している人もいる。町役場での対応はできないか。
		体育館や空き教室など民間や企業に貸し出すと人が集まる。
		行政が行うのは必要な手続き（本庁・支所）と医療行為（診療所）。保健福祉センターの手続きは本庁で行える。早く売却すべき。
		まったく利用されていない町有地、町有施設は売却処分すべき。
施設の配置について	8	集約型の住民サービスの対極にある、各集落分散型、極端に言えば木造公民館とすべり台、プランコのある公園、そこに詰めている地区の役員さんという風景も、財政が厳しいながら、皆で力を合わせる能勢らしい姿ではないかと思う。
		診療所は利便性の確保の観点から、現有地に存続させてもらいたい。
		能勢町は公共施設が西能勢に集中している。せめて避難所くらいつくってほしい。
		学校も統合され西地区に施設が集まってしまうのは、住民サービスとしては手厚いとは言えない。東に1ヶ所、西にも1ヶ所ぐらいの整備をお願いしたい。
		残す施設については、町内の各地区からバランスの取れた配置が必要。
施設の利用料金について	6	旧学校の体育館利用の際には、必要な利用料は徴収すべき。
		サービスの質が上がるのであれば使用料が上がることにに関しては問題ないと思う。
		牧場が赤字で閉鎖されたが、全ての物を無料にする必要はなかったと思う。乳搾り体験などは小学生以上の人からはいくらか徴収したり、そのかわり50円とかの場合内利用券を配るなど、もっと収入がうまれる工夫はあったはず。どんな設備も無料にして赤字を出すより、工夫で収入を得る努力がいると思う。
		淨るりシアターは費用（賃料）が高く利用しにくい。
		体育館や空き教室など、利用者に清掃だけ科する。
		駐車料金を1回50円～100円程度で徴収する。低価格だと支払う側も「仕方ないな」程度で済むし、例えわずかでも現金収入になると思う。但し駐車場の整備は必要。
移住促進について	6	人口が減少するのは能勢町に限らない。そんな中でも税収を増やし人口が流入している自治体もある。税金（住民税）で問題を解決しない。もっと人が住みたいと思う町づくりを考えないといけない。
		子育てに関する公共施設・サービスを充実させて、少しでも子育て世帯が増えるような町であってほしい。
		とにかく若い世代が「ここに住んでいたい」と思える町づくりをしてほしい。企業の工場を誘致するなど、ここで仕事が出来るように。
		公共施設に限ったことではないが、奈良県野迫川村のようなユニークな取り組みなど、他と異なるアプローチをすべきではないか。能勢には有形無形の財産があるにも関わらず生かせていない。
施設の設備整備・メンテナンスについて	6	今までの町財政の中に費用として積み立てられていないのが不思議だ。
		生活より、子どもの育成面での公共施設である学校、児童館をどう維持するのか。維持費だけでも大変だろうと考える。
		この調査に本庁舎が入っているのはなぜか。維持管理が大変なのか。将来、役場庁舎を建て替えるのか。
		公共施設は新しく建てないで、これから使う施設のみメンテナンスを行い、使いやすいように少しずつ改修をしていけば良い。
		施設等年月が経つと古くなるのは道理で、それに対する予算は準備されているはずだ。経費を町民に課するのは理屈に合わず行政の力だけでやっていくべき。
施設の複合化・多機能化について	6	保健福祉センターと庁舎は、同じ場所に置くべき。国民健康保険を作る際に不便だった。
		公共施設は、利用目的別に建設されているようだが、できる限り集約した方がいいと思う。核家族世帯が多い現状をみると、子どもから高齢者まで一ヶ所で利用出来ることにより交流が出来、多方面に活性化するように思う。さらに一家族で一度に行動を起こしやすい。
		住民センターはお味噌づくりの機械が設置されているが、そのように利用価値、頻度、特徴あるものは残し、それ以外はある程度の複合統合はやむを得ないと思う。
		多機能化、複合化についてはとても賛成だ。30年後程度目標に保有量を削減していくとのことなら、小学校から、子ども達にそのことについて考える時間（授業）をつくるべきだと思う。
		会館、貸し室、図書館、体育館、公園といった多機能で年代に関係なく全ての住民が使える施設を一ヶ所につくり、維持費や人件費を減らす代わりに、中身は充実させる。

カテゴリー	件数	主な意見
まちの魅力増進	6	ゴミ収集（粗大ゴミ）、年寄りには家前に重い家具類を出すのは無理。年寄りにやさしくない町。
		いくら人口が少なくても、もう少し活気のある能勢町に出来るのではないかな。活気がない。
		他の自治体の成功例をテレビでやっているが、この町なりに出来る事を考え、頑張っ欲しい。
		この能勢に住みたい環境をつくってほしい。
		住みやすくするために改善してほしい。
産業振興について	5	住民だけでなく、誰にとっても魅力ある能勢を知ってもらい、安心して住める“揺りかごから墓場まで”“福祉むら（村）”構築して欲しい。
		わが地域は、観光地化されている。公共のトイレの設置運営を町、地域住民が負担し、お客が利用しやすくまた、観光収入が入るように、住民説明などを（町支援のもと）考えていくべき。
		能勢町独自の産業として、例えばジビエ肉の調理施設をつくるなど、自然を活かした、若者も働く場が出来る様な発展的な事も削減ばかりでなく考慮してほしい。
		能勢町らしいことを。学園の上にささゆりの里山、けやきの里と湿地帯、三草山と棚田の都会の人達へPRする。
		出来れば一ヶ所、そこに行けば銀行・郵便局・買い物とすべてが出来る様な場所があれば、皆「猪名川」へわざわざ行く必要がなく、有り難い。国道沿線に大型スーパーのような施設があれば、能勢町の中で、全てが揃うので助かる。「大人のまち」づくりをしてほしい。
施設におけるサービスの充実について	5	施設が行っている行事は建物があるから、そこでしなければならぬ。地域へ行政が出向してサービスを行う事。欲しい物と必要な物は考えてほしい。
		施設よりも、サービスや企画が重要なのではないかな。外見ではなく中身が大切だと思う。
		保健センターは設備も良く利用したいが、部屋の予約が1ヶ月前の1日からしかできず、予定を立てにくい。窓口の方の書類作成にも時間がかかる。もうすこし利用しやすいサービスを提供して頂きたい。
		能勢町役場の営業時間が短く仕事終わりに寄れない。印鑑登録のカードがあるのに機械がない。
		本庁の職員の対応が悪い。待ち時間が長いので改善してほしい。
公共料金・税等の負担について	4	水道料金が高すぎる
		燃えるゴミの料金 100 円/1 回高すぎると思う。
		インフルエンザ予防接種の単価が去年より 500 円も上がっていた。住民の負担を増加させる行政はだめ。民間では経営不振なら給与カット・ボーナスなしが当たり前。もっと真剣に行政を行う事。
		税金ばかり払って、何も喜びのない町。
施設の情報発信について	4	施設を知らない人もいると思うので、どこにどのような施設があり、どのような利用方法があるのか周知することも必要。
		公共施設の役割や利用の状況など、広報を通じ住民に対し情報として提供していく。
		現実には不可能かもしれないが、利用者が非利用者に利用メリットを伝達して利用者を増加させることはどうか。
町政への意見	4	全て行政が担う必要はないのではないかな。
		地域住民の合意を得て進める。
		第一次ベビーブームの世代が、もう 10 年もすると 80 才になる。超高齢者ばかりの町になると考えられるので、公共施設だけでなく、どんな町づくりが大切か指針を示してほしい。
インフラ整備について	3	歩道にガードレールが欲しい。歩道の延長。
		上下水道が通って嬉しかったけど、120 万円もお金の出費はちょっとひどい。
財政について	3	国家財政に頼るしかない。他の町村より先取りするしかない。
		国の交付金を当てる前に町の中で考え手を打つ事が大切。
		国・府の下請けの仕事を受け入れない。
施設管理における民間のノウハウや資金の活用について	2	民間に委託するのも有りかと思う。
		平日夕方まで開いていない様であれば、現役世代は使いようがない。全て町で運営するという考え方を改め、民間が地域住民に協力を頂き運営して欲しい。
施設の災害対策について	2	公共施設は災害時には重要な役割をもった拠点としての役割もある。平常時は、合宿、会議、研修として宿泊もできる施設を兼ねてはと考える。災害が発生した際、住居に困っておられる被災者を受け入れることも一案と思う。一時であって能勢町を知ってもらえる機会であってほしい。
人員整理について	2	職員の整理を行い、無駄な費用を省くと良いと思う。

カテゴリー	件数	主な意見
その他	13	公共施設の今後の方向性に期待する。
		難しい。
		別がない。

資料編

能勢町公共施設マネジメントに関する住民意識調査 御協力をお願いします

調査のお願い

住民の皆様には、日頃よりまちづくりに御協力いただき、誠にありがとうございます。

能勢町ではこれまで、人口の増加や多様化する住民ニーズに対応するため、多くの公共施設を整備してきました。また、施設の整備後は、住民の皆様に安全に安心してご利用いただけるよう、適宜必要な改修等も実施して参りました。しかし、公共施設の老朽化や少子高齢化の進行による人口構造の変化などにより、財政規模の縮小も考えられることから、今後の公共施設の効率的な維持管理・運営について、検討していく必要があると考えています。

本アンケートは、公共施設に関する住民の皆様のご意見を聞かせていただくものであり、能勢町にお住まいの18歳以上の方を無作為に1,000人選ばせていただき、御協力をお願いしています。

お手数ですがアンケート調査票に回答いただき、同封の返信用封筒（切手を貼る必要はありません。）に入れ、

12月14日(水)までに

返信くださいますようお願いいたします。

この調査は、無記名で回答いただき、その結果は統計的にのみ処理して利用させていただきます。また、町政運営以外の目的で使用することはありません。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の趣旨を御理解の上、御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

●記入に当たってのお願い●

1. 回答は、宛名の御本人がご記入ください。
なお、病気などやむを得ない事情によって、御本人に回答いただけない場合は、18歳以上で同居されている家族の方が回答いただきますようお願いいたします。
2. 回答は、番号に「○」をつけていただくものと、回答を1つ選んで回答欄に「○」をつけていただくもの、及び数字を選んでいただくものがあります。設問によっては、回答いただく「○」の数が、「1つだけ」などと限定されている場合があります。
3. 「その他」に当てはまる場合は、お手数ですが、()内にその内容を具体的に御記入ください。
4. 設問によっては、回答いただく必要がない場合があります。
5. 返信用封筒に、御住所・お名前を御記入いただく必要はありません。

●お問い合わせ先●

能勢町 総務部 まちづくり活性課 財政係 TEL:072-734-1995 FAX:072-734-1100
Email: zaisei@town.nose.osaka.jp

アンケート調査票

問 あなた御自身のことについて

あなたの性別は 0-1	1. 男性	2. 女性							
あなたの年齢は 0-2	1. 18～19 歳	2. 20～29 歳	3. 30～39 歳	4. 40～49 歳	5. 50～59 歳	6. 60～69 歳	7. 70～79 歳	8. 80 歳以上	
あなたのお住まいの地区(旧小学校区)は 0-3	1. 天王	2. 岐尼	3. 田尻	4. 久佐々	5. 歌垣	6. 東郷	旧小学校区が不明な場合は字名をご記入ください()		
同居されている家族の構成は 0-4	1. 単身世帯(ひとり暮らし) 2. 1世代世帯(夫婦だけ) 3. 2世代世帯(親と子) 4. 3世代世帯(親と子と孫) 5. その他()								
あなたのお仕事は 0-5	1. 会社員・公務員								2. 自営業(商業・工業・サービス業)
	3. 農業								4. 自由業(弁護士・芸術家など)
	5. 学生								6. 家事専業
	7. パート・アルバイト・契約社員・派遣社員								8. 無職(学生、家事専業を除く)
	9. その他()								
あなたが お住まいの 住居は 0-6	1. 持ち家(一戸建て)								2. 民間の借家(一戸建て)
	3. 民間の借家(マンション・アパートなど)								4. 町営住宅
	5. 社宅・寮								6. その他()
あなたは いつ頃から 能勢町に住んで いますか 0-7	1. 昭和 40 年以前								2. 昭和 41 年～50 年
	3. 昭和 51 年～55 年								4. 昭和 56 年～60 年
	5. 昭和 61 年～平成 2 年								6. 平成 3 年～7 年
	7. 平成 8 年～12 年								8. 平成 13 年～17 年
	9. 平成 18 年～22 年								10. 平成 23 年以降

問1 公共施設マネジメントについて

問1-1 あなたは、能勢町の公共施設の現状や課題についてどのくらい知っていますか。(○は1つ)

1. よく知っている

2. 少し知っている

3. 全く知らない

問2 公共施設の利用状況について

問2-1 次の各施設について、最近1年間における利用の回数についてお答え下さい。(○は一つずつ)

また、「利用していない」場合は、その理由をお答え下さい。(○はいくつでも)

	利用の回数 (○は一つずつ)					利用していない理由 (○はいくつでも)							
	週に3回以上	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	利用していない	利用する機会がない	場所や内容が知らない	自宅や職場から遠い	設備やサービスが悪い	利用している	町外の施設を利用している	利用料が高い	その他
(記入例1)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	
(記入例2)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	
①本庁舎、支所庁舎	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	
②住民サービスセンター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	
③浄るりシアター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	
④保健福祉センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	
⑤放課後児童クラブ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	
⑥東部デイサービスセンター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	
⑦診療所	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	
⑧観光物産センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	
⑨交流促進施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	
⑩生涯学習センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	
⑪けやき資料館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	
⑫B&G 海洋センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	
⑬名月グラウンド	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	
⑭国体記念スポーツセンター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	
⑮児童館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	

問3 本町の公共施設の現状と課題について

問3-1 本町の公共施設は、老朽化が進んでおり、将来に大規模改修、建て替え時期を迎えることが予想されます。一方で、少子高齢化の進行などにより、自治体の財政状況がますます厳しくなることが予想される中、公共施設の老朽化対策が全国の自治体共通の課題となっています。このような公共施設を取り巻く現状と課題について、あなたはどのように思いますか。次の中から、ご自分の考えに近いものを1つ選んで、番号を○で囲んで下さい。

1. 重要な問題である
2. どちらかといえば問題である
3. どちらかといえば問題ではない
4. 全く問題ではない
5. その他()

問3-2 公共施設の住民一人当たり保有量を「大阪府内の町村平均と同等まで削減」という長期目標（30 年程度）を定め、住民の皆さんのご理解をいただきながら、取り組みを進めていくことについて、あなたはどのように思いますか。次の中から、ご自分の考えに近いものを1つ選んで、番号を○で囲んで下さい。

1. 上記の長期目標のとおりでよい
2. もっと厳しい目標を掲げて取り組むべきである
3. もっとゆるやかな目標を設定すべきである
4. 削減目標の設定には反対である
5. その他()

問4 今後の方向性について

公共施設は、設置や改修にかかる費用のほか、運営・維持管理など色々な費用がかかるため、他の自治体では、1つの土地・建物に複数の施設を集約する「複合化」や、1つの施設を複数の用途に使い分ける「多機能化」をはじめとして、以下のような費用削減の取り組みが行われています。

それぞれの取組内容について、あなたの考えに一番近いものを1つ選んで、番号を○で囲んで下さい。

問4-1 複合化・多機能化によって施設の数や規模を減らす。

1. 大いに進めるべきである。
2. できるだけ進めた方がよい。
3. 進めるべきではない。
4. その他()

問4-2 施設機能や仕様が同じような施設は廃止・統合によって施設数を減らす。

1. 大いに進めるべきである。
2. できるだけ進めた方がよい。
3. 進めるべきではない。
4. その他()

問4-3 近隣自治体と共同で施設を建設・運営することによって施設数を減らす。

1. 大いに進めるべきである。
2. できるだけ進めた方がよい。
3. 進めるべきではない。
4. その他()

問4-4 施設の建替えや管理運営に、民間のノウハウや資金を活用する。

1. 大いに進めるべきである。
2. できるだけ進めた方がよい。
3. 進めるべきではない。
4. その他()

問4-5 地域活動に密着した施設は、地域住民が所有・維持管理を行う。

1. 大いに進めるべきである。
2. できるだけ進めた方がよい。
3. 進めるべきではない。
4. その他()

問4-6 計画的に施設のメンテナンス(予防保全)を行うことにより、施設や設備を長寿命化させる。

1. 大いに進めるべきである。
2. できるだけ進めた方がよい。
3. 進めるべきではない。
4. その他()

問4-7 施設を減らし、その代わりに民間施設(貸会議室やスポーツクラブ等)の利用に対して助成する。

1. 大いに進めるべきである。
2. できるだけ進めた方がよい。
3. 進めるべきではない。
4. その他()

問4-8 開館時間の短縮等、施設におけるサービス水準を引き下げる。

1. 大いに進めるべきである。
2. できるだけ進めた方がよい。
3. 進めるべきではない。
4. その他()

問4-9 利用していない町の土地や施設を売却・賃貸して収入を得る。

1. 大いに進めるべきである。
2. できるだけ進めた方がよい。
3. 進めるべきではない。
4. その他()

問4-10 施設の利用料金を引き上げる。

1. 大いに進めるべきである。
2. できるだけ進めた方がよい。
3. 進めるべきではない。
4. その他()

問4-11 施設の建設や建替えにあたり、特別な税金等の徴収を行い、利用者だけでなく住民全体で負担する。

1. 大いに進めるべきである。
2. できるだけ進めた方がよい。
3. 進めるべきではない。
4. その他()

問4－12 その他、公共施設の費用削減に効果的と思われる取組みがあれば、下の空欄にご記入下さい。

問5 公共施設について、御自由に意見をお書きください。

御協力ありがとうございました。
記入漏れがないか御確認の上、返信用の封筒に入れて、
12月14日(水)までに切手を貼らずにポストへ投函してください。

